

平成25年度

中頓別町教育委員会の活動状況  
に関する点検・評価報告書

平成26年 7月

中頓別町教育委員会

## はじめに

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することが規定されました。

本報告書は、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに町民に対する説明責任を果たすために、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、平成25年度の教育委員会の活動状況や事務事業の点検・評価を実施し、報告するものです。

この点検・評価は「第7期中頓別町総合計画（平成24年4月1日～平成34年3月31日）」の基本計画中、「第4章 子育て支援、教育の充実」に定める施策に沿って、毎年度、点検・評価を実施することとしています。

教育委員会としては、この点検・評価の結果を事業改善等に役立てながら、課題や今後の取組の方向性を明らかにし、効果的な教育行政の一層の推進を図りたいと考えていますので、今後とも皆様のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成26年 7月

中頓別町教育委員会

(参考) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 抜粋

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 目 次

1.	教育委員会の会議の開催状況	1
2.	教育委員の活動状況	3
3.	法規・規則の制定、計画等の策定状況	10
4.	附属機関等の審議概要	11
5.	教育関係者の表彰等	18
6.	平成25年度教育目標並びに施策の体系及び予算の状況	19
	(1) 北海道教育推進計画～教育ビジョン～中頓別町の教育	20
	(2) 第7期中頓別町総合計画	24
	(3) 施策の体系及び予算状況	28
7.	施策項目(事務事業)ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性	35
	(1) 健やかでこころ豊かな子どもを育てる環境づくり	
	① 子育て支援と幼児教育の充実	36
	② 学校教育の充実	41
	◇中頓別小学校	
	○平成25年度中頓別小学校の校訓・教育目標・重点課題	50
	○学校経営 取り組み概要・成果や課題・今後の方向性	53
	◇中頓別中学校	
	○平成25年度中頓別中学校の校訓・教育目標・重点課題	68
	○学校経営 取り組み概要・成果や課題・今後の方向性	69
	(2) 生きがいとまちづくりを支える社会教育の推進	
	① 社会教育の充実	81
	② 社会体育の充実	87
	③ 地域文化の振興と文化財の保護	93
	(3) 別紙資料	
	別紙1 学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業実績	95
	別紙2 平成25年度認定こども園と中頓別小学校との 連携方針実施状況の総括	115
8.	平成25年度中頓別町教育委員会の活動状況に関する 点検・評価に係るご意見・アドバイス	119
	【資料】	
	○宗谷教育局等による教育委員会及び学校訪問(指導)関係の状況	1
	○社会教育関連施設の利用状況	3
	○教育関係団体活動状況	
	・体育団体関係	7
	・文化団体関係及びその他教育関連団体関係	8
	○その他	
	・子育て提言(中頓別町あいさつ子育て推進協議会)	9
	・中頓別町 家庭学習の手引き(保存版) (平成23年中頓別町・小中連携委員会作成)	10
	・子どものすこやかな成長を願って 春休みの過ごし方 父母・町民こそってご協力を (中頓別町生徒指導連絡協議会・あいさつ子育て推進協議会)	11

## 1. 教育委員会の会議の開催状況

中頓別町教育委員会の会議は原則として公開で、毎月1回開催しています。

この会議において、4名の中頓別町教育委員会委員が教育行政の基本方針の決定、教育に関する規則の制定など、様々な議題について審議しています。

日 時	付 議 案 件 等	
25. 4. 23 (火)	議案	・社会教育に係る補助金の交付に関する社会教育委員の意見聴取について ほか5件
	協議	・平成24年度中頓別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告(素案)について
	報告	・こども館・小学校・中学校の幼児・児童生徒(指導)の状況報告について ほか2件
25. 5. 30 (木)	議案	・平成24年度中頓別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書について ほか4件
	協議	・三浦綾子大河小説「天北原野」展開催について ほか1件
	報告	・中頓別町教育委員会外部評価委員会報告について ほか4件
25. 6. 26 (水)	議案	・中頓別町教育関連施設整備基本計画検討委員会設置要綱について ほか1件
	報告	・子どもの健全育成サポートシステム変更協定書について ほか10件
25. 7. 18 (木)	議案	・中頓別町民文化祭実行委員会設置要綱の一部改正について ほか2件
	報告	・こども館・小学校・中学校の幼児・児童・生徒指導の状況報告について
25. 8. 21 (水)	議案	・中頓別町学校・家庭・地域による教育支援活動運営委員会支援員の委嘱について
	協議	・教育委員による学校訪問について
	報告	・中頓別町教育関連施設整備基本計画検討委員会議の報告について ほか5件
25. 9. 12 (木)	承認	・専決処分の承認を求めることについて ※中頓別町学校・家庭・地域の連携による教育支援活動運営委員会教育支援員の委嘱について
	報告	・平成25年度中頓別町文化スポーツ表彰について ほか3件
25. 10. 23 (水)	議案	・平成25年度中頓別町文化スポーツ表彰者について
	協議	・中頓別町教育関連施設整備基本計画(案)に関する提言書について ほか5件
	報告	・町議会いきいきふるさと常任委員会の報告について ほか10件 ※「中頓別町教育関連施設整備方針の検討状況について」
25. 10. 30 (臨時) (水)	議案	・平成26年度宗谷管内公立小中学校教職員人事異動に係る調書について

日 時	付 議 案 件 等	
25. 11. 13 (水)	協議	・教育委員会議の議事録等の公開について
	報告	・こども館・小学校・中学校の幼児・児童・生徒（指導）の状況報告について
25. 12. 10 (火)	承認	・専決処分の承認を求めることについて ※中頓別町学校・家庭・地域の連携による教育支援活動運営委員会教育支援員の委嘱について
	議案	・中頓別町寿スキー場スキーパトロール員の委嘱について ほか1件
	協議	・平成26年度全国学力・学習状況調査への参加について ほか4件
26. 1. 20 (月)	承認	専決処分の承認を求めることについて ※中頓別町学校・家庭・地域の連携による教育支援活動運営委員会教育支援員の委嘱について
	協議	・社会教育委員設置条例（案）について ほか4件
	報告	・こども館・小学校・中学校の幼児・児童・生徒（指導）の状況報告について
26. 2. 5 (臨時) (水)	議案	・平成26年度障害のある児童生徒の就学先決定について（非公開）について
26. 2. 18 (火)	議案	・平成25年度中頓別町一般会計教育費補正予算について ほか4件
	報告	・こども館・小学校・中学校の幼児・児童・生徒（指導）の状況報告について ほか4件
26. 3. 25 (火)	議案	・社会教育委員の委嘱について ほか3件
	協議	・中頓別町教育関連施設整備に基本計画検討委員会からの提言書の取り扱いについて ほか5件
	報告	・こども館、小学校、中学校の幼児、児童、生徒（指導）の状況報告について ほか1件

中頓別町教育委員会委員名簿

役 職 名	氏 名	任 期
教育委員長	石井 英正	H24.10.01～H28.09.30
職務代理者	内田 貞代	H22.12.22～H26.12.21
委 員	木内 彰	H21.11.01～H27.10.31
教 育 長	米屋 彰一	H24.10.01～H28.09.30

## 2. 教育委員の活動状況

教育委員は、月1回の定例会やこども館、小中学校の各種行事および社会教育関係の行事へ出席するなどの活動をしています。

### 主な活動状況

日付	活動内容	場所	委員名
【平成25年】			
3. 27 (水)	定例教育委員会議	役場会議室	委員全員
28 (木)	社会教育委員会議	役場会議室	教育長
29 (金)	こども館卒園式	こども館	石井委員長ほか
4. 1 (月)	自治記念式	役場大会議室	教育長
2 (火)	こども館入館式	こども館	石井委員長ほか
3 (水)	宗谷教育局次長来庁	教育長席	教育長
4 (木)	辞令伝達式	町民センター	委員全員
	北教組中頓別支部来庁	教育長席	教育長
8 (月)	中頓別小学校入学式	中頓別小学校	石井委員長ほか
	中頓別中学校入学式	中頓別中学校	委員全員
	浜頓別高等学校入学式	浜頓別高等学校	教育次長
	教育関係者歓迎会	まるや食堂	委員全員
15 (月)	定例校長・教頭会	役場会議室	教育長
16 (火)	宗谷管内市町村教育委員会教育長会議	宗谷教育局	教育長
	宗谷管内公立学校長会議	〃	〃
	宗谷管内教育委員会連絡協議会教育長部会会議	〃	〃
	宗谷管内児童・生徒結核対策協議会	〃	〃
	第8区教科用図書採択教育委員会協議会	〃	〃
	宗谷管内新任校長歓迎懇親会	稚内サンホテル	教育長
18 (木)	中頓別町高齢者教室寿大学入学式並びに始業式	町民センター	教育長
22 (月)	北教組宗谷支部来庁	教育長席	教育長
	学校・家庭・地域の連携による教育支援活動運営委員会	役場会議室	教育長
	中頓別町子どもの読書活動推進会議	〃	教育長
	中頓別町教育研究会総会	中頓別小学校	教育長
23 (火)	定例教育委員会議	役場会議室	石井委員長ほか
	町教委・校長会・教頭会との懇談会	〃	〃
24 (水)	中頓別町特別支援教育連携協議会総会	役場会議室	教育長
25 (木)	北海道教育委員会連合会役員会	札幌市	教育長
27 (土)	文化協会総会	創作活動施設	教育長
30 (火)	公立高等学校配置計画地域別検討会議	宗谷教育局	教育次長

日付	活動内容	場所	委員名
5. 1 (木)	鍾乳洞安全祈願祭	鍾乳洞	教育長
7 (火)	スポーツ推進委員会議	役場会議室	教育長
10 (金)	スポーツ少年団本部結団式	中頓別小学校	教育長
	生徒指導連絡協議会総会	〃	教育長
11 (土)	町長杯パークゴルフ大会	寿公園パークゴルフ場	教育長
12 (日)	クリーン作戦	役場前	教育長
13 (月)	外部評価委員会	役場会議室	教育長
	あいさつ子育て推進協議会総会	中頓別中学校	教育長
14 (火)	北海道教育委員会連合会総会	札幌市	教育長
16 (木)	町民交通安全大会	町民センター	教育長
	社会教育委員会議	役場会議室	教育長
	中頓別町育英会総会	〃	教育長
	中頓別町PTA連合会総会	中頓別中学校	教育長
19 (日)	中頓別消防団春季消防演習	南宗谷消防組合中頓別支署	教育長
22 (水)	宗谷管内コンプライアンス確立会議	宗谷教育局	教育長
	宗谷管内教育研究所維持委員会	〃	〃
	宗谷管内教育委員会連絡協議会役員会	〃	〃
	宗谷管内教育委員会連絡協議会総会	〃	〃
	宗谷管内文教施設整備期成会総会	〃	〃
	鍾乳洞まつり実行委員会議	役場会議室	教育長
23 (木)	定例校長・教頭会	役場会議室	教育長
26 (日)	中頓別中学校運動会	中学校グラウンド	教育長
28 (火)	忠魂碑参拝	中頓別神社	教育長
	中頓別町戦没者慰霊祭	町民センター	〃
30 (木)	定例教育委員会議	会議室	石井委員長ほか
31 (金)	日本共産党演説会	稚内全日空ホテル	教育長
6. 1 (土)	鍾乳洞まつり	中頓別鍾乳洞	教育長
5 (水)	宗谷教育局企画総務課長、教職員係長来庁	相談室	教育長
7 (金)	ふれあいスポーツ広場植樹(地域貢献事業)	ふれあいスポーツ広場	教育長
9 (日)	中頓別中学校運動会	中頓別中学校	教育長
11 (火)	北海道立生涯学習推進センター運営協議会	札幌市	教育長
12 (水)	教育委員会訪問(宗谷教育局)	役場会議室	教育長
	東日本大震災被災地子ども支援プロジェクト	大会議室	教育長
13 (木)	大河小説「天北原野」展(三浦綾子記念文学館)	旭川市	教育長
14 (金)	第1回宗谷管内いじめ・不登校等対策本部会議	宗谷教育局	教育長
15 (土)	南宗谷中学校防犯球技大会(サッカー)	ふれあいスポーツ広場	教育長
17 (月)	第2回中頓別町議会定例会	議場	内田職務代理者 教育長
21 (金)	定例校長・教頭会	小会議室	教育長

日付	活動内容	場所	委員名
6. 22 (土)	こども館運動会	こども館	委員全員
24 (月)	中頓別町体育連盟総会	役場会議室	教育長
25 (火)	学校訪問	中小・中中	教育長
26 (水)	定例教育委員会議	役場会議室	石井委員長ほか
27 (木)	中頓別町学校給食会総会	中頓別小学校	教育長
7. 2 (火)	中頓別保護司会「社会を明るくする運動」街頭啓発	小学校、郵便局等	教育長
	学校教育指導訪問 (宗谷教育局 指導主事)	中頓別小学校	教育長
3 (水)	学校教育指導訪問 (宗谷教育局 指導主事)	中頓別小学校	教育長
4 (木)	宗谷管内教育委員会教育長会議	宗谷教育局	教育長
	宗谷管内公立小中学校教職員人事推進会議	〃	〃
	宗谷管内教育委員会教育長部会会議	〃	〃
5 (金)	教育関連施設整備基本計画検討委員会	役場会議室	教育長
7 (日)	町民ソフトボール大会	ふれあいスポーツ広場 中頓別中学校	教育長 教育長
10 (水)	学校経営指導訪問 (宗谷教育局義務教育指導監)	中学校、小学校	教育長
11 (木)	北海道市町村教育委員研修会	札幌市	内田職務代理ほか
17 (水)	定例校長・教頭会	議場小会議室	教育長
18 (木)	定例教育委員会議	役場会議室	委員全員
22 (月)	公立高等学校配置計画地域別検討協議会	宗谷教育局	教育長
	「北海道子どものいじめ防止に関する条例」地区別説明会	〃	〃
25 (木)	町民文化祭実行委員会	役場会議室	〃
26 (金)	町教職員互助会レクリエーション大会	中頓別小学校	委員全員
29 (月)	危険廃屋解体撤去審査委員会	役場会議室	教育長
31 (水)	子ども安全パトロール隊懇談会	創作活動施設	教育長
8. 1 (木)	外国語指導助手歓送迎会	焼肉ジャンボ	委員全員
2 (金)	町民駅伝・小学生マラソン大会運営委員会議	役場会議室	教育長
20 (火)	榎原民之助氏慰霊祭	専念寺	教育長
	交通事故死亡者慰霊祭	寿	教育長
	無縁故者法要	墓地	教育長
21 (水)	定例教育委員会議	役場会議室	委員全員
22 (木)	定例校長・教頭会	役場会議室	教育長
24 (土)	宗谷管内教職員体育大会 (豊富・幌延大会)	豊富町、幌延町	教育長
25 (日)	中頓別町職員採用試験 (上級)	役場小会議室	教育長
28 (水)	中頓別中学校訪問	中頓別中学校	教育長
	中頓別町特別支援教育連携協議会学習会	中頓別小学校	内田職務代理ほか
29 (木)	中頓別小学校学校訪問	中頓別小学校	内田職務代理ほか
31 (土)	子育て講演会	こども館	教育長



日付	活動内容	場所	委員名
9. 1 (日)	第34回町民駅伝競技大会・第5回小学生マラソン大会	役場前	教育長
8 (日)	「八木祐四郎 記念碑」除幕式・祝賀会	旭川市	教育長
10 (火)	中頓別町教育関連施設整備基本計画検討委員会	役場会議室	教育長
12 (木)	定例教育委員会議	役場会議室	委員全員
13 (金)	敬老会	町民センター	教育長
14 (土)	南宗谷中学校防犯球技大会新人選 (サッカー)	ふれあいスポーツ広場	教育長
17 (火)	いきいきふるさと常任委員会	議場	教育長
18 (水)	定例校長・教頭会	役場会議室	教育長
	芸術鑑賞会	町民センター	木内委員ほか
21 (土)	第55回宗谷管内母と女教師の集い	中頓別小学校	教育長
25 (水)	第3回中頓別町議会定例会	議場	教育長
26 (木)	決算特別委員会	議場	教育長
	第3回中頓別町議会定例会	議場	教育長
28 (土)	第2回宗谷管内教育研究大会及びレセプション	稚内市	教育長
10. 3 (木)	特別支援教育連携協議会「講演会」	町民センター	教育長
9 (水)	宗谷管内公立小中学校教職員人事推進会議	宗谷教育局	教育長
	第3回宗谷管内市町村教育委員会教育長会議	〃	
	宗谷管内市町村教育委員会連絡協議会教育長部会会議	〃	
	宗谷管内校長会との懇談	〃	
10 (木)	社会教育委員会議及び文化・スポーツ表彰選考委員会	役場会議室	教育長
13 (日)	中頓別中学校学校祭	中頓別中学校	内田職務代理ほか
16 (水)	町教育関連施設整備基本方針検討委員会	役場会議室	教育長
17 (木)	中頓別町防災訓練	役場・町民センター	教育長
	宗谷管内市町村教育委員研修会 (～18日)	幌延町	石井委員長ほか
20 (日)	中頓別小学校学芸会	中頓別小学校	内田職務代理ほか
21 (月)	第1回北海道学力向上推進協議会	札幌市	教育長
22 (火)	第3回中頓別町議会臨時会	議場	教育長
23 (水)	定例教育委員会議	役場会議室	委員全員
27 (日)	宗谷管内スポーツ推進委員研修会	町民センター	教育長
28 (月)	中頓別町防災訓練反省・検証会議	役場会議室	教育長
29 (火)	当初人事面接	中学校、小学校	教育長
30 (水)	臨時教育委員会議	役場会議室	委員全員
31 (木)	北海道教育長部会研修会	札幌市	教育長

日付	活動内容	場所	委員名
11. 1 (金)	町民文化祭 (～3日まで)	町民センター	委員全員
6 (水)	当初人事教育長意見聴取	宗谷教育局	教育長
	地域懇談会 (藤井)	藤井会館	教育次長
7 (木)	地域懇談会 (あかね)	あかね会館	教育長
8 (金)	中頓別町・東日本大震災被災地子ども支援プロジェクト実行委員会	役場会議室	教育長
	地域懇談会 (上駒2)	役場会議室	教育長
11 (月)	地域懇談会 (敏音知)	敏音知コミュニティセンター	教育長
	地域懇談会 (2・3・4・5町内)	役場会議室	教育長
12 (火)	中頓別町・浜頓別町合同教育研究大会	中頓別中学校	教育長
	地域懇談会 (松音知)	松音知会館	教育次長
	地域懇談会 (小頓別)	多目的集会施設	教育長
13 (水)	定例教育委員会議	役場会議室	内田職務代理ほか
	地域懇談会 (1町内)	専念寺	教育長
18 (月)	中頓別・浜頓別合同経営研究協議会	浜頓別町教育委員会	委員全員
20 (水)	定例校長・教頭会	役場会議室	教育長
	中頓別町子育て講演会	町民センター	教育長
23 (土)	異世代ふれあい交流事業 避難訓練	町民センター	教育長
28 (木)	文化祭実行委員会会議	役場会議室	教育長
29 (金)	各種団体懇談会	役場会議室	教育長
12. 3 (火)	教委委員会による学校訪問	中学校・小学校	教育長
	教育委員協議会	役場会議室	教育長
	地域連携研修 (道外視察研修報告会)	中頓別小学校	教育長
5 (木)	冬季スポーツ推進関係者会議	役場会議室	教育長
7 (土)	歳末ビールパーティー	町民センター	教育長
9 (月)	特別支援連携協議会情報交換会	役場会議室	教育長
10 (火)	定例教育委員会議	役場会議室	委員全員
11 (水)	小学校総合学習「中頓別探検隊」発表会 (～13日)	町民センター	内田職務代理ほか
12 (木)	宗谷教育局義務教育指導監訪問	中小・中中・教委	教育長
15 (日)	第4回中頓別町議会定例会	議場	内田職務代理ほか
16 (月)	第4回中頓別町議会定例会	議場	教育長
18 (水)	定例校長・教頭会	役場会議室	教育長
20 (金)	寿スキー場安全祈願祭	寿スキー場	教育長
24 (火)	宗谷教職員組合中頓別支部来庁	教育長席	教育長
26 (木)	カルタ教室	柔剣道場	教育長

日付	活動内容	場所	委員名
【平成26年】			
1. 4 (土)	新年交礼会	役場町民ホール	教育長
5 (日)	中頓別消防団出初式	町民センター	教育長
8 (水)	ジュニアアルペン教室	寿スキー場	教育長
9 (木)	カルタ教室	柔剣道場	教育長
12 (日)	町民カルタ大会	柔剣道場	教育長
	成人式	役場大会議室	内田職務代理ほか
17 (金)	冬休み子どもチャレンジ教室	町民センター	教育長
18 (土)	スノーボード教室、一般スキー教室	寿スキー場・町民センター	教育長
20 (月)	定例教育委員会議	役場会議室	委員全員
22 (水)	宗谷管内教育実践表彰選考委員会	宗谷教育局	教育長
	第4回宗谷管内市町村教育委員会教育長会議	〃	〃
	宗谷管内市町村教育委員会連絡協議会教育長部会会議	〃	〃
23 (木)	定例校長・教頭会	役場会議室	教育長
2. 2 (日)	第1回N45° なかとんべつ寿アルペン競技大会	寿スキー場	教育長
3 (月)	中頓別町就学指導委員会	役場会議室	教育長
4 (火)	宗谷管内教育推進会議	稚内市	教育長
5 (水)	臨時教育委員会議	役場会議室	委員全員
6 (木)	第1回中頓別町議会臨時会	議場	教育長
7 (金)	第1回中頓別町議会臨時会	議場	教育長
8 (土)	こども館生活発表会	こども館	教育長
16 (日)	町民スノーフェスティバル	寿スキー場	教育長
18 (火)	教育委員会議	役場会議室	委員全員
19 (水)	定例校長・教頭会	役場会議室	教育長
	第2回宗谷管内特別支援連携協議会	宗谷教育局	教育長
20 (木)	一般教員人事協議	宗谷教育局	教育長
	宗谷管内コンプライアンス確立会議	〃	〃
	公立学校会計事務改善検討会議	〃	〃
21 (金)	教育推進会議	役場会議室	教育長
22 (土)	退職校長感謝状並びに感謝会	稚内サンホテル	教育長
25 (火)	宗谷管内教育実践表彰	宗谷教育局	教育長
27 (木)	旧丹波屋旅館保存会との懇談会	小頓別多目的集会施設	委員全員
3. 1 (土)	浜頓別高等学校卒業式	浜頓別高等学校	教育長
4 (火)	第1回中頓別町議会定例会	議場	教育長
6 (木)	あいさつ子育て推進協議会解散総会	中頓別小学校	教育長
9 (日)	サンデー議会 (石井委員長 執行方針説明)	議場	石井委員長ほか
10 (月)	第1回中頓別町議会定例会、予算審査特別委員会 臨時教育委員会議	議場 役場会議室	教育長 委員全員
11 (火)	町議会議員と町幹部職員との懇談会	ピンネシリ温泉	石井委員長ほか

日付	活動内容	場所	委員名
3.13(木)	中頓別中学校卒業式	中頓別中学校	委員全員
16(日)	中頓別小学校卒業式	中頓別小学校	内田職務代理ほか
17(月)	第1回中頓別町子ども・子育て会議	役場会議室	教育長
19(木)	スポーツ推進委員会議	役場会議室	教育長
20(木)	中頓別町障がい者地域自立支援協議会	役場会議室	教育長
24(月)	寿大学運営委員会	役場会議室	教育長
	スポーツ少年団本部卒団式	小学校体育館	教育長
25(火)	定例教育委員会議	役場会議室	委員全員
	こども安全パトロール隊懇談会	創作活動施設	教育長
26(水)	中頓別町防災会議	役場会議室	教育長
27(木)	寿大学卒業式並びに修了式	町民センター	教育長
28(金)	こども館卒園式	こども館	内田職務代理ほか
	第2回中頓別町議会臨時会	議場	教育長
	退職者教職員辞令伝達	役場会議室	石井委員長

### 3. 法規・規則等の制定、計画等の策定状況

平成25年度に改正または制定された教育関係条例の数は1本、規則の数は2本、規程等の数は1本です。

なお、法規・規則等の制定の状況は次のとおりです。

#### (1)教育関係条例

題 名	公布年月日	施行年月日
社会教育委員設置条例	H26.03.14	H26.04.01

#### (2)教育委員会規則

題 名	公布年月日	施行年月日
スポーツ推進委員設置規則の一部を改正する規則	H25.03.27	H25.03.27
中頓別町就学指導委員会設置規則の一部を改正する規則	H26.02.18	H26.04.01

#### (3)教育委員会規程・要綱等

題 名	公布年月日	施行年月日
中頓別町教育関連施設整備基本計画検討委員会設置要綱	H25.06.26	H25.06.26

#### 4. 付属機関の審議概要

中頓別町教育委員会に設置している主な付属（審議）機関は、次のとおりです。

平成25年度には各機関等において、諮問された次の審議事項について、答申等に向けた協議、検討が行われました。

名称・任期	委員数	月 日	審 議 事 項 等
社会教育委員会 25.04.01～27.03.31 ※定数10名以内	9名	25.05.16 7名出席	○委嘱状の交付について ○委員長、副委員長の選出について ○協議 ・平成24年度中頓別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価について（素案） ○社会教育関係団体に関する補助金について ○管内社会教育委員連絡協議会理事・代議員の選出について
	10名	25.10.10 7名出席	○報告 ・平成24年度中頓別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告について ・管内社会教育員連絡協議会研修会について ・社会教育、社会体育事業に関する報告について ○協議 ・中頓別町社会教育委員設置条例改正（案）について ・中頓別町教育関連施設整備基本計画検討委員会の経過状況について ・今後の社会教育推進事業について ○平成25年度第1回中頓別町文化スポーツ表彰選考委員会 ※文化スポーツ表彰候補者の適否について
スポーツ推進委員会 25.04.01～27.03.31 ※定数15名以内	14名	25.05.7 12名出席	○委嘱状の交付について ○委員長、副委員長の選出について ○スポーツ推進委員設置規則の一部改正について ○協議 ・平成24年度中頓別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価について（素案） ・平成25年度スポーツ推進事業関係について ・当面するスポーツ推進事業について ・管内スポーツ推進委員の体制について

名称・任期	委員数	月 日	審 議 事 項 等
スポーツ推進委員会	14名	25.06.11 11名出席	○報告 ・町民パークゴルフ大会結果について ○協議 ・町民ソフトボール大会の開催について ・夏休みラジオ体操会の開催について ・町民駅伝競技大会・小学生マラソン大会の開催について ・山村水泳プールの使用について ・体育館施設の利用状況について
		25.10.10 9名出席	○報告 ・平成24年度中頓別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告について ・各スポーツ推進事業の実績並びに総括について ○協議 ・中頓別町教育関連施設整備基本計画検討委員会の経過状況について ・宗谷管内スポーツ推進委員研修会について ・今年度のスポーツ推進事業について
		25.12.17 11名出席	○報告 ・スポーツ事業実施状況について ・冬季スポーツ推進関係者会議の報告について ○協議 ・冬季スポーツ事業について ・その他、スポーツ事業について
		26.03.19 10名出席	○報告 ・平成25年度スポーツ推進事業報告及び反省と総括について ・町民スノーフェスティバルについて ○協議 ・平成26年度スポーツ推進事業計画（案）について ・歩くスキー遠足について
		25.04.24 10名出席	○総会 ・平成24年度活動報告、決算報告 ・平成25年度事業計画、予算の承認
中頓別町特別支援教育 連携協議会 24.04.01～26.03.31 ※関係団体・機関等 から15名以内	14名	25.05.15 8名出席	○第1回役員会 ・学習会について ・今後取り組みについて（視察研修・講演会）
		25.05.26 7名出席	○第2回役員会 ・視察研修について ・学習会について
		25.08.06 6名出席	○視察研修 ・社会福祉法人サロベツ福祉会 サロベツマイハート
		25.08.28 38名出席	○学習会 テーマ「個別の教育支援計画について」 北海道稚内養護学校 小野貴樹 氏
		25.09.09 7名出席	○第3回役員会 ・視察研修の反省・学習会の反省 ・講演会実施について

名称・任期	委員数	月 日	審 議 事 項 等
中頓別町特別支援教育 連携協議会	14名	25.10.03 35名出席	○講演会 テーマ「発達障害の子どもの心理特性と支援を 考える」 名寄市立大学短期大学部児童学科教授 糸田尚史 氏
		25.11.19 8名出席	○第4回役員会 ・講演会の反省 ・情報交換会について
		25.12.09 9名出席	○情報交換会 ・各関係機関の活動、事業内容等の情報交流
		26.02.19 8名出席	○第5回役員会 ・平成25年度事業報告、決算状況等 ・平成26年度事業計画、予算案等 ・今後の中頓別町特別支援教育について
中頓別小学校評議員会 25.04.01~26.03.31 ※定数5名以内	5名	26.02.07 2名出席	○「中小の教育を考える懇談会」として実施 参加者：PTA三役、学級代表、教育委員会 中学校教諭、こども安全パトロール隊 ・各種行事等への意見
中頓別中学校評議員会 25.04.01~26.03.31 ※定数5名以内	5名	25.07.17 3名出席	○学校経営の方針及び重点等説明 ○1学期の教育活動の振り返り ○意見交流
		25.12.18 1名出席	○2学期の教育活動の振り返り ○学校評価アンケート集計結果 ○意見交流
中頓別町子どもの読書 活動推進会議 ※関係機関等のもの で構成 ※担当者会議の設置	15名	推進会議	
		25.04.22 10名出席	○会長・副会長の選任について ○平成24年度の取り組みに対する評価について ○平成25年度の取り組みについて
		担当者会議	
		25.05.30 8名出席	○平成25年度の取り組み ○図書購入計画について



名称・任期	委員数	月 日	審 議 事 項 等
中頓別町文化財保護委員会 23.04.01～25.03.31 ※定数5名以内	5名	25.10.17 4名出席	○会長、副会長の選出について ○報告 ・文化財的資源調査結果報告（希少植物）について ○協議 ・登録有形文化財「旧丹波屋旅館和館・洋館」について ・北海道指定天然記念物「中頓別鍾乳洞」について
中頓別町育英会 25.05.16～27総会まで ※会長1・副会長1 理事若干名・監事2名	11名	25.05.16 8名出席	○役員会及び総会 ・平成24年度育英会 貸付業務等の報告 ・平成24年度収支決算・監査報告 ・平成25年度の貸付者の選考審査・予算の決定
中頓別町学校給食運営委員会 24.08.31～26.3.31 ※定数8名以内	7名	なし	なし
中頓別町教育委員会 外部評価委員会 23.08.02～25.08.31 ※定数5名以内	5名	25.05.13 5名出席	○主要な施策に基づく点検評価・意見の取りまとめ ・中頓別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書関係

#### 4. 附属機関等の審議概要

##### □中頓別町教育教育関連施設整備検討委員会

###### ◇構成員名簿

	職場・団体等	構成員	備考
教育機関	中頓別中学校	校長 榎 展宏	委員長
	中頓別中学校	教頭 小林 清一	
	中頓別小学校	校長 笹原 秀泰	
	中頓別小学校	教頭 小島 康秀	
	中頓別中学校PTA	会長 塚田 英志	
	中頓別小学校PTA	会長 藤田 淳麿	副委員長
	認定こども園PTA	会長 黒田 太郎	
	中頓別中学校	卒業生 桜田 正考	
行政関係	産業建設課	課長 中原 直樹	
	総務課	課長 和田 行雄	
事務局	教育委員会事務局	教育グループ 教育次長 青木 彰 主査 野田 繁実 主査 相馬 正志 主査 後藤 浩一 主任 萬代 和史	

###### ◇検討経過

月 日	検 討 事 項 等
25.07.05	1. 検討委員会設置要綱の確認と会長・副会長の互選 ○委員長 榎 展宏 (中学校長) ○副委員長 藤田淳麿 (小学校 PTA 会長) 2. 教育施設の現状と課題・問題点の把握 ※共通認識を持つ 3. 教育関連施設具体的な整備方針 (方向性) について
25.08.08	1. 中頓別町教育関連施設整備基本計画 (素案) について
25.09.10	1. 中頓別町教育関連施設整備基本計画に係る提言書案について 2. 社会教育関係団体から意見等の聴取について
25.10.16	1. 中頓別町教育関連施設整備方針の検討状況について (常任委員会) 2. 社会教育関係団体等からの意見聴取状況について 3. 中頓別町教育関連施設整備基本計画書 (案) に関する提言書 (案) について
25.10.18	◇中頓別町教育関連施設整備基本計画書 (案) に関する提言書の提出 ※中頓別教育委員会事務局の執務室において、石井教育委員長・米屋教育長へ榎委員長、藤田副委員長から提出

## 中頓別町教育関連施設整備基本計画検討委員会設置要綱

### (設置)

第1条 中頓別町の教育に関する施設の維持保全のあり方や既存施設の有効活用等を総合的に検討し、短期的・中長期的な展望のもと整備計画案を策定するため、教育委員会に中頓別町教育関連施設整備基本計画検討委員会(以下「委員会」という)を設置する。

### (所管事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 教育関連施設の維持保全のあり方や既存施設の有効活用等の検討
- (2) 中頓別町教育関連施設整備基本計画案の策定  
※特に、中頓別中学校の整備計画案の策定を最優先とする
- (3) 上記のほか、目的達成のために必要と認められる事項

### (組織)

第3条 委員会は別紙の委員をもって構成し、教育委員会が委嘱する。

### (任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から平成26年3月31日までとする。

### (委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く

- 2 委員長は、委員の中から互選し、副委員長は委員長が指名する。
- 3 委員長は、委員会を代表し、議事の進行及び会務を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

### (会議)

第6条 委員会は必要のつど委員長が招集する。

### (事務局)

第7条 委員会の庶務を処理するため、教育委員会教育グループに事務局を置く。

### 附 則

この要綱は、平成25年6月26日から施行する。

主な付属機関等の委員名簿

平成26年 3月 1日現在

	社会教育委員会 ～27.3.31	スポーツ推進委員会 ～27.3.31	就学指導委員会 ～27.3.31	特別支援連携協議会 ～26.3.31	中学評議員 ～26.3.31	小学評議員 ～26.3.31	文化財保護委員 ～27.3.31	学校給食運営委 員会～26.8.31	外部評価委員会 ～25.8.31
委員長 (会長)	水澤 清二	桜田 教昭	榎 展宏	榎 展宏			大場 豊		米津 英男
副委員長 (副会長)	川尻 洋	福島 靖弘 桜田 正考	荒木 謙蔵	笹原 秀泰 (小学校)			真鍋 勝司		佐藤 一彌
委員	石井 佳美	丸山 博光	柴中 光一 (町国保病院)	小林 清一 (事務局長)	安積 明	丸山 博光	三浦 陽一	細谷 陽一	高橋恵美子
	福島 靖弘	伊藤 明美	高橋恵美子	小島 康秀 (小学校)	ボーセン仁美	細谷 陽一	川尻 洋	塚田 英志	高山 哲也
	米津 和美	小原 利春 丸田 史代	笹原 秀泰 (小学校)	大場 弘	平中 敏志	高橋恵美子	姉齒 和男	石川 章人	田辺 毅
	門野レイ子	中嶋 稔幸 石黒 良子	小林 清一 (中学校)	荒木 謙蔵	古谷 裕一	菅原 公司		西村 智広	
	笹原 秀泰 (小学校)	星川 慎吾	小島 康秀 (小学校)	千葉 辰雄	桑原 政美	中原 章子		榎 展宏	
	榎 展宏 (中学校)	畠山 彩 (中学校)	遠藤美代子 (こども館園長)	七海 敏勝				笹原 秀泰	
	石黒 大和	渡辺 靖晃 (小学校)	小林 生吉 (保健福祉課)	遠藤美代子					
	長尾 祐一	長谷川智美 (小学校)	山田美緒子 (保健福祉課)	山田美緒子					
		西村 蘭美		米屋 彰一 青木 彰 後藤 浩一 相馬 正志					

## 5. 教育関係者の表彰等

平成25年度の主な教育関係者の表彰等は次のとおりです。

### ○ 中頓別町文化スポーツ表彰

☆表彰式：平成25年11月2日(土) 町民文化祭 ※町民センター

表 彰	個人・団体名	表 彰 理 由 の 概 要
文化奨励賞 (特別表彰)	山崎しずゑ	昭和40年に日本習字教授5段を取得後、永きにわたり、書道を通して礼節を重んじるなど、青少年の健全育成に尽力されました。 また、詩吟学院岳風会においては、現在師範10段の資格をもち、会の発展と後進の指導にあたり、地域の文化活動の普及発展に貢献されています。
スポーツ奨励賞 (特別表彰)	田中勇夫(故人)	中頓別剣道連盟において、平成9年から副会長を平成15年から会長を歴任され、後進の指導と剣道の振興に貢献されました。
スポーツ優秀賞	赤川知子	平成25年9月14日、15日、札幌パークゴルフ倶楽部で開催された、第19回JALカップ全日本パークゴルフ選手権大会において、宗谷管内代表選手として出場し、女子の部(254名参加)で8位の成績を挙げられました。
スポーツ優良賞	中頓別中学校3年 山田 海	平成25年1月5日、中頓別町で開催された宗谷地区中学校スキー大会において優勝し、同年、1月10日から12日、富良野市で開催された全道大会では大回転の組160名参加中35位の成績を挙げられました。
	中頓別中学校3年 菅原佳紀	平成25年7月14日、稚内市で開催された宗谷地区中学校卓球大会において上位入賞(個人戦ベスト4)し、同年、8月2日から3日、美唄市で開催された全道中学校卓球大会に出場されました。
	中頓別中学校1年 野田悠莉	平成25年6月22日、稚内市で開催された宗谷地区中学校柔道大会中学女子40kg以下級の代表者として選出され、同年、8月2日から3日、厚沢部町で開催された全道中学校柔道大会に出場されました。
	中頓別小学校5年 吉田皓晴	平成24年度9月30日、稚内市で開催された第51回稚内市防犯柔剣道大会小学生低学年の部において、28名が出場した中、準優勝の成績を挙げられました。

## 6. 平成25年度教育目標並びに施策の体系及び予算の状況

### (1) 北海道教育推進計画～教育ビジョン編～

- ・北海道教育の基本理念
- ・平成25年度宗谷管内教育の25の推進項目  
中頓別町の教育

※別紙のとおり

### (2) 第7期 中頓別町総合計画（抜粋）

※別紙「第4章 子育て支援、教育の充実」を参照

### (3) 施策の体系及び予算状況

※別紙「平成25年度施策の体系及び予算の状況」を参照

# 北海道教育推進計画 ～教育ビジョン編～

## 北海道教育の基本理念

自然豊かな北の大地で、自立の精神にあふれ、夢や希望の実現に挑戦し、これからの社会を担う人を育む

**自立**

心豊かに、ともに支え合い、ふるさとに誇りを持つ人を育む

**共生**

基本理念の実現のために  
5つの目標を設定

★未来を担う子どもたちを育むために

**基本目標1**  
社会で生きる実践的な力の育成

基本方向1

生きる知恵につながる確かな学力を育む、自立した生き方を支える教育の推進

基本方向2

社会の変化に対応し、新しい時代を切り拓く力を育む教育の推進

**基本目標3**  
信頼される学校づくりの推進

基本方向5

魅力ある学校づくりの推進

基本方向6

教職員に対する信頼性の向上

**基本目標2**  
豊かな心と健やかな体の育成

基本方向3

豊かな人間性と感性を育む教育の推進

基本方向4

心身の健やかな成長を促す教育の推進

**基本目標4**  
地域全体で子どもたちを守り育てる体制づくりの推進

基本方向7

家庭の教育力の向上への支援の充実

基本方向8

地域で子どもたちを育てる環境づくりの推進

**基本目標5**  
北海道らしい生涯学習社会の実現

基本方向9

学んだ成果を生かす生涯学習の推進

基本方向10

潤いのある地域づくりをめざす社会教育の推進

基本方向11

文化・芸術活動の推進

基本方向12

健康づくり・スポーツ活動の推進

★教育環境問題と家庭・学校・地域の連携のために

★すべての道民が、生涯を通じて、健やかに充実した生活を送ることができるように

\*北海道教育委員会では、本道の将来を担う子どもたちが夢と希望にあふれ心豊かにたくましく成長し、すべての道民が、生涯を通じて、健やかに充実した生活を送ることができるよう、生涯学習の視点に立ち、これからの北海道がめざす教育の理念や方向性を明確にし、本道教育を計画的、総合的に推進するため、北海道教育ビジョンを策定。(ビジョンの対象期間は、平成20年度から10年間を想定)

## 2. 「教育ビジョン編」と平成25年度宗谷管内教育推進の5つの柱

教育ビジョン編	平成25年度宗谷管内教育推進の5つの柱
<p>〈北海道教育の基本理念〉 「自立」と「共生」</p>	<p>〈宗谷教育のテーマ〉 未来への責任を果たす宗谷の教育の創造</p>
<p>◆基本目標 1 社会で生きる実践的な力の育成 〈基本方向〉 1 生きる知恵につながる確かな学力を育み、自立した生き方を支える教育の推進 2 社会の変化に対応し、新しい時代を切り拓く力を育む教育の推進</p>	<p>◆柱1 子どもの心に灯をともし、社会で生きる実践的な学力を育成する教育の推進 管内全ての子どもたちが、将来社会で自立して生きていく上で必要最低限の学力を身に付けることができるよう、学ぶことへの関心・意欲を高め、わかる喜びを実感させる学習活動の改善・充実を図り、学びの心に灯をともし、主体的に学び続ける態度を養う教育を推進します。</p>
<p>◆基本目標 2 豊かな心と健やかな体の育成 〈基本方向〉 3 豊かな人間性と感性を育む教育の推進 4 心身の健やかな成長を促す教育の推進</p>	<p>◆柱2 自他の心のぬくもりを大切にする豊かな心と健やかな体を育成する教育の推進 管内全ての子どもたちが、自他の生命を尊重し、互いのよさを認め合う好ましい人間関係を築くとともに、安全・安心な教育環境の下で、自他の心のぬくもりを分かち合う、心身の調和のとれたたくましい子どもを育成する教育を推進します。</p>
<p>◆基本目標 3 信頼される学校づくりの推進 〈基本方向〉 5 魅力ある学校づくりの推進 6 教職員に対する信頼性の向上</p>	<p>◆柱3 心の絆で結ばれた信頼に満ちた学校づくりの推進 法規・法令に基づいて学校の使命を確実に果たすとともに、組織としての重点目標の実現に向けて教職員が一体となって課題解決に取り組み、着実に成果を上げることにより、子どもはもとより保護者、地域住民との厚い信頼の絆を結び、相互の信頼感に満ちた学校づくりを推進します。</p>
<p>◆基本目標 4 地域全体で子どもたちを守り育てる体制づくりの推進 〈基本方向〉 7 家庭の教育力の向上への支援の充実 8 地域で子どもたちを育てる環境づくりの推進</p>	<p>◆柱4 地域全体の温かな目で子どもたちを守り育てる教育環境づくりの推進 子どもたちの成長を願う保護者や地域の人々の思いを結集し、学校はもとより、放課後や登下校、地域における活動等においても、温かな目で子どもを見守り、子どもたちが安心して自分らしさを発揮できる教育環境づくりを推進します。</p>
<p>◆基本目標 5 北海道らしい生涯学習社会の実現 〈基本方向〉 9 学んだ成果を生かす生涯学習の推進 10 潤いのある地域づくりをめざす社会教育の推進 11 文化・芸術活動の推進 12 健康づくり・スポーツ活動の推進</p>	<p>◆柱5 宗谷らしい生涯学習社会の実現 宗谷の自然や文化、伝統など、地域の特色を生かし、生涯のいつでも、どこでも自由に学ぶことができる場や機会の充実を図り、学んだ成果を生かすことのできる宗谷らしい環境づくりを推進します。</p>



#### 4. 平成25年度宗谷管内教育の25の推進項目

### 〈宗谷管内教育のテーマ〉

## 未来への責任を果たす宗谷の教育の創造

柱	番号	推 進 項 目
1 子どもの心に灯をともし、 社会で生きる実践的な学力 を育成する教育の推進	1	確かな学力の育成をめざす教育の推進（小・中学校） （理科・数学教育の充実を含む）
	2	確かな学力の育成をめざす教育の推進（高等学校）
	3	コミュニケーション能力を育む教育の推進
	4	特別支援教育の充実
	5	ふるさと教育の充実
	6	国際理解教育の充実
	7	社会の変化に柔軟に対応する力を育成する教育の推進 （情報教育、環境教育及び産業教育の充実）
	8	キャリア教育の充実
2 自他の心のぬくもりを大 切にする豊かな心と健やか な体を育成する教育の推進	9	道徳教育の充実
	10	読書活動の推進
	11	体験的な活動の充実
	12	生徒指導・教育相談の充実
	13	体力・運動能力の向上
	14	食育の充実
	15	健康教育の充実
	16	安全教育の充実
3 心の絆で結ばれた信頼に 満ちた学校づくりの推進	17	特色ある学校づくりの推進（開かれた学校づくりの推進、 学校の施設・設備の充実、管理職のリーダーシップによ る学校組織の活性化を含む）
	18	学校間の連携・接続の推進
	19	教職員の資質・能力の向上
4 地域全体の温かな目で子 どもたちを守り育てる教育 環境づくりの推進	20	家庭の教育力の向上・子育て支援の充実
	21	地域の教育力の向上
	22	子どもたちの安全・安心を確保する体制づくりの推進
5 宗谷らしい生涯学習社会 の実現	23	生涯学習推進体制の充実・生涯学習活動の促進
	24	社会教育推進のための基盤整備・社会教育活動の推進
	25	文化・芸術活動の推進、文化財の保存・活用

# 中頓別町の教育

## ○教育目標〔昭和26年制定〕

- 1 寒冷に適應する健康の増進
- 2 積極的な勤勞意欲の育成
- 3 科学的な生産技術の形成
- 4 合理的な生活様式の創造
- 5 明朗で民主的な郷土の建設

## ○学校教育推進の重点

- 重点1 創意ある教育活動をめざし、研修の充実と意欲的参加を図る学校経営
- 重点2 基礎的・基本的内容を身につけさせ学ぶ意欲を育てる教科指導
- 重点3 豊かな道徳性を養い、望ましい習慣形成を図る道徳教育
- 重点4 自主性・社会性を培い、実践的態度を育てる特別活動
- 重点5 心の触れ合いを大切にし、意欲的に自己を高める生徒指導
- 重点6 運動の生活化をめざし、自らをたくましく鍛える健康・安全指導

## 第7期 中頓別町総合計画

□計画期間：平成24年4月1日～平成34年3月31日

※抜粋

### 第4章 子育て支援、教育の充実

#### 1 健やかでこころ豊かな子どもを育てる環境づくり

<政策目標>

健やかでこころ豊かな子どもを育てる環境をつくります

<現状と課題>

子育て支援では、妊婦および乳幼児においてはそれぞれ必要な時期に健診等を受けることが出来ています。また相談や各種事業を通して、きめ細かな支援を行ってきており、子どもの健やかな成長につながっています。まちの将来を担う子ども達の健康と発達を保障するため、各種事業を継続、生活習慣形成の時期に支援することで生涯を通じた健康づくりにつなげていかなければなりません。

幼児教育では、就学前の教育・保育を一体として捉え、一貫して提供する「認定こども園」を本町における子育て支援の核施設として位置づけています。幼児教育から小学校教育の円滑な接続に向けてその役割はさらに重要となっていており、今後も教育委員会を中心として、小学校はじめ関係機関との連携した事業の取り組みが求められています。また、保育（養護）の観点からも今まで同様、保健福祉事業との連携強化を図っていく必要があります。

こども館では、保護者一人ひとりの気持ちを受け止め、適切なアドバイスをしたり、保護者が最も良い選択ができるよう、いくつかの解決方法を提示するなど、サポートすることが大切です。保護者とより良い協力関係を築きながら、子どもの育ちや子育てを支えていけるよう、さらに職員の資質向上を図らなければなりません。保護者一人ひとりの意向を受け止めていく中でも、「子どもの一人ひとりの特性と、子育て家庭の背景をしっかりと捉えた上で、子どもの発達段階にあった幼児教育と保育」を最優先に考え、安心して快適に過ごせるような環境づくりを今後も進める必要があります。

このほか、子どもや子育て支援の取り組みとしてブックスタート、いきいきふるさと推進事業による絵本のプレゼント、そうや自然学校の活動で子どもの自然体験活動に取り組んできています。異世代のつながりも創りながら、そうや自然学校事業との連携を図りながら自然を大切にする心、豊かな感性を育てていくための活動の充実をさらに図っていく必要があります。

学校教育では、国をあげて学力の向上、体力の向上に対する取り組みが強化されてきていますが、それらも含め本町ならではの「子どもの将来を生き抜く力」を育む取り組みが益々重要となってきました。今後においては、「学校・家庭・地域の連携による教育支援活動」としての活動を明確にし、学びを支える地域住民の関わりを充実させるなど、地域全体の教育力向上をめざしていく必要があります。

また、中頓別中学校は築後44年が経過し、途中大規模改修は行っているものの、老朽化は著しく、安心安全な教育環境対策が大きな課題となっています。幼・小・中の教育の一元化とあわせできるだけ早い時期にその方向性を見出す必要があります。

<基本方針>

小さな町の良さを活かし地域ぐるみで子どもを大切にする思いを共有し、子育て支援と

幼児教育、学校教育の充実を図り、健やかでこころ豊かな子どもを育てる環境をつくっていきます。

#### (1) 子育て支援と幼児教育の充実

小さな町の良さを活かして地域全体で子育てに取り組む町をめざし、こども館を核に、保護者とより良い関係のもと幼児の保育と教育の充実を図ります。

子どもたちがお年寄りから昔の知恵や経験を学んだり、豊かな自然にふれあうなど体験活動ができるようにしていきます。

こども館と保健福祉課が連携し、遊びの提供や各種講演や相談事業の推進、健康診断や各種予防接種を行い、児童の健全育成を図ります。

##### <取組事業>

- いきいきふるさと推進事業
- 乳幼児医療給付事業
- 子ども手当支給事業
- ひとり親家庭等医療給付事業
- 母子健診事業
- 認定こども園事業
- 地域子育て支援事業（※そうや自然学校との連携事業）
- 放課後児童健全育成事業
- 学校・家庭・地域の連携による教育支援活動事業
- 「未来を担うこどもの健全育成と教育基金」活用事業

#### (2) 学校教育の充実

地域全体で学校の取り組みを支援し、子どもたちの豊かな心を育むとともに、体力、学力の向上に取り組めます。

恵まれた自然と地域の伝統などを教材に、そうや自然学校との連携を図るとともに地域の方々のご支援をいただきながら環境学習や郷土学習、多様な体験活動学習などができるよう支援します。

##### <取組事業>

- 小学校教育振興事業
- 中学校教育振興事業
- 学校給食事業
- へき地教員住宅建設事業

## 2 生きがいとまちづくりを支える社会教育の推進

### <政策目標>

生きがいとまちづくりを支える社会教育を推進します

## <現状と課題>

第6期総合計画に合わせて「まちづくり生涯学習推進計画」を策定し、あらゆる生涯学習の実践をとおしてまちづくりを推進していくことを位置づけています。

社会教育では、個人の要望に応じた学習支援だけのものにとどまらず、社会の要請に基づく学習支援の形成をめざし、地域住民として対処することが必要な課題についての学習、または地域の課題を解決する活動等に地域住民の参加を促しながら効果的に推進することが望まれています。このため、学校、家庭、地域が連携しながらさまざまな学習、体験活動の機会を充実させるなどの「学び」を支援する体制をつくり、その「学びの支援」から生まれる生きがいの気持ちをさらに充実させるよう努める必要があります。

社会体育では、各年代にあったスポーツ振興を考えたとき、その目的や必要性、支援の内容は一様ではないため、その取り組み内容をあらためて明確にしていく必要があります。また、高齢者における健康づくり・体力維持を支援する取り組みは保健福祉事業等、関係機関との連携を図りながら取り組みを行っていく必要があります。

社会体育施設においては、老朽化等により設備の更新の必要な施設も多くなってきており、その整備方針づくりが急務であります。また、各施設の有効活用、利用促進を考えたとき、スキー場やパークゴルフ場での町民、町外料金一本化や各種大会の広域的な開催の促進をめざす必要があります。

地域文化の振興と文化財の保護では、小学校の総合学習を含めて地域の歴史や生活文化などを見直し、そこから学びながら地域の魅力を磨いていく取り組みが生まれてきています。すぐれた芸術や文化を鑑賞する機会や、文化祭への参加を含めて幅広く文化的な活動に参加できる機会を確保していくことも必要です。地域の貴重な文化財である鍾乳洞の保存を図りながら、多くの人が学んだり体験できるよう取り組んでいかなければなりません。

地域間交流では、姉妹町である広島県東野町が合併し大崎上島町となっています。合併後、青少年交流がなくなりましたが町民派遣と受け入れ事業は隔年で継続されています。今後も交流の火を消さないように、長く続けられる交流のあり方を考えながら、事業の継続を図っていく必要があります。

## <基本方針>

子どもからお年寄りまでの生きがいづくりと町民主体のまちづくりを支えていくため、社会教育、社会体育の充実を図るとともに、地域文化の振興と文化財の保護、地域間交流と国際交流を推進します。

### (1) 社会教育の充実

一生における幼年期・児童期・青年期・壮年期・老年期などの段階で、自ら積極的に取り組む意欲を啓発し、その学習機会の提供に努めます。

児童書や一般向け図書を購入し、蔵書の充実を図ります。

さまざまな体験を経て豊かな心と体を育む少年期、社会参加の機会も増えて自立を迎える青年期とどの時代においても重要な課題があります。成長過程において異なる体験によりこれからの社会生活に順応できるよう、交流活動の実施や学習機会を提供していきます。

## <取組事業>

- 高齢者教室「寿大学」運営事業

- こども読書プラン事業
- 子ども体験活動事業（※そうや自然学校との連携事業）

## (2) 社会体育の充実

町民のスポーツ活性化に向けて、各種スポーツ教室・大会開催し、健全な心と体を培うとともに、スポーツ団体の育成を図ります。

### <取組事業>

- 社会体育推進事業
- 町民各種スポーツ大会等運営事業
- 冬季スポーツ教室等運営事業

## (3) 地域文化の振興と文化財の保護

児童生徒及び町民に優れた芸術鑑賞機会を提供するとともに、文化団体・サークルの育成と発表機会の拡充を図ります。

### <取組事業>

- 町民文化推進事業
- 巡回小劇場公演運営事業
- 文化財保護利活用事業

## (4) 地域間交流と国際交流

生活文化の異なる大崎上島町との親善、交流を深め、相互の活性化を高めるため交流を継続します。また、青少年の派遣交流事業など、国際化社会に対応した交流事業について取り組むことで検討していきます。

### <取組事業>

- 大崎上島町交流実行委員会助成事業
- 青少年国際交流事業

平成25年度 施策の体系及び予算の状況

基本計画	事務事業名	目的・概要	H24年度 決算額	H25年度 決算額	比較	実施概要
第1項 子育て支援と幼児教育の充実	次世代育成支援対象事業 ※社会福祉費で計上	中頓別町認定こども園では、未来を担う子どもたちのために、地域に開かれた認定こども園として、積極的に老人福祉施設、町内のお年寄り、小中学生との世代間交流事業を取り入れ、豊かな人間性を身につけることを目的とする。そのため年間9～10回の交流の場を企画・計画して進める。	511	511	0	0 異世代交流 ・畑作り・運動会・盆祭り・収穫祭、文化鑑賞会・体験学習・各種 ・研修会・世代間交流・花壇作り・運動会・盆祭り、文化鑑賞会・ ・伝承あそび、各種研修会
	小計		511	511	0	
第1節 健やかでこころ豊かな子どもを育てる環境づくり	認定こども園事業 ※児童福祉費で計上	中頓別町認定こども園は子どもが生涯にわたる人間形成にとって極めて重要な時期に、その生活時間の大半を過ごす場であります。家庭との密接な連携のもとに、子どもの状況や発達過程を踏まえ、こども園における環境を通して、養護及び教育を一体的に行い、様々な分野からこどもの最善の利益を考えて計画的に事業を展開している。	13,422	14,324	902	・保育教育事業 ・給食事業 ・検診事業 ・文化伝統行事事業  【臨時事業】 ・厨房冷房用エアコン ・厨房用冷蔵庫 ・厨房用冷凍庫 ・保育所給食管理システム
	地域子育て支援センター事業 ※児童福祉費で計上	すべての子育て家庭が気兼ねなく親子で集まり、相談や交流が気軽に出来るよう、支援活動の企画や子育て情報の提供、子育て家庭に対する育児不安などについての相談・指導を行い、中頓別町の子育て家庭に対する育児支援を行なうことを目的として毎月6～7回の事業を展開し、事業内容によっては随時施設を開放したり相談を受け付けている。	378	384	6	年齢別あそびの広場開催 ・すやすや広場・わくわく広場 ・施設開放ばすでの広場・子育て講座、講演開催 ・子育てサロン・育児相談随時・文庫開放随時 ・育児サークル支援随時
第4章 子育て支援、教育の充実	放課後児童健全育成事業 ※児童福祉費で計上	小学校に就学している子どもで、保護者が就労等により昼間家庭にいない子を対象とし、放課後の時間帯において、保護者の代わりに家庭的機能の補完をしながら生活や遊びの場を提供し、子どもの健全育成を図るために事業を計画的に展開している。	1,184	1,340	156	・保育教育事業 ・親子レクリエーション・保護者会 ・文化伝統行事、その他の行事
	小計		14,984	16,048	1,064	
	合計		15,495	16,559	1,064	

平成25年度 施策の体系及び予算の状況

基本計画	事務事業名	目的・概要	H24年度 決算額	H25年度 決算額	比較	実施概要
第1項 子育て支援と幼児教育の充実	学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業	近年青少年をめぐる様々な問題が生じ、「地域の教育力が指摘される。学校教育においては、教育活動以外の業務など、教員の業務量が増え、教員の勤務負担を軽減し、教員が子ども一人一人に対するきめ細やかな指導をする時間の確保が課題となっている。地域住民等の参画による「学校支援地域本部」「放課後子ども教室」「家庭教育支援」の取り組みを有機的に組み合わせ、より充実した教育支援活動を支援する。北海道教育大学校等と連携し、小学生を対象とした学習サポートを進める。	1,839	1,836	▲3	①学校支援地域本部事業 ・総合的な学習への支援等 ②放課後子どもプラン推進事業 ・放課後子ども教室等 ③家庭教育支援活動事業 ・家庭教育講演会等
第1節 健やかでこころ豊かな子どもを育てる環境づくり	なかとんべつ子ども読書プラン事業	子どもがたくさんの本と出会う機会を保障し、そのために必要な環境を計画的に整備するとともに、絵本の読み聞かせなどまわりの取組むべき活動を推進することを目的とする。	6	29	23	・絵本読み聞かせ講習会の開催 ・ブックスタート事業 ・いきいきふるさと推進事業での読み聞かせ ・図書室での読み聞かせ
第4章 子育て支援、教育の充実	青少年健全育成事業	教育活動の一環として、小中学生に広く親子、地域住民とのふれあいの機会を提供し、地域全体で子どもの健全育成を図る。 日本の伝統であるカルタを通して、伝統芸能の伝承及びカルタ愛好者を発掘、育成する。 学校・地域が連携して町内の児童生徒が健全に育成できるよう推進する。	660	715	55	①中頓別町あいさつ子育て推進協議会運営補助事業 ・街頭放送による広報・祭典パレード啓発活動 ・あいさつ運動 ②生徒指導連絡協議会運営補助事業 ・長期休業期間中の啓発チラシ作成配布・祭典巡視活動 ・教育講演会への支援協力 ③各種交流事業 ・カルタ大会・カルタ教室・こどもオセロ大会 ・北緯45度ふれあい広場運営補助 ④少年団活動推進事業 ・スポーツ少年団本部の運営及各団活動の支援



平成25年度 施策の体系及び予算の状況

基本計画	事務事業名	目的・概要	H24年度 決算額	H25年度 決算額	比較	実施概要
第4章 子育て支援、教育の充実	第2項 学校教育の充実	教育委員会事務局等に関する事務を統括すること。教育、文化、スポーツ等に関する事務を統括すること。教育委員会規則の定めにより、教育、文化、スポーツ等に関する事務を統括すること。教育委員会規則の定めにより、教育、文化、スポーツ等に関する事務を統括すること。教育委員会規則の定めにより、教育、文化、スポーツ等に関する事務を統括すること。	69,680	67,907	▲ 1,773	教育委員会及び事務局経費 事務局車両経費関係
			3,776	4,096	320	外国語活動 ・中学校 英語授業等の補助 ・小学校 外国語活動等の授業の補助 ・子ども館 絵本読み聞かせ、英語指導、幼児交流等 英会話教室 ・毎週金曜日 午前10時～12時
	教育研究指定校委託事業	各小中学校における教育効果をより高めるため、特徴ある学校経営の活動について研究し実践していく。	100	100	0	学校経営に基づく研究の実施と研究内容の報告
	教職員健康診断事業 (人間ドック)	学校における職員の健康の保持増進を図り、病気の早期発見に資するため、職員の健康診断を実施する事業である。	12	24	12	教職員健康診断(人間ドック) 公立学校共済組合北海道支部 人間ドック対象者 35歳以上 ※55歳以上負担なし 負担金(12,000円) 35歳～54歳まで
	教職員健康診断委託事業	学校における職員の健康の保持増進を図り、病気の早期発見に資するため、職員の健康診断を実施する事業である。	458	345	▲ 113	教職員健康診断委託料 検診病院 中頓別国保病院
	学校体育推進事業	町内中学校生徒の身体並びにスポーツ技術の向上、管内中学生との交流と親睦を図ることを目的として、中頓別町学校体育連盟に補助金を交付する事業である。	273	273	0	事業運営に対する補助 ○南宗谷中体連関係 ・南宗谷中学校防犯球技大会 ・南宗谷中学校防犯球技大会 ○宗谷地区中体連関係 ・宗谷地区春季陸上競技大会 ・宗谷地区中学校球技大会 ・宗谷地区秋季陸上大会 ・宗谷地区中学校スキー大会
	中頓別町教育研究会 運営事業	「地域に根ざし、人間性豊かな児童・生徒を育てる教育」を目標に、学校や子どもたちの実態、地域性を踏まえた教育研究活動の推進と、小学校、中学校の主体性を発揮しつつ、接続連携を意識した実践の交流や研究を通して、教職員個々及び学校としての教育力を高めていく。	262	262	0	事業運営に対する補助金 ・小中連携推進会議 ・生教科サークル部会 ・教育研究会教育講演会 ・中頓別町、浜頓別町合同教育研究大会
	中頓別町特別支援教育 連携協議会運営事業	発達障害を含めた障害のある子どもよりよい生活を築くため、関係機関が横断的に連携し、就学前から就学後及び卒業後の就労を含めた継続的、総合的な支援を行うことを目的に補助金を交付する事業である。	40	40	0	協議会の運営に係る補助 ・総会、役員会、学習・講演会、視察研修
	教職員住宅管理事業	へき地学校等に勤務する教員及び職員の住宅整備を実施することにより教育の水運の向上を図る。 また、教職員住宅の計画的な整備を行う。	669	3,815	3,146	教職員住宅の修理修繕・維持管理等の経費 【臨時事業】 ・ユニットバス改修 3件 ・屋根塗装 4件
	へき地教職員住宅建設事業	教職員住宅の不足により、入居できない教職員が町外からの通勤を余儀なくされていることから、住宅環境の向上を図るため教職員住宅の建設を行う。	24,287	0	▲ 24,287	教職員住宅建設事業 2件 ※平成23年度繰越事業

平成25年度 施策の体系及び予算の状況

基本計画	事務事業名	目的・概要	H24年度 決算額	H25年度 決算額	比較	実施概要
第2項 学校教育の充実	小学校施設維持管理 事業	児童が快適で安全に学校生活を送り、学習できる教育環境を維持するための事業である。 学校施設等の安全管理に努めるため専門業者による業務委託管理を実施する。	11,805	13,087	▲ 1,282	安心安全な学校運営に向けた教育環境の維持・管理及び 学校運営に必要な消耗品・備品等の経費 小学校の電気設備、消防設備等の点検管理等業務の委託  【臨時事業】 ・小学校体育館屋根改修 ・すべり台修繕 ・冷蔵庫
第1節 健やかでこころ豊かな子どもを育てる環境づくり	中学校施設維持管理 事業	生徒が快適で安全に学校生活を送り、学習できる教育環境を維持するための事業である。 学校施設等の安全管理に努めるため専門業者による業務委託管理を実施する。	9,304	9,042	▲ 262	安心安全な学校運営に向けた教育環境の維持・管理及び 学校運営に必要な消耗品・備品等の経費 中学校の電気設備、消防設備等の点検管理等業務の委託
第4章 子育て支援、教育の充実	小学校教育振興事業	児童の教育活動において必要となる教育資材等を整備し、教育指導の充実を図るため実施する事業である。 児童生徒の健康の保持増進及び病気の早期発見につなげていくことを目的として、児童生徒の健康診断を実施する事業である。	3,259	2,723	▲ 536	○教育に係る教材及び使用料等の経費 ○児童生徒健康診断委託事業 ○内科、結核、心臓、歯科、尿きょう中卵検査 へき地児童生徒巡回検査事業
	中学校教育振興事業	生徒の教育活動において必要となる教育資材等を整備し、教育指導の充実を図るため実施する事業である。 児童生徒の健康の保持増進及び病気の早期発見につなげていくことを目的として、児童生徒の健康診断を実施する事業である。	2,687	1,609	▲ 1,078	【臨時事業】 ・カプラー大玉  ○教育に係る教材及び使用料等の経費 ○児童生徒健康診断委託事業 ○内科、結核、心臓、歯科、尿きょう中卵検査
	就学児健康診断委託 事業	就学予定者の状況を把握し、保健上必要な助言や適正な就学についての指導等を行うため、健康診断を行う事業である。	54	49	▲ 5	【臨時事業】 ・エバーマツト(体育用品)  内科、歯科検診
	就学奨励事業	経済的な理由によって就学が困難と認められる児童又は生徒の保護者に対して、義務教育の円滑な実施に資することを目的として、必要な援助を行う事業である。 また、特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対しては、特別支援教育の振興に資することや経済的負担を軽減することを目的として、必要な援助を行う事業である。	878	559	▲ 319	対象者への就学援助
	学校給食事業	給食は、児童・生徒に望ましい食事に関する経験をかさねさせ、心身の健全な発達に寄与することを目的に、児童・生徒に給食を一日一回提供を行う。	10,136	11,818	▲ 1,682	【臨時事業】 ・重油タンク破膜塗装 ・殺虫器ムシボン

平成25年度 施策の体系及び予算の状況

基本計画	事務事業名	目的・概要	H24年度 決算額	H25年度 決算額	比較	実施概要
第1項 社会教育の充実	成人式運営事業	・成人を迎える若人が郷土愛や仲間意識を高め、成人となることの意義を考え、社会人としての責務や役割を十分認識し、更なる飛躍を期待する。	23	19	▲ 4	・中順別町成人式の開催
	生涯学習推進事業	学習と思考を重ね、能力や健康増進に自信を深めるとともに、世代間交流や共同学習による交流を深め、趣味や娯楽などのサークル活動を通じて、自ら活動する。	61	89	28	○高齢者生きがい対策事業 ①高齢者教室「寿大学」運営事業 ・入学式及び卒業式 ・他団体との交流 ・道内見学(1日研修、修学旅行) ・学校祭の開催 ・パソコンサークル ・大正琴サークル ②異世代交流事業
第2節 生きがいとまちづくりを支える社会教育の推進	社会教育推進事業	社会教育の振興刷新に資するため本町に社会教育委員を置く。生涯学習やまちづくり団体・サークルが自主的に活躍するため、各種研修会や会議に派遣し団体やサークルの指導者を養成し、継続的な活動を推進する。また、自主的な生涯学習活動やまちづくり活動を図れるよう個人指導者や団体やサークルの育成を推進する。管内の生涯学習推進関係者や社会教育関係者等がその実践や研究協議を開催し、管内の生涯学習情報の収集と生涯学習関係者の資質の向上を図る。	325	189	▲ 136	①社会教育委員会運営事業 ・社会教育委員会議 ・社会教育推進計画の策定 ・管内社会教育委員連絡協議会運営事業負担 ・管内会議及び研修会の参加 ②各種研修派遣事業 ・各種委員研修会 ・社会教育主宰研修会 ③管内生涯教育推進協議会運営負担等 ・会議研修会参加 ④文化スポーツ表彰
	町民センター維持管理運営事業	地域住民のコミュニティ活動の拠点として施設の貸し出しや維持管理運営を行い、地域活動や生涯学習・まちづくり活動、各種団体サークル等の活動支援を図る。	7,970	7,984	14	・町民センター維持管理  【臨時事業】 ・芝刈り機購入 ・刈払機購入
第4章 子育て支援、教育の充実	郷土資料館及び青少年柔剣道場維持管理運営事業	本町開拓の歴史的経過と先人の事業を知り、郷土に関する資料の保存と展示をし、郷土に対する認識をたかめる。健康で文化的生活を築くために柔剣道場及び図書室、研修室を活用し、青少年の健全育成を図る。	3,519	3,378	▲ 141	・郷土資料館及び柔剣道場の運営維持 ・図書室管理運営事業
	多目的集会所施設維持管理運営事業	小順別地区の住民活動の場として施設の維持管理を町内会に委託している。	686	695	9	・多目的集会所施設維持管理業務の委託
	創作活動施設維持管理運営事業	中順別町らしい個性豊かな芸術文化の発展のため、地域や職場、団体サークルの創作活動の拠点として積極的な活用を図る。	402	418	16	・創作活動施設運営管理

平成25年度 施策の体系及び予算の状況

基本計画	事務事業名	目的・概要	H24年度 決算額	H25年度 決算額	比較	実施概要
第2項 社会体育の充実	第2節 生きがいとまちづくりを支える社会教育の推進	各スポーツ団体等の活動を支援し、スポーツ振興と活性化、健康づくりを図ることを目指す。	464	279	▲ 185	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進</li> <li>・スポーツ推進消耗品</li> <li>・スポーツ傷害保険</li> <li>・レクリエーション保険</li> <li>・スポーツ巡回車維持管理</li> </ul>
	第4章 子育て支援、教育の充実		147	185	38	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進に関する活動</li> <li>・管内会議及び研修会等への参加</li> <li>・スポーツ推進委員会議の開催</li> </ul>
	町民各種スポーツ大会等運営事業	各種スポーツを通して、本町の生涯スポーツの推進及び町民の健康増進と体力向上を図る。	157	180	23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(主催)運営委員会等)</li> <li>・町長杯バレーボール大会</li> <li>・町民ソフトボール大会</li> <li>・町民駅伝大会、小学校マラソン大会</li> <li>・夏休みラジオ体操会</li> </ul>
	冬季スポーツ教室等運営事業	冬季スポーツを通して、運動不足の解消、健康増進と体力向上を図る。	213	224	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(主催)運営委員会等)</li> <li>・一般スキー教室</li> <li>・ジュニアアルペンスキー教室</li> <li>・歩くスキー教室</li> <li>・キッズスキー教室</li> <li>・スノーボード教室</li> <li>・町民スノーエスティバシ</li> <li>・N45° なかたんべつ寿アルペン競技大会</li> </ul>
	町民体育館維持管理運営事業	町内で活躍しているスポーツ団体やサークル、愛好団体のスポーツ活動の拠点として提供している。また、学校の部活動としても活用され、多くの団体やサークルに利用されている。	697	583	▲ 114	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民体育館の維持管理</li> <li>・学校や団体サークルの効果的な利用</li> </ul>
	山村水泳プール維持管理運営事業	学校授業や町内外の子どもから大人までの水泳技能や水中運動による健康体力づくり、子どもたちの活動の場となることを目指す。	1,292	4,676	3,384	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山村プール内外の環境整備</li> <li>・施設の維持管理</li> <li>・水質管理と利用者への安全確保</li> </ul>
						<ul style="list-style-type: none"> <li>【臨時事業】</li> <li>・上層ビニール交換</li> <li>・温水ボイラー交換設置工事</li> <li>・コーススロープ</li> <li>・アグアスイーパー</li> </ul>

平成25年度 施策の体系及び予算の状況

基本計画	事務事業名	目的・概要	H24年度 決算額	H25年度 決算額	比較	実施概要
第2章 社会教育の充実	第2節 生涯学習の推進	町の社会教育施設の管理を平成18年度から指定管理として中頃別荘興業に管理委託している。利用者の意見や意向、ニーズを把握しながら、有益で地域住民の親しいの場として、円滑・効率的な運営管理を図るため、中頃別荘興業に指定管理を委託する。町の施設の効率のいい運営と住民サービスの向上を図る。	19,748	19,309	▲ 439	指定管理施設 ・中頃別荘スキー場 ・ふれあいスポーツ広場 ・寿公園施設  【臨時事業】 ○寿公園 ・自走式芝刈機オーバーホール ・寿公園遊具修繕工事 ・パークゴルフ場浄化槽プロア交換 ○圧雪草 ・圧雪車タイヤ交換
第3章 地域文化の振興と文化財の保護	町民文化活動推進事業	地域の個人・団体サークルや、町内各学校における日頃の文化活動や学習成果の発表を通じ、それぞれの活動を知らせ、お互いの交流を深める。地域的に優れた芸術文化に接する機会が少くないため、優れた芸術作品に接し、鑑賞機会を提供する。 日頃、舞台芸術を鑑賞する機会が少ない地域の児童・生徒を対象に学校体育館等の身近な会場で舞台芸術を鑑賞する場を提供し、次代を担う児童・生徒の豊かな感性や個性を育むとともに、芸術文化を理解し、大切にする心を養うため、北海道巡回小劇場と共催して事業を実施する。	828	835	7	①町民文化活動推進 ・町民文化祭 ・芸術文化公演 ・町民文化活動の活性化方策の検討 ②巡回小劇場公演運営事業(児童生徒芸術鑑賞事業) ・町民文化公演として開催
第4章 子育て支援、教育の充実	文化財保護事業	本町の区域内に所在する文化財(国又は道の指定するものを含む)の保全及び活用のため必要な措置を講じ、文化財の保全保護と活用に資する。	21	10	▲ 11	○文化財保護保全活動の推進 ・文化財保護委員会 ・町内文化財的資源の調査(変化の確認)等 ・国の登録有形文化財「旧丹波屋旅館」 ・中頃別荘乳洞
合 計			176,738	157,382	▲ 19,356	

## 7. 施策項目(事務事業)ごとの取り組み

### 概要・成果や課題・今後の方向性

#### (1) 健やかでこころ豊かな子どもを育てる環境づくり

① 子育て支援と幼児教育の充実

② 学校教育の充実

◇中頓別小学校の教育

○平成25年度中頓別小学校の校訓・教育目標・学校経営

○学校経営 取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

◇中頓別中学校の教育

○平成25年度中頓別中学校の校訓・教育目標

○学校経営 取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

#### (2) 生きがいとまちづくりを支える社会教育の推進

① 社会教育の充実

② 社会体育の充実

③ 地域文化の振興と文化財の保護

#### (3) 別紙資料

別紙1 学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業実績

別紙2 平成25年認定こども園と中頓別小学校との連携方針実施状況の総括

7. 施策項目(事務事業)ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

(1) 健やかでこころ豊かな子どもを育てる環境づくり

①子育て支援と幼児教育の充実

施策項目	取り組み概要	平成24年度	平成25年度																								
		○成果●課題◇今後の方向性	○成果●課題◇今後の方向性																								
認定こども園事業	<p>急速な少子化の進行や家庭・地域を取り巻く環境の変化に伴い、小学校就学前の子どもに幼児教育・保育等総合的に提供する。</p> <p>【入所人員】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・0歳児</td> <td>3名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>・1・2歳児</td> <td>8名</td> <td>12名</td> </tr> <tr> <td>・3歳児</td> <td>10名</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>・4歳児</td> <td>8名</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>・5歳児</td> <td>11名</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>40名</td> <td>39名</td> </tr> <tr> <td>うち短時間利用児</td> <td>0名</td> <td>0名</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	・0歳児	3名	2名	・1・2歳児	8名	12名	・3歳児	10名	5名	・4歳児	8名	10名	・5歳児	11名	10名	合計	40名	39名	うち短時間利用児	0名	0名	<p>○主体的な活動や遊びを保障し、子どもの発達や学びの連続性を確保する観点から、小学校への円滑な接続に向け、創意工夫のある教育及び保育を展開することができた。</p> <p>●子どもの生活の連続性、遊びや学びの連続性と関連性を大切にしながら、子どもの育ちを保障し、さらに特性を生かした教育と保育が求められる。</p> <p>◇今後も専門性を高め、子どもの発達や学びの連続性を確保する観点から、小学校への円滑な接続に向けた教育及び保育の内容の工夫を図り、家庭・地域・学校との積極的な連携をすすめる。</p>	<p>○地域の実情に応じた創意工夫のある教育と保育を展開することを意識しながら、子ども達の発達や学びを確保する観点から、遊びを保障し、小学校へのなめらかな接続を進めることができました。</p> <p>●子どもの育ちの連続性を十分理解しながら、子ども達一人ひとりの特性と発達段階を共有し、さらにきめ細やかな教育と保育が求められます。</p> <p>◇今後も保護者とのより良い協力関係を築きながら、子ども達の特性や発達段階に合わせた、幼児教育と保育の内容を工夫し、家庭・地域・学校との接続に向け、積極的に連携を図っていく。</p>
			H24	H25																							
・0歳児	3名	2名																									
・1・2歳児	8名	12名																									
・3歳児	10名	5名																									
・4歳児	8名	10名																									
・5歳児	11名	10名																									
合計	40名	39名																									
うち短時間利用児	0名	0名																									

施策項目	取り組み概要	平成24年度	平成25年度																					
		○成果●課題◇今後の方向性	○成果●課題◇今後の方向性																					
地域子育て支援事業	<p>すべての子育て家庭を対象に、子育ての不安に対応した相談や援助の実施。子育て家庭の交流の場の提供及び促進を図る。</p> <p>【取り組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あそびの広場</li> <li>・育児相談</li> <li>・文庫開放</li> <li>・子育て講演/講座</li> <li>・情報の提供</li> </ul>	<p>○親同士の出会いと交流の場であり、子ども達が自由に遊び関わりあう場につながっています。</p> <p>●子育てのはじめの一步を踏み出した親子が、地域社会から温かく見守られながら、子育てしていると実感できるよう子育て環境を整えていく。</p> <p>◇今後も、利用者同士がお互い支えあい、育みあえる関係づくりに取り組むことが重要であり、他の専門職との連携やネットワークづくり、ボランティアとの交流など、積極的に地域交流の可能性の拡大をすすめます。</p>	<p>○地域の子育て家庭においても、専門性を生かしながら、展開する機会をできるだけつくることで、安心して利用できる環境を整えることができました。</p> <p>●職員が子育て支援の重要性を認識し、保護者が安心して利用できる雰囲気づくりや、細やかな心配りがさらに求められます。</p> <p>◇今後も、地域に開かれたこども園は、子育て家庭にとって心強い存在となり、子育てする上での安心感につながるよう、積極的に地域の子育て家庭を受け入れていくことが大切です。</p>																					
放課後児童健全育成事業	<p>保護者の就労形態により、昼間家庭にいない子どもを対象として、保護者の代わりに家庭的機能の補完をしながら「遊び」及び「生活」を通してその子どもの健全育成を図る。</p> <p>【入所人員】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・1年生</td> <td>2名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>・2年生</td> <td>9名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>・3年生</td> <td>3名</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>・4年生</td> <td>2名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>・5年生</td> <td>0名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>16名</td> <td>16名</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	・1年生	2名	3名	・2年生	9名	3名	・3年生	3名	6名	・4年生	2名	3名	・5年生	0名	1名	合計	16名	16名	<p>○子ども達一人ひとりの情緒の安定に配慮し、安心して過ごせるよう工夫ができた。</p> <p>●子ども同士の関係にも十分配慮し、さらに子ども達一人ひとりが安心して楽しく過ごせる環境づくりに取り組む。</p> <p>◇今後も、家庭・地域と連携を図った活動の充実や学校等との情報を共有しながら、きめ細かな子どもとの関わりをすすめる。</p>	<p>○子どもが家庭に替わる「生活」の場として過ごす放課後児童クラブの役割をふまえ、安全・衛生面に配慮し、安定して生活を送ることができました。</p> <p>●さらに子ども達一人ひとりが安心して心地よく過ごせる空間を工夫する。</p> <p>◇子どもの生活・発達の連続性を保障するため、関係機関との情報の共有と相互理解に努め、積極的に連携を図る。</p>
	H24	H25																						
・1年生	2名	3名																						
・2年生	9名	3名																						
・3年生	3名	6名																						
・4年生	2名	3名																						
・5年生	0名	1名																						
合計	16名	16名																						



施策項目	取り組み概要	平成24年度 ○成果●課題◇今後の方向性	平成25年度 ○成果●課題◇今後の方向性
あいさつ 子育て推進協議会 運営補助事業	子どもの健全育成を願い、 学校・父母・地域住民が共同 して活動をする。 【事業内容】 ・子育て看板の設置 ・商工会街頭放送 ・祭典パレードでの参加協力 ・三行詩の取組み（町P連と 連携） ・教育講演会への支援協力 【補助金】 ＜平成24年度＞ ・補助金 84,000円 ＜平成25年度＞ ・補助金 84,000円	○関係機関との連携によりさ まざまな取り組みが継続され ている。特に三行詩では豊か な創造力の育みとなる機会と なっている。 ●子どもたちと地域の関わる 機会が少ない。 ◇時代に合わせた取り組みの 検討と、組織の整理統合を進 める。	○関係機関との連携により子 育て啓発活動の推進が図られ た。「楽しい子育て全国キャ ンペーン」で道P連の入選。 ◇ あいさつ子育て運動につ いて、その意義や大切さ、習 慣化が図られ、会の目的もあ る程度の達成があり、発展的 に会を解散することとなっ た。 事業の内容については、町 PTA連合会に引き継ぎされ 継承して活動する。
生徒指導 連絡協議会 運営補助事業	幼児・児童生徒の健全育成、 安全指導を関係機関との連携 協調を持って、総合的に行う。 【事業内容】 ・総会定例会の開催 ・長期休業中の過ごし方の作 成と配布 ・祭典巡視 ・教育講演会への支援協力 【補助金】 ＜平成24年度＞ ・補助金 150,000円 ＜平成25年度＞ ・補助金 150,000円	○各種啓発活動の実施により 地域の共通認識がとれ、幼 児・児童・生徒の健全育成が 図られている。 ●組織の整理統合に向けて平 成24年度から検討を進めて いる。 ◇新しい組織体制に移行でき るよう取り組みを構築する。	○各種啓発活動の実施により 地域の共通認識を図り、お互 いに情報交換をしながら幼 児・児童・生徒の健全育成が 図られている。 ●昨年と同様 ◇地域生活安全協会や子ども 安全パトロールなどの組織と の意見交換も必要である。

施策項目	取り組み概要	平成24年度 ○成果●課題◇今後の方向性	平成25年度 ○成果●課題◇今後の方向性
学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業	<p>地域住民等の参画による「学校支援地域本部」「放課後子ども教室」「家庭教育支援」の取り組みを有機的に組み合わせ、より充実した教育支援活動を推進する。</p> <p>【事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校支援地域本部事業</li> <li>・総合的な学習への支援</li> <li>○放課後子どもプラン事業</li> <li>・放課後子ども教室の実施</li> <li>○家庭教育支援事業</li> <li>・家庭教育講演会の開催</li> </ul> <p>別紙「事業実績」を参照</p>	<p>○地域住民の方々が、学校の授業等を支援し、積極的に関わりを持つことによって、学校と地域の垣根をこえて、地域ぐるみで子どもを育てる環境に繋がっている。</p> <p>●家庭における子育ての実態を踏まえ、子育ての不安や悩みを考える取り組みや事業が必要である。</p> <p>◇新制度に移行してから3年目となるため、より効果的な内容の実施に向けて学校、家庭、地域の連携を深め、協力できる体制を整えていく。</p>	<p>○学校の授業や放課後における各種活動に対して地域住民の積極的な関わりの継続性が整ってきている。特に1年間を通して、農業体験（畑づくり～種まき～育苗～収穫～調理～試食）を通じた食育が展開できたことで、さまざまなことに関して興味を持つ心の育みにつながった。</p> <p>●子どもが心身ともに成長するうえで、家庭教育の充実が大変重要な役割を担っています。保護者や地域住民が家庭教育の重要性を確認できる講座が必要である。</p> <p>◇より学校、家庭、地域の連携を深め、事業の継続と工夫をしながら、学校や放課後における子どもたちの効果的な体験活動や学習・運動へ展開できる推進体制を目指す。</p>
各種少年教育事業	<p>教育活動の一環として、小中学生に広く親子、地域住民とのふれあいの機会を提供し、地域全体で子どもの健全育成を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <p>&lt;平成24年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○北緯45度ふれあい広場 11月8日ものづくり 中小（99名）</li> <li>○カルタ教室・大会 1月9～11日、12日大会 (小中17チーム70名、一般2チーム6名 計76名)</li> <li>○こどもオセロ大会 異世代(寿大学など)交流 12月15日(27名)</li> </ul> <p>&lt;平成25年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○北緯45度ふれあい広場 9月7日 逃走中 中小（118名） 10月26日ものづくり 中中（76名）</li> <li>○カルタ教室・大会 12/26,1/9～10 大会1/12（54名）</li> <li>○異世代交流事業 11月23日（14名） オセロ、けん玉記録会などを実施</li> </ul>	<p>○親子でものづくりやカルタ教室・大会を通して地域の高齢者の方々とふれあいを通して、青少年の健全育成に繋がっている。</p> <p>●地域の方々の理解をさらに深めていただき、活動に広がりをもてるように工夫する必要がある。</p> <p>◇事業内容の見直しを行い、新たな取り組みを検討する。</p>	<p>○各学校で工夫を凝らし、保護者や地域の方々と交流やふれあいが図られる事業の展開が図られている</p> <p>また、カルタ教室・大会を通して地域の高齢者の方々とふれあいを通して、青少年の健全育成を図られた。</p> <p>●地域の方々の理解をさらに深めていただき、活動に広がりをもてるように工夫する必要がある。</p> <p>◇事業内容の見直しを行い、新たな取り組みを検討する。</p>

施策項目	取り組み概要	平成24年度	平成25年度
		○成果●課題◇今後の方向性	○成果●課題◇今後の方向性
子ども会 育成会連 絡協議会	補助金が廃止されてから、 活動を休止している。	●小学校PTA活動や、町内会 子ども会活動、分団活動の実 態を確認し、再構築の可能性 を見出す必要がある。 ◇再構築の必要性も含めて方 向性を見出す。	●小学校PTA活動や、町内会 子ども会活動、分団活動の実 態を確認し、再構築の可能性 を見出す必要がある。 ◇管内カルタ大会への参加を 検討する。

②学校教育の充実

施策項目	取り組み概要	平成24年度 ○成果●課題◇今後の方向性	平成25年度 ○成果●課題◇今後の方向性												
教育委員会事業	<p>教育委員会会議開催などの事務に関すること。</p> <p>&lt;平成24年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定例会議 12回</li> <li>・臨時会議 4回</li> </ul> <p>&lt;平成25年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定例会議 12回</li> <li>・臨時会議 3回</li> </ul>	<p>○毎月1回の教育委員会会議の中で、委員からの活発な意見を頂戴し、事務局との活発な意見交換が行われた。</p> <p>●教育委員会会議の情報公開を行う上で、町民に周知する方法を検討していく必要がある。</p> <p>◇教育現場への応援支援をするためにも、現場に訪問し、教育推進がさらに図られるように努める。</p>	<p>○毎月1回の教育委員会会議の中で、教育行政に係る当面する課題解決に向けた審議と協議が行われた。</p> <p>●教育委員会会議の情報公開をホームページで周知することとなったが実施するまでに至らなかった。</p> <p>◇情報公開の徹底と教育現場への応援支援をするためにも、引き続き学校等を訪問して状況の把握に努め、教育推進がさらに図られるようにする。</p>												
教育委員会事務局事業	<p>教育委員会規則の定めにより、教育、文化、スポーツ等に関する事務事業を遂行する。</p>	<p>○教育関係者や各関係団体との協力のもと、教育行政が抱えている課題問題の解決に向けた提言書である教育基本方針を策定することが出来た。</p> <p>●当面する課題問題に対する方向性を見出すためにも教育基本方針を基本として教育行政を進めていく。</p> <p>◇教育推進の更なる向上のためにも、学校教育、社会教育領域の境を無くし、学校現場等を含めた一体感を醸成していく必要がある。</p>	<p>○昨年策定した教育基本方針を基に、教育関係者や各関係団体との協力のもと、課題解決に向けた取組を進めることが出来た。</p> <p>●教育基本方針を基本として事務局と学校現場等との関係をさらに密にし、子育て環境のさらなる充実に努めていく。</p> <p>◇教育推進の更なる向上のためにも、学校教育、社会教育領域の境を無くし、学校現場等を含めた一体感を醸成していく必要がある。</p>												
公用車両維持管理事業	<p>教育行政に必要な公用車の維持管理及び遠方の児童生徒の通学の足として、スクールバスの安全運行を図る。</p> <p>【車両台数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局用車両 1台</li> <li>・スクールバス 3台</li> </ul> <p>【利用者数】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td>H24</td> <td>H25</td> </tr> <tr> <td>・こども館</td> <td>3名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>・小学校</td> <td>8名</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>・中学校</td> <td>3名</td> <td>2名</td> </tr> </table>		H24	H25	・こども館	3名	2名	・小学校	8名	8名	・中学校	3名	2名	<p>○児童生徒の送迎と合せ、認定こども園利用児の送迎にも対応し、事故も無く安全に運行が図られた。また、事務局用車両で燃費の良い車両を購入することが出来た。</p> <p>●スクールバスの老朽化により多額な修理費用が懸念されるため、更新の検討も必要である。</p> <p>◇スクールバスが老朽化しているため、児童生徒の安全安心なスクールバスの運行のためにも、車両の整備点検を確実に実施し、整備不良による事故が起きないように努める。</p>	<p>○スクールバスは、児童生徒の送迎と合せ、認定こども園利用児の送迎にも対応し、事故も無く安全に運行が図られた。</p> <p>●大型スクールバスの老朽化により更新の検討が必要である。</p> <p>◇児童生徒の安全安心なスクールバスの運行のためにも、車両の整備点検を確実に実施し、整備不良による事故が起きないように努める。</p>
	H24	H25													
・こども館	3名	2名													
・小学校	8名	8名													
・中学校	3名	2名													

施策項目	取り組み概要	平成24年度 ○成果●課題◇今後の方向性	平成25年度 ○成果●課題◇今後の方向性
外国青年招致事業	<p>外国語教育の充実や外国の文化にふれることによる国際交流の推進を図るため、外国語指導助手を招致する事業である。</p> <p>【外国語活動】</p> <p>○こども館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本読み聞かせ</li> <li>・コミュニケーション</li> </ul> <p>○小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェルカム教室(国際理解)</li> <li>・コミュニケーション英語</li> </ul> <p>○中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語授業</li> </ul> <p>【英会話教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火曜日 13:30~15:00</li> <li>・金曜日 10:30~12:00</li> </ul>	<p>○外国語指導助手と話したり、英語を聞いたりする機会を得て、外国語学習への意欲を高めた。また、外国人とのふれあいが生まれ、相互理解を深めることに繋がった。</p> <p>●町民対象の英会話教室への参加者は少なく、固定化されているため、幅広い参加者の呼びかけが必要である。</p> <p>◇現在のALTが、平成25年7月で任用期間が終了となるため、新たなALTを任用していく必要がある。</p>	<p>○8月に着任した外国語指導助手は家族4人で来町され、その子どもたちも、こども館や小学校に入り、家族ぐるみで町民と触れ合うことができた。</p> <p>●着任する外国語指導助手の居住する住宅が固定化されていないため、その度に、居住する住宅に合わせて、受入れ準備をしなければならない。</p> <p>◇現在のALTが、平成26年7月で任用期間が終了となり帰国するため、新たなALTを任用していく必要がある。</p>
教育研究指定校委託事業	<p>各学校における教育効果をより高めるため、特徴ある学校経営の活動について、研究を委託する事業である。</p> <p>【研究報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究紀要</li> </ul> <p>【委託料】</p> <p>&lt;平成24年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 50,000円</li> <li>・中学校 50,000円</li> </ul> <p>&lt;平成25年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 50,000円</li> <li>・中学校 50,000円</li> </ul>	<p>○各学校の教育効果を高めるために学習指導のあり方等を研究することで学校全体での指導力向上に繋がった。</p> <p>◇今後も引き続き、校内研修への積極的な参加と、児童生徒の生きる力を育む教育のあり方を常に考えた取り組みが推進されるよう情報交換に努めるとともに支援をする。</p>	<p>○教育効果を高めるため学習指導のあり方等を研究することで学校全体での共有化と指導力向上に繋がった。</p> <p>◇児童生徒の生きる力を育むため、学習に意欲的に取り組む教育のあり方を身につけるため、情報交換や研究に努めることができるよう支援をする。</p>
教職員健康診断事業(人間ドック)	<p>学校における職員の健康の保持増進を図り、病気の早期発見に資するため、職員の健康診断を実施する事業である。</p> <p>【受診者数】</p> <p>&lt;平成24年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・55歳以上ドック受診者 中学校 2名</li> <li>・54歳までのドック受診者 小学校 1名</li> </ul> <p>&lt;平成25年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・55歳以上ドック受診者 小学校 2名 中学校 3名</li> <li>・54歳までのドック受診者 小学校 2名</li> </ul>	<p>○教職員の健康の保持増進に資する事業であり疾病の予防・早期発見に寄与した。</p> <p>●公立学校共済としての枠があるため、ドックを希望しても必ず決定されるとは限らない。</p> <p>◇教職員の健康診断は、学校保健安全法により学校の設置者に義務付けられているものであり、今後も教職員の健康の保持増進に努める。</p>	<p>○教職員の健康の保持増進に資する事業であり疾病の予防・早期発見に寄与した。</p> <p>●公立学校共済としての枠があるため、ドックを希望しても必ず決定されるとは限らない。</p> <p>◇教職員の健康診断は、学校保健安全法により学校の設置者に義務付けられているものであり、今後も教職員の健康の保持増進に努める。</p>

施策項目	取り組み概要	平成24年度	平成25年度
		○成果●課題◇今後の方向性	○成果●課題◇今後の方向
学校体育連盟運営事業	<p>町内中学校生徒の身体並びにスポーツ技術の向上、管内中学生との交流と親睦を図ることを目的として、中頓別町学校体育連盟に補助金を交付する事業である。</p> <p>【補助金】</p> <p>&lt;平成24年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金 273,000円</li> </ul> <p>&lt;平成25年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金 273,000円</li> </ul>	<p>○管内生徒とのスポーツを通して交流を深め、技能の向上が図られた。また、卓球大会に3名、陸上大会では1名の生徒が全道大会に出場することができた。</p> <p>●生徒数の減少に伴い、参加できる大会や種目が限られてきている。</p> <p>◇生徒の体力、スポーツ技術の向上に向けた部活動等の活性化が図られるよう支援する。</p>	<p>○スポーツを通して身体並びに、技能の向上が図られた。また、柔道大会に1名、卓球大会で1名、スキー大会で1名の生徒が全道大会に出場することができた。</p> <p>●生徒数の減少に伴い、参加できる大会や種目が限られてきている。</p> <p>◇生徒の体力、スポーツ技術の向上に向けた部活動等の活性化が図られるよう支援する。</p>
中頓別町教育研究会運営事業	<p>中頓別町学校教育の重点及び町内各学校の学校教育目標・経営計画に則り、各校教育課程の改善、充実を図るため、町教育研究会に補助する事業である。</p> <p>【補助金】</p> <p>&lt;平成24年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金 262,000円</li> </ul> <p>&lt;平成25年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金 262,000円</li> </ul> <p>【平成25年度活動状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育研究会教育講座の開催</li> <li>・浜頓別町・中頓別町合同教育研究大会</li> <li>・サークル活動の開催</li> <li>・小中連携委員会の開催</li> </ul>	<p>○「地域に根ざし、人間性豊かな児童・生徒を育てる教育を創造する」を研修主題として、学校や子どもたちの実態や地域性を踏まえた教育活動の研究により学校教育の充実に繋がった。</p> <p>●浜頓別町教育研究会との合同研究を開催し、今後もさらに充実した内容にしていくことが期待されている。</p> <p>◇学校や子ども達の実態と本町の地域特性を踏まえた教育活動の推進に努め、また、小中それぞれの主体性を発揮しつつ、接続・連携を意識した実践の交流や研究を通じて、教職員個々及び学校としての教育力向上が常に図られるよう支援する。</p>	<p>○「学ぶことの楽しさを感じ、意欲的に取り組む子どもの育成」を研修主題として、子どもたちの実態や地域性を踏まえた教育活動の研究により学校教育の充実に繋がった。</p> <p>●昨年度に引続き浜頓別町教育研究会との合同研究を開催し、今後もさらに充実した内容にしていくことが期待されている。</p> <p>◇今後においても、学校や子ども達の実態と本町の地域特性を踏まえた教育活動の推進に努め、また、小中それぞれの主体性を発揮しつつ、接続・連携を意識した実践の交流や研究を通じて、教職員個々及び学校としての教育力向上が常に図られるよう支援する。</p>
道内教育委員会協議会補助事業	<p>北海道教育委員会連絡協議会及び宗谷管内教育委員会連絡協議会があり、負担金は管内教連に執行している。</p> <p>目的は、各市町村教育委員会相互の連絡連携を図り教育振興と充実を図る。</p> <p>【補助金】</p> <p>&lt;平成24年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金 30,000円</li> </ul> <p>&lt;平成25年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金 30,000円</li> </ul>	<p>○北海道教育委員研修や宗谷管内教育委員研修会に参加することで、教育委員としての資質向上に繋がった。</p> <p>●協議会総会の出席については、教育委員の多忙さから調整が難しい面が多い。</p> <p>◇管内教育委員会等との情報交換は、本町の教育行政の推進に向け大変有用と考え、できるだけ出席できるように努めていく。</p>	<p>○北海道教育委員研修や宗谷管内教育委員研修会に参加することで、教育委員としての資質向上に繋がった。</p> <p>●協議会総会の出席については、教育委員の多忙さから調整が難しい面が多い。</p> <p>◇管内教育委員会等との情報交換は、本町の教育行政の推進に向け大変有用と考え、できるだけ出席できるように努めていく。</p>

施策項目	取り組み概要	平成24年度 ○成果●課題◇今後の方向性	平成25年度 ○成果●課題◇今後の方向
<p>中 頓 別 町 特 別 支 援 教 育 連 携 協 議 会 運 営 事 業</p>	<p>発達障害を含めた障害のある子どものよりよい生活を築くため、関係機関が横断的に連携し、就学前から就学後及び卒業後の就労を含めた継続的、総合的な支援体制のあり方等を検討することを目的に補助金を交付する事業である。</p> <p>【平成25年度活動状況】</p> <p>○連携協議会総会の開催 ・年1回</p> <p>○連携協議会役員会の開催 ・年5回</p> <p>○学習会の開催 ・「個別の教育支援計画」について</p> <p>○視察研修 ・社会福祉法人 サロベツ福祉会「サロベツマイハート」</p> <p>○講演会の開催 ・「発達障がいの子どもの心理特性と支援を考える」</p> <p>【補助金】</p> <p>&lt;平成24年度&gt; ・補助金 40,000円</p> <p>&lt;平成25年度&gt; ・補助金 40,000円</p>	<p>○初めて障がい者の就労支援に係る教育講座を開催することができ、障がい者に対する理解を更に深めることができた。</p> <p>●個人情報の観点から教育現場からの意見が出しづらい面もあり、役員体制や総会等やり方の検討が必要である。</p> <p>◇教育支援だけでなく総合的な支援体制からも福祉を中心とした障がい者福祉の在り方を検討していく必要があり、さらに町内関係機関の取り組みや情報を共有するなど、連携を図っていく。</p>	<p>○個別の教育支援計画の作成に向けた勉強会や、障がい者の就労支援に係る視察、さらに発達障害の支援に係る講演会など多岐にわたる内容で取り組んできており、障がい者に対する理解を更に深めることができた。</p> <p>●特別支援教育連携協議会と教育支援委員会（旧就学指導委員会）との連携を図るべく協議会設置要綱の改正に向けて検討が必要である。</p> <p>◇特別支援教育の在り方や総合的な観点から障がい者福祉の在り方も含めて検討していく必要がある。</p>
<p>教 職 員 住 宅 管 理 事 業</p>	<p>教職員等の住宅の確保及び維持管理を実施し、居住環境の保持と改善を図る。</p> <p>&lt;平成25年度&gt;</p> <p>・ユニットバス化 3件</p> <p>・屋根塗装 4件</p>	<p>○緊急を要する修理修繕については迅速に対応し、居住環境の保持と改善に努めた。</p> <p>●個々の住宅における修理修繕の要望が多々あるが、予算的な問題もあり対応できていないところもある。</p> <p>◇教職員住宅の整備計画を策定したので、年次計画に沿って整備に努めていく。</p>	<p>○緊急を要する修理修繕については迅速に対応し、居住環境の保持と改善に努めた。また、ユニットバス化を進めることができた。</p> <p>●住宅の老朽化により損傷が進まないよう適時、修繕を行えるよう状態の把握に努める必要がある。</p> <p>◇教職員住宅の整備計画を策定したので、年次計画に沿って整備に努めていく。また不足している住宅の建設に向けて計画を進めていく。</p> <p>※平成26年度整備予定</p> <p>・ユニットバス化 3件</p> <p>・屋根塗装 4件</p>

施策項目	取り組み概要	平成24年度 ○成果●課題◇今後の方向性	平成25年度 ○成果●課題◇今後の方向
小学校施設維持管理事業	<p>安全安心な学校運営に向けた、教育環境の維持及び学校運営に必要な消耗品・備品等の充実。</p> <p>&lt;平成24年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DVDライター 1台</li> <li>・加湿器 8台</li> </ul> <p>&lt;平成25年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冷蔵庫 1台</li> <li>・すべり台補修</li> <li>・体育館屋根改修工事</li> </ul>	<p>○必要最低限の安全安心な教育環境に必要な維持と物品等の調達ができる。</p> <p>●学校校舎の老朽化に伴い、外壁塗装、屋根改修等の修繕が必要となってきた。</p> <p>◇校舎本体や設備において大きな修繕等が必要になってきていることから、中学校校舎の整備計画と合わせて整備計画を策定し整備に努める。</p>	<p>○安全安心な教育環境に必要な維持修繕と物品等の調達ができる。</p> <p>●学校校舎の老朽化に伴い、外壁塗装、屋根改修等の大規模な修繕が必要となってきた。</p> <p>◇校舎本体や設備において大きな修繕等が必要になってきていることから、中学校校舎の整備計画と合わせて整備計画の策定に努める。</p>
中学校施設維持管理事業	<p>安全安心な学校運営に向けた、教育環境の維持及び学校運営に必要な消耗品・備品等の充実。</p> <p>&lt;平成24年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルカメラ 3台</li> <li>・加湿器 1台</li> </ul>	<p>○教育基本方針（めざす姿）の中に中学校の整備計画の内容を盛り込み、耐震化の問題が急務であることを関係者間で共通理解に立つことができた。</p> <p>●校舎については老朽化と耐震化不足のため根本的な解決が必要となっている。</p> <p>◇今後中学校をどうすべきか、できるだけ早く方向性を見出し、整備計画を樹立し具現化に向けて進めていく。</p>	<p>○昨年策定した教育基本方針と本年度提言書としてまとめた、教育関連施設整備基本計画書（案）により、中学校の耐震化の問題が急務であることを関係者間で共通理解に立つことができた。</p> <p>●校舎については老朽化と耐震化不足のため根本的な解決が必要となっている。</p> <p>◇検討委員会から教育関連施設整備基本計画書（案）の提言書が出されたが、教育委員会としては基本計画書の決定をしていないため、できるだけ早く、整備基本計画を策定し具現化に向けて進めていく。</p>
小学校教育振興事業	<p>教育効果の向上にむけた必要な教育教材等の整備。</p> <p>【備品購入】</p> <p>&lt;平成24年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CDプレーヤー 2台</li> <li>・ビブラフォン 1台</li> <li>・ミシン 2台</li> <li>・踏切板 1台</li> </ul> <p>&lt;平成25年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カラー大玉</li> </ul>	<p>○教育効果の向上に向けて必要最低限な教材等の整備が図られ、教育効果の向上に繋がった。</p> <p>●更なる教育備品の要望があるが、予算的な問題があり対応できていない。</p> <p>◇今後においても学校との連携を密にして、教育効果の向上が図られるよう、優先順位の高い教材等の充実を図る。</p>	<p>○教育効果の向上に向けて必要最低限な教材等の整備が図られ、教育効果の向上に繋がった。</p> <p>●更なる教育備品の要望があるが、予算的な問題があり対応できていない。</p> <p>◇今後においても学校との連携を密にして、教育効果の向上が図られるよう、優先順位の高い教材等の充実を図る。</p>



施策項目	取り組み概要	平成24年度	平成25年度																																										
		○成果●課題◇今後の方向性	○成果●課題◇今後の方向																																										
中学校教育振興事業	<p>教育効果の向上にむけた必要な教育教材等の整備。</p> <p>【備品購入】</p> <p>&lt;平成24年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・柔道着 40着</li> <li>・ジョイントメジャーマット</li> <li>・長座体前屈測定器</li> <li>・握力計グリップ</li> </ul> <p>&lt;平成25年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エバーマット</li> </ul>	<p>○教育効果の向上に向けて必要最低限な教材等の整備が図られ、教育効果の向上に繋がった。</p> <p>●更なる教育備品の要望があるが、予算的な問題があり対応できていない。</p> <p>◇今後においても学校との連携を密にして、教育効果の向上が図られるよう、優先順位の高い教材等の充実を図る。</p>	<p>○教育効果の向上に向けて必要最低限な教材等の整備が図られ、教育効果の向上に繋がった。</p> <p>●更なる教育備品の要望があるが、予算的な問題があり対応できていない。</p> <p>◇今後においても学校との連携を密にして、教育効果の向上が図られるよう、優先順位の高い教材等の充実を図る。</p>																																										
児童生徒健康診断委託事業	<p>児童生徒の健康の保持増進及び病気の早期発見につなげていくことを目的として、児童生徒の健康診断を実施する事業である。</p> <p>【小学生】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科検診（全学年）</td> <td>83名</td> <td>77名</td> </tr> <tr> <td>結核検診（全学年）</td> <td>83名</td> <td>77名</td> </tr> <tr> <td>心臓検診（小1年）</td> <td>12名</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>心臓検診（小4年）</td> <td>16名</td> <td>13名</td> </tr> <tr> <td>歯科検診（全学年）</td> <td>83名</td> <td>77名</td> </tr> <tr> <td>尿検査（前学年）</td> <td>83名</td> <td>77名</td> </tr> <tr> <td>蟻虫卵検診</td> <td>83名</td> <td>33名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※蟻虫卵検査については、H25年度から小1～3年生対象</p> <p>【中学生】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>38名</th> <th>42名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科検診（全学年）</td> <td>38名</td> <td>42名</td> </tr> <tr> <td>結核検診（全学年）</td> <td>38名</td> <td>42名</td> </tr> <tr> <td>心臓検診（中1年）</td> <td>14名</td> <td>14名</td> </tr> <tr> <td>尿検査（前学年）</td> <td>38名</td> <td>42名</td> </tr> <tr> <td>蟻虫卵検診</td> <td>38名</td> <td>0名</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	内科検診（全学年）	83名	77名	結核検診（全学年）	83名	77名	心臓検診（小1年）	12名	10名	心臓検診（小4年）	16名	13名	歯科検診（全学年）	83名	77名	尿検査（前学年）	83名	77名	蟻虫卵検診	83名	33名		38名	42名	内科検診（全学年）	38名	42名	結核検診（全学年）	38名	42名	心臓検診（中1年）	14名	14名	尿検査（前学年）	38名	42名	蟻虫卵検診	38名	0名	<p>○児童生徒に係る健康診断は、学校保健安全法により学校の設置者に義務付けられており、健康診断の実施により、疾病の予防や早期発見に寄与した。</p> <p>◇各学校から児童生徒に配付されている健康カード「はぐくみ」について、何年も同じ様式で使用されているため、レイアウトや内容等も含めて改善に向けて検討していく。</p>	<p>○児童生徒に係る健康診断は、学校保健安全法により学校の設置者に義務付けられており、健康診断の実施により、疾病の予防や早期発見に寄与した。小学校から児童に配付されている健康カード「はぐくみ」を「からだのきろく」と名称を変更して新規作成した。</p> <p>◇今後、中学校の生徒用の健康カードについても、レイアウトや内容等も含めて改善に向けて検討していく。</p>
	H24	H25																																											
内科検診（全学年）	83名	77名																																											
結核検診（全学年）	83名	77名																																											
心臓検診（小1年）	12名	10名																																											
心臓検診（小4年）	16名	13名																																											
歯科検診（全学年）	83名	77名																																											
尿検査（前学年）	83名	77名																																											
蟻虫卵検診	83名	33名																																											
	38名	42名																																											
内科検診（全学年）	38名	42名																																											
結核検診（全学年）	38名	42名																																											
心臓検診（中1年）	14名	14名																																											
尿検査（前学年）	38名	42名																																											
蟻虫卵検診	38名	0名																																											

施策項目	取り組み概要	平成24年度	平成25年度									
		○成果●課題◇今後の方向性	○成果●課題◇今後の方向									
へき地児童生徒巡回検診事業	<p>児童生徒の健康の保持増進及び病気の早期発見につなげていくことを目的として、児童生徒の健康診断を実施する事業である。</p> <p>【検診内容】</p> <p>&lt;平成24年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脊柱側弯症検診</li> <li>・耳鼻科検診</li> </ul> <p>&lt;平成25年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脊柱側弯症検診</li> </ul> <p>【関係町村】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脊柱側弯症検診～稚内市、猿払村、浜頓別町、中頓別町、枝幸町、豊富町</li> </ul>	<p>○今年度は脊柱側弯症検診と耳鼻科検診を行った。他町との連携を図りながら、事務局を担う町村に負担をかけないよう協力して行うことができた。</p> <p>●他町との連携を図りながら、事務局を担う町村に負担をかけないよう協力していく</p> <p>◇専門医の確保が困難なへき地であるため、3年に1度ではあるが専門医による検診が必要であり、今後も継続していく。</p>	<p>○今年度は脊柱側弯症検診のみ行った。他町との連携を図りながら、事務局を担う町村と協力して行うことができた。</p> <p>●来年度は脊柱側弯症検診と眼科検診の予定のため他町との連携を図りながら、事務局を担う町村と協力していく</p> <p>◇専門医の確保が困難なへき地であるため、3年に1度ではあるが専門医による検診が必要であり、今後も継続していく。</p> <p>※今後の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度 眼科検診</li> <li>・平成27年度 耳鼻科検診</li> </ul>									
教職員巡回健康診断委託事業	<p>学校における職員の健康の保持増進を図り、病気の早期発見に資するため、職員の健康診断を実施する事業である。</p> <p>【受診者数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・小学校</td> <td>14名</td> <td>11名</td> </tr> <tr> <td>・中学校</td> <td>10名</td> <td>9名</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	・小学校	14名	11名	・中学校	10名	9名	<p>○人間ドック受診者以外の教職員全員が検診を受診することができた。</p> <p>◇教職員の健康診断は、学校保健安全法により学校の設置者に義務付けられているものであり、教職員の健康の保持増進のためにも継続していく。</p>	<p>○人間ドック受診者以外の教職員全員が検診を受診することができた。</p> <p>◇教職員の健康診断は、学校保健安全法により学校の設置者に義務付けられているものであり、教職員の健康の保持増進のためにも継続していく。</p>
	H24	H25										
・小学校	14名	11名										
・中学校	10名	9名										
就学児健康診断委託事業	<p>就学予定者の状況を把握し、保健上必要な助言や適正な就学についての指導等を行うため、健康診断を行う事業である。</p> <p>【検診内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内科検診</li> <li>・歯科検診</li> </ul> <p>【受診者数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・受診者</td> <td>11名</td> <td>10名</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	・受診者	11名	10名	<p>○学校保健安全法に基づく健康診断であり、内科検診と歯科検診を実施した。</p> <p>◇就学予定者の心身の健康状態を把握することで個々に応じた適正な就学が図れるため、今後も継続していく。</p>	<p>○学校保健安全法に基づく健康診断であり、内科検診と歯科検診を実施した。</p> <p>◇就学予定者の心身の健康状態を把握することで個々に応じた適正な就学が図れるため、今後も継続していく。</p>			
	H24	H25										
・受診者	11名	10名										

施策項目	取り組み概要	平成24年度	平成25年度									
		○成果●課題◇今後の方向性	○成果●課題◇今後の方向性									
就学奨励事業	<p>経済的な理由等によって就学が困難と認められる児童又は生徒の保護者に対して、義務教育の円滑な実施に資することを目的とし、必要な援助を行う事業である。</p> <p>【対象者数】</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>H24</td> <td>H25</td> </tr> <tr> <td>・新規者</td> <td>1名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>・継続者</td> <td>5名</td> <td>5名</td> </tr> </table>		H24	H25	・新規者	1名	0名	・継続者	5名	5名	<p>○継続者5名と新規者1名が就学援助制度を利用され、就学に必要な経費の負担を軽減し、必要な援助を行うことができた。</p> <p>●この制度を理解し利用していただくためにも、制度の周知方法に工夫が必要である。</p> <p>◇申請方法も含め、所得基準や就学援助費の内容をわかりやすく周知する必要がある。また、教育委員会が窓口となり、申請者の相談にも対応できる体制づくりも必要である。</p>	<p>○継続者5名が就学援助制度を利用された。生活保護基準の見直しによる影響が及ばないように、来年度から倍率の引き上げを実施することとなった。</p> <p>●この制度を理解し利用していただくためにも、制度の周知方法に工夫が必要である。</p> <p>◇生活保護基準の見直しによる影響が及ばないように、準要保護認定に係る認定基準の倍率の引き上げを段階的に検討していく必要がある。</p>
	H24	H25										
・新規者	1名	0名										
・継続者	5名	5名										
学校給食事業	<p>給食は、児童・生徒に望ましい食事に関する経験をかさねさせ、心身の健全な発達に寄与することを目的に、児童・生徒に給食を一日一回提供する。</p>	<p>○児童生徒へ栄養バランスのとれた学校給食の実施と老朽化していた冷凍庫を新規に入れ替えることができた。</p> <p>●安全でおいしい給食を提供するためにも、学校給食センターの老朽化に伴う施設改修が必要となってきた。</p> <p>◇建物本体の老朽化及び設備の老朽化もあり、整備計画を樹立するとともに、年次計画的な整備に努める。</p>	<p>○児童生徒へ栄養バランスのとれた学校給食の提供を実施することができた。</p> <p>●安心安全な給食を提供するためにも、学校給食センターの老朽化に伴う施設改修が必要となってきた。</p> <p>◇より安心安全な給食の提供ができるよう、衛生管理を徹底しながらも低コスト運営を心掛けた管理を行う。</p>									
全国学力学習状況調査事業	<p>全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立するとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的として調査を実施する。</p> <p>【調査対象者】</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>H24</td> <td>H25</td> </tr> <tr> <td>小学校6年生</td> <td>16人</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>中学校3年生</td> <td>11人</td> <td>13人</td> </tr> </table>		H24	H25	小学校6年生	16人	14人	中学校3年生	11人	13人	<p>○児童生徒の学力及び生活習慣との関連性も把握ができ、今後の学習指導に役立てることができた。</p> <p>●生徒数が少ないと平均値もその年ごとに大きな幅や波が見られ継続的なデータとしては分析しづらい面もあるが、データ分析を行うことでどんな設問につまづいているか洗い出し児童生徒一人一人の学力の底上を目指していく。</p> <p>◇地域家庭と連携し、生活全般における望ましい生活の在り方や家庭での学習習慣を定着させ、具体的な数値目標を設定するなどして、連携協働しながら取り組んでいく。</p>	<p>○児童生徒の学力及び生活習慣との関連性も把握ができ、今後の学習指導に役立てることができた。</p> <p>●生徒数が少ないと平均値もその年ごとに大きな幅や波が見られ継続的なデータとしては分析しづらい面もあるが、データ分析を行うことでどんな設問につまづいているか洗い出し児童生徒一人一人の学力の底上を目指していく。</p> <p>◇地域家庭と連携し、生活全般における望ましい生活習慣や家庭での学習習慣を定着させ、具体的な数値目標を設定するなどして、連携協働しながら取り組んでいく。</p>
	H24	H25										
小学校6年生	16人	14人										
中学校3年生	11人	13人										

施策項目	取り組み概要	平成24年度	平成25年度
		○成果●課題◇今後の方向性	○成果●課題◇今後の方向性
就学指導委員会事務事業	心身に障害のある児童生徒等の就学の適正を図るため、就学指導委員会を開催し、教育長の指定する事項について審議を行うものである。	○今年度については、教育支援を必要とする幼児、児童、生徒がいなかったため、就学指導委員会は開催していない。  ◇保護者の意向を最大限尊重し、一人一人にあった支援の在り方を関係者が共有していく。	○「就学指導委員会」の名称を改め「教育支援委員会」に改正した。支援が必要な児童生徒の適切な就学に向けて審議を行った。  ◇今後においても、保護者の意向を最大限尊重し、一人一人にあった支援の在り方を関係者が共有していく。
中頓別町育英会事務事業	経済的事由により就学が困難な学生、生徒に対して学資を貸与する事業である。 <平成24年度> ・新規貸与者 2名 <平成25年度> ・継続貸与者 1名 ・新規貸与者 1名	○経済的な不安が軽減され、就学機会の確保が図られた。また、長期滞納者で償還の確約が取れている者については、償還して頂くことができた。  ●長期滞納者については、督促状等の送付や訪問により対応したが償還まで至らなかった。  ◇長期滞納者が少しでも償還していただくためにも、償還計画を提出してもらい、確約がとれるよう進めていく。	○経済的な不安が軽減され、就学機会の確保が図られた。  ●滞納者については、数回にわたり償還状況の確認を行ったが償還まで至らなかった。  ◇滞納者から償還計画を提出してもらい、確実に確約がとれるよう進めていく。
表彰及び儀式典礼に関する事務事業	公立学校職員、教育行政職員として学校教育の振興に貢献し、特に功績が顕著であると認められた者が対象となる。	○教育振興に功績があった職員を表彰することにより、一層の教育推進に繋げることができた。  ◇死亡叙勲については遅延が許されないことから、差しさわりのない範囲で、受賞希望者の把握と申請に必要な事前準備に心がける。	○教育振興に功績があった職員を表彰することにより、一層の教育推進に繋げることができた。  ◇死亡叙勲については遅延が許されないことから、差しさわりのない範囲で、受賞希望者の把握と申請に必要な事前準備に心がける。
規則規程等に関する事務事業	規定に基づき教育委員会条例及び規則の改廃、告示及びその他の規程を定め、公表する。 【条例規則等改正】 H24 H25 ・条例改正 1本 1本 ・規則改正 4本 2本 ・規程改正 4本 1本	○教育行政に支障を来たさない様、教育に関連する法律等の改正等に伴う事務処理を遅滞なく処理した。  ●教育局との連携を図りながら、事務処理を進めていくことが寛容である。  ◇今後も遅滞なく改正等の事務処理を行うとともに、随時見直しも行うようにする	○教育行政に支障を来たさない様、教育に関連する法律等の改正等に伴う事務処理を遅滞なく処理した。  ●教育局との連携を図りながら、事務処理を進めていくことが寛容である。  ◇今後も遅滞なく改正等の事務処理を行うとともに、随時見直しも行うようにする

## 学校教育目標

### 明日を拓く 心豊かで たくましい 子どもの育成

- ◎ 進んで学び、やりぬく子 (知)
- ◎ 思いやりがあり、助け合う子 (徳)
- ◎ 体をきたえ、元気な子 (体)

<平成24年度改訂>

進んで学び、 やりぬく子 (知)	◆自ら課題を見つけ、筋道を立てて、工夫しながら学習や生活ができる子ども ◆自分で立てた目標に向かって、途中であきらめず、最後まで成し遂げようとする意志と実践力をもった子ども  ★どうしてこうなるのか、どうやって調べるか自分で考え、自分で判断しながら学習に取り組める子 ★いろいろなことに興味を持って、楽しく学習に取り組める子 ★自分の言動に責任をもって、最後まで活動できる子
思いやりがあり、 助け合う子 (徳)	◆自他の人格や個性を認め合い、相手の気持ちや立場に立って考え、仲良く助け合いながら学習や生活ができる子ども  ★人の気持ちがわかり、友達とじょうずに遊んだり助け合いながら活動できる子 ★（上級生は）小さい子の見本になり、（下級生は）大きい子の指示に素直に従って、協力し合って行動できる子
体をきたえ、 元気な子 (体)	◆明るく元気な挨拶ができ、健康安全に気をつけ、進んで体を鍛え、たくましい体力をもった子ども  ★明るく元気にあいさつができる子 ★外でたくさん遊び、運動に楽しんで取り組むことができる子

○目指す学校の姿

- 学ぶ喜びに満ち、友とともに笑顔あふれる学校（子ども）
- 地域、保護者と連携し、確かな子どもたちの学びのある学校（地域・保護者）
- 明日を創造し生きる力をはぐくむ学校（教職員）

◇目指す教員の姿

- ◇楽しくわかる授業を大切にする教師
- ◇心の変化や問題に素早く対応できる教師
- ◇子どもに自信をもたせ生き方を教える教師
- ◇願いや期待に応え家庭・地域に信頼される教師
- ◇教えるプロとして厳しさと温かさのある教師

☆特色ある教育活動

- 【学校づくりで大事にしていること】
- ◆地域の「名人」（学校支援ボランティア、生活職人）から学ぶ活動

- ◆地域に対する誇りや愛情を育む「中頓別探検隊」
- ◆人間関係づくりを学ぶ「縦割り班活動」「地域分団活動」
- ◆望ましい食習慣の形成を図る食育
- ◆学校力を発揮する職員の協力・協働体制
- ◆(子どもに対して)質の向上, 継続, あきらめない指導(教師の姿勢)
- ◆子どもたちの元気のよい「返事」

【伝統として継続している活動】

- ◆和太鼓                      ◆鼓 笛                      ◆みこしづくり(祭典に参加)
- ◆運動会の組体操・応援合戦                      ◆学芸会(器楽合奏・全校合唱)

**本年度の  
重点目標**

自然や人と豊かにかかわり, たくましく学び合う子  
～ 元気よく 助け合い やりぬく ～

国際化や情報化など社会が急激に変化する中で生きる子どもたちは, あふれる情報から必要な情報を取捨選択し, 自ら考え行動することができる自立して生き抜く力を身につけさせることが大切である。

そのためには, 基礎・基本の確実な定着とともに, 思考力・判断力・表現力, さらにコミュニケーション能力, 胆力などを培い, 知・徳・体のバランスのとれた子どもを育成すること必要がある。

学校評価(学校職員・保護者・児童)や学校評議員・懇談会などから, 本校のよさと課題が見えてくる。

【よさ】 素直で真面目 協力的 優しい よく働く 学年の枠を越えて仲がよい  
伝統を守る 上級生のリーダーシップ 中頓別探検隊 元気のよい返事

【課題】 思いをうまく伝えられない 説明力・表現力 コミュニケーション能力  
自信がない 自分のよさが分からない 将来に対する目標

これらのことから, 確かな学力と豊かな心の育成を重点に, 本校の伝統であり人間関係づくりに有効な「縦割り班活動」や総合的な学習(中頓別探検隊・太鼓など)などの取組を中核としながら継続・改善・発展させていく中で, 全教育活動の中で取り組みたい。より一層の「よさ」の伸長と「課題」の克服を目指し, この重点目標を設定する。

◇経営の重点

観 点	経 営 の 重 点
(1)信頼される学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報・連・相・果(経過や結果)を密にした機動的・組織的な校務運営</li> <li>・年度の計画を踏まえて教育計画を具体化し, 積極的に推進する校務運営体制の機能化</li> </ul>
(2)教育課程の編成・実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知・徳・体の調和</li> <li>・よさを伸ばし「生きる力」を確実にはぐくむ教育課程の充実</li> <li>・確かな学力の育成</li> </ul>
(3)実践的指導力を高める教職員研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しくわかりやすい授業づくりを目指した理論研究と日常実践</li> <li>・日々の教育実践を通じた指導力向上を図る研修活動の充実</li> </ul>
(4)豊かに学ぶ教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全で安心できる教育環境整備</li> <li>・子ども理解・居場所づくり</li> </ul>
(5)円滑な学校事務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育活動の円滑な推進を図るための教材・教具の整備活用</li> <li>・学校予算の効果的配分と執行</li> </ul>
(6)改善を図る学校評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程の改善を図る学校評価の工夫</li> <li>・学校関係者評価など学校評価システムによる経</li> </ul>

	営改善 ・家庭や地域との連携・協力を図り、教育力を高める開かれた学校の実現
--	--

◇指導の重点

観 点	指 導 の 重 点
(1) 確かな学力の向上につながる学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標の明確化等により学習意欲を向上させ、基礎・基本の確実な定着を図る学習指導</li> <li>・子どもたちの目が輝く授業の創造 「できた」「わかった」</li> </ul>
(2) 豊かな心をはぐくむ道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団活動や体験活動を通し、協力し合う人間関係づくり(特別活動・総合的な学習の時間)</li> <li>・自らを律する心や他を思いやる心など豊かな心を育成する道徳教育</li> </ul>
(3) よりよい生き方に気付かせるキャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よさを認め励まし、児童の望ましい勤労観や職業観を育て、よりよい自分の生き方に気付かせるキャリア教育</li> </ul>
(4) 自らの体を守りきたえる健康教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の健康安全に関心をもち生涯の健康的な生活の礎をつくる体育指導</li> <li>・実態把握と自らを鍛える体育活動</li> </ul>
(5) 個の課題に応じた発達を支援する教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育的ニーズのある児童の実態把握と共通理解と適切な対応</li> <li>・保護者・関係機関と連携し、計画的・継続的な指導計画・記録</li> </ul>
(6) 特色ある教育活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の「名人」から学ぶ活動</li> <li>・地域に対する誇りや愛情を育む「中頓別探検隊」</li> <li>・人間関係づくりを学ぶ「縦割り班活動」「地域分団活動」</li> <li>・伝統として継続している活動(和太鼓・鼓笛・みこしづくり・組体操・応援合戦・器楽合奏・全校合唱)の充実</li> <li>・望ましい食習慣の形成を図る食育</li> </ul>

◇「学力向上」  
に向けての  
3つの柱

(柱1) 基礎・基本の定着を図る授業改善 ①評価規準を位置付けた指導計画による指導と評価の一体化 ②指導内容の定着を図る工夫 ③チャレンジテスト等を活用し、「オール北海道で目指す目標」の達成
(柱2) 学習時間の確保 ①授業時間以外に子どもが学習に取り組む機会の充実 ②家庭における学習時間の確保
(柱3) キャリア教育の推進 ①キャリア教育の視点に立った教育課程の編成・実施 ②将来の夢と学業を結び付ける教育相談の位置付け
◇学力向上に向けた取組の検証と改善 ①チャレンジテスト等で、到達(数値)目標を設定して取り組む。 ②家庭学習(手引きによる学年目標)時間を、目標を定め達成する。 ③自分の「よさ」について、全員が自信をもって言える。

題	取組概要	○成果 ●課題	今後の方向性
教科指導	<p>自ら学ぶ意欲や学び方を育て、基礎基本の定着を図る</p> <p>①授業時数を確保する。</p> <p>②体験的な学習を取り入れる。</p> <p>③児童理解のもとに、個に応じたきめ細かな指導方法を工夫する。</p> <p>④学習訓練の指導を徹底し、自ら学ぶ力を育成する。</p> <p>⑤言語活動の充実を図る。</p> <p>⑥地域の素材を教材化して、学習効果を高める。</p> <p>⑦自己評価や授業評価の工夫、改善を進める。</p>	<p>○月ごとに時数管理を徹底し、授業時数確保ができた。</p> <p>○体験的な学習は積極的に取り入れた。</p> <p>○授業規律を重視し授業中の学習規律について文書で全教職員で確認した。</p> <p>●授業評価は各担任毎に行われているが、全校としての授業改善には至っていない。</p>	<p>■全校で統一して授業規律の継続に取り組む。</p> <p>■授業評価を工夫し習熟度の確認と授業改善に生かす。</p>
道徳教育	<p>全教育活動を通して道徳的実践力を高める</p> <p>①「心のノート」や視聴覚教材、魅力的な教材を活用し、道徳の時間を充実する。</p> <p>②発達の段階に応じて指導内容を重点化し、体験活動を推進する。</p> <p>③教育活動を通して、思いやりの心を育てる指導を進める。</p> <p>④基本的な生活習慣の指導を徹底する。</p>	<p>○指導計画に沿って道徳の授業は行われてきた。</p> <p>○日常的な道徳的指導が継続して行われてきている。</p> <p>●道徳の授業づくりは研究が遅れている。</p>	<p>■「私たちの道徳」活用を考慮に入れた指導計画の整備を進める。</p>
特別活動	<p>めあてをもって生き生きとした実践的態度を育てる</p> <p>①一人一人が高まり、互いに認めあって協力・助け合いができる楽しい学級づくりを進める。</p> <p>②将来の自分の姿を思い描いたり、目標を持つことを通して、できることをやりぬこうとする態度を育てる。</p> <p>③異年齢集団(縦割り班)活動を充実する。</p>	<p>○取組のねらいを重視しながら実践を重ねてきた。</p> <p>●将来の夢や希望を見据え、目標を定めて取り組む指導はあまりできなかった。</p>	<p>■将来の夢や希望と繋がる目標と取組を進める。</p> <p>■今後も改善を図り</p>



	<p>○清掃活動、児童会活動、学校行事(運動会)など、学年を超えた縦割り班活動を通して、望ましい人間関係の醸成に努める。</p> <p>○4年生以上の全児童による鼓笛隊や、和太鼓(3年生以上・総合学習)等の学習の成果を、学校行事はもとより地域行事などで積極的に発表し、地域づくりに貢献する。</p> <p>④主体的に計画・活動ができる児童会づくりを進める。</p> <p>⑤集団行動を通して、協力・協調性を育てる。</p>	<p>った。</p> <p>○改善を重ねながら異年齢集団の活動を進めてきた。</p> <p>○鼓笛や太鼓の練習に意欲的に取り組んできた。発表の機会を子ども達の意欲につなげることができた。</p> <p>○児童会や委員会の活動を自主的、積極的に進めてきた。</p>	<p>ながら縦割り班活動を進めていく。</p> <p>■特色ある活動として今後も続けていく。</p> <p>■児童会活動を子どもの意欲を大切にしながら自主的な活動の場とする。</p>
総合的な学習の時間	<p>自ら課題を持ち、解決しようとする意欲を育てる</p> <p>①弾力的な時間配分により、ゆとりある学習を工夫する。</p> <p>②興味・関心を重視した課題学習や調べ学習を重視する。</p> <p>③地域の自然・社会・人々などとのかわりを積極的に取り入れる。</p> <p>④学び方や調べ方についての指導・助言を徹底する。</p> <p>⑤まとめ方や交流の場を工夫して、表現力を育てる。</p>	<p>○地域の自然や人材を活用した活動(中頓別探検隊)を進めることができた。</p> <p>○系統的に学習を進めてきているのでまとめ方や発表の仕方は上手になっている。</p>	<p>■適切な学習課題を検証しながら継続して取り組んでいく。</p>
外国語活動	<p>コミュニケーション能力の素地を養う</p> <p>①児童や地域の実態に応じて目標を設定する。</p> <p>②外国語(英語)を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験する。</p> <p>③指導方法・内容等について、ALTの活用・連携を図る。</p> <p>④中学校との接続・連携を重視する。</p>	<p>○指導計画に沿って外国語活動を行ってきた。</p> <p>○ALTの活用によって楽しみながら活動できた。</p> <p>●中学校との連携はできなかった。</p>	<p>■小中学校それぞれの学習内容を理解し合う場を設ける。</p>
生徒指導	<p>全教職員の共通理解をもとに、自主的・実践的な態度を育てる</p> <p>①子ども一人一人の個性を理解し、共感的な態度で接する。</p> <p>②子ども同士の好ましい人間関係や、子</p>	<p>○学級集団として児童間の関係づくりを進めてきた。</p>	<p>■日常的に起こる児童間のトラブルや問題行動は、教職</p>

	<p>どもと教師との信頼関係を育てる。</p> <p>③「いじめ」「不登校」のない楽しい学校をめざす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一人の「思い」や「心のあり方」に触れた指導</li> <li>○励ましあい、助け合い、認め合う土壌づくり</li> <li>○子どもの人間関係の把握・教育相談の活用</li> <li>○保護者との連携</li> </ul> <p>④学校・家庭・関係諸機関との連携を図る。</p>	<p>○いじめアンケート</p> <p>個人懇談、日常の観察などで児童の様子を把握した。</p> <p>○子ども同士のトラブルは複数体制も取りながら必要に応じて家庭にも連絡するなど丁寧な指導に心がけた。</p>	<p>員全体で共有しながら指導に当たる。(一人で抱え込まない)</p>
<p>健康 安全 教育</p>	<p>健康安全に関わる基本的な生活態度を育てる</p> <p>①自他の命を大切にする指導を進める。</p> <p>②日常の学習や生活場面での危険防止について指導する。</p> <p>③登下校の交通安全指導を進める。(危険を予知する能力の育成)</p> <p>④集団遊びの指導、体力づくりの生活化を進める。</p> <p>⑤保健学習指導を進める。</p> <p>⑥きめ細かな給食指導を進める。</p> <p>⑦食に関する指導を進める。(家庭との連携・学校栄養教諭の活用)</p>	<p>○街頭指導、青空教室、不審者対応訓練、巡回指導などの安全指導を行った。</p> <p>○校内で発生した事故について学級指導を行い再発を防ぐようにした。</p> <p>○栄養教諭による「食の指導」「栄養指導」などを行った。</p>	<p>■年間計画に沿って実施する。</p>
<p>個 課題 に応 じた 教育</p>	<p>社会的な自立を支え、一人一人のニーズを大切にする</p> <p>①子どもたちの障がいの状態や程度を理解し、一人一人のニーズに合った支援計画を作成する。</p> <p>②校内委員会の役割を確立し、コーディネーターの機能を高める。</p> <p>③保護者と学校(担任)の話し合いを大切にし、子どもの成長を確かめ合いながら連携を進めていく。</p> <p>④教育委員会、稚内養護学校(支援学校)、医療や福祉などの関係諸機関との連携を図る。</p>	<p>○巡回相談、パートナーティーチャー派遣事業を活用しニーズにあった支援体制を整えた。</p> <p>○保護者との話し合いを大切にし、信頼関係を築くことができた。</p>	<p>■卒業後、中学校での生活について保護者の理解を得る。</p>
<p>学 校</p>	<p>全校(縦割りを含む)または学年を単位として、学校生活の充実を図る</p>		

行事	<p>① 日常の学習や経験を効果的に展開させる指導を工夫する。</p> <p>② 発達段階にあった「めあて」をもたせ、生き生きと活動させ、成就感・達成感を醸成する。</p> <p>③ 児童の積極的な参加による体験的な活動を取り入れる。</p> <p>④ 係活動や手伝いなど自分でできることを見つけて進んで実践しようとする態度を育てる。</p>	<p>○ 活動のねらいを大切にしたい取組を進めた。</p> <p>○ 行事の取組を始める前に学級で目標を立てさせ、意欲の向上と成果の確認を行った。</p>	<p>■ 取組終了後にその成果を日常生活へつなげること。</p>
教室環境整備	<p>安全で落ち着いたある整った教育環境づくり</p> <p>① 身の回りの整理・整頓、豊かな教育環境整備を図る。</p> <p>② 学習環境の整備を計画的に行う。(教室内の整理・整頓、教材・教具の整理・活用、学習の足跡が見える掲示等)</p> <p>③ 教室外の環境整備を行う。(校舎周りのゴミや小枝拾い、グラウンドの石拾い、学級花壇・畑の草取り等)</p>	<p>○ 整った教室環境や学習過程が見える掲示などに取り組んだ。</p> <p>○ 校舎回りの清掃活動を全校で行った。</p> <p>● 花壇整備はあまりできなかった。</p>	<p>■ 学習環境の重要性を認識し、整備充実に心がける。</p>

期	取組概要	○成果 ●課題	今後の方向性
確かな学力の向上	<p>☆主体的に学習に取り組み、ねばり強く立ち向かう子ども</p> <p>【学習の自立】</p> <p>(1)基礎・基本の確実な定着を目指す学びの充実</p> <p>①子どもの学習意欲を高める</p> <p>②基礎・基本を確実に身に付けさせる指導</p> <p>③全ての教育活動で言語活動を意識し、日常的に活用できる力をつける。(学習の自立と連動)</p> <p>④コミュニケーション能力を育む外国語活動の充実</p>	<p>○各分掌が進める学力向上の取組を学力向上プロジェクトチームで総括し学校全体での取組にすることができた。</p> <p>○学校研究主題に沿った授業改善が進んだ。</p> <p>・子ども達が興味を持てるような授業導入時の改善</p> <p>○のびろタイムを利用した基礎基本の指導を進めた。</p> <p>○自分の言葉で説明する活動を多く取り入れた。</p>	<p>■「ねらい」と「まとめ」をより明確にした授業づくりを進める。</p> <p>■各学年における基礎的基本的な学習内容を明確にし、その徹底に努める。</p> <p>■卒業までに身に付けさせる学習内容(仮称：学力指標)を定め、その徹底に努める。</p>
	<p>(2)指導力向上を図る授業研究等の充実</p> <p>①「楽しく・わかる」授業の追求</p> <p>②これまで取り組んできた校内研究の成果を土台に、言語活動を意識し、日常的に活用できる力をつける。(全ての教育活動で)</p>	<p>○研修部を中心に授業改善を進め、一定の成果が見られた。</p> <p>○ねらいを明確にした授業づくりが進んだ。</p>	
	<p>(3)保護者と協力して、各学年の発達段階に応じた学習習慣を身につけさせる</p> <p>①授業との関連を明確にした家庭学習の取り組み</p> <p>②家庭との連携を強め、家庭学習を習慣化させる取組を進める。</p>	<p>○「プランシート」による家庭学習の計画的な取組を高学年で取り入れ、家庭と共に進めることができた。</p> <p>●家庭への説明が十分ではなく、主旨や取組方法が徹底できていなかった。</p> <p>○宿題を授業の補充</p>	<p>■「プランシート」の取組を中学年まで広げ、卒業までに家庭での学習習慣を定着させるようにする。</p> <p>■学習効果や達成感を感じられる家庭学習になるよう内容面での充実を図る。</p>

		<p>的な内容や発展的な内容等を家庭学習で取り組ませてきた。</p>	
<p>豊かな心の育成</p>	<p>☆文化的で感性豊かな子ども 【表現の自立】</p> <p>(1) 集団活動や体験活動を通して仲間同士の良さを認め合い、協力し合う人間関係づくりを進める</p> <p>① 児童理解を進め、子ども同士、子どもと教師の信頼関係を築く。</p> <p>② 一人一人の良さを認め、共に成長できる学級集団づくりを進める。</p> <p>③ 縦割り班活動を通して、仲間と共に自立する力と社会性の基礎を育てる。</p> <p>④ 「あいさつ」「元気」「仲が良い」「歌声」「和太鼓」等の伝統を、活動を通して根付かせる。</p> <p>⑤ 「みんな仲良く」「いじめ根絶」「きれいな言葉」「笑顔いっぱい」「の学校を目指し、児童会が主体となった創意ある取り組みを行う。</p>	<p>● 将来の夢や希望については十分な指導ができなかった。</p> <p>○ 掃除や係、学習など日常的な活動の中で自分の役割を果たすことの大切さを指導してきた。</p> <p>○ 「縦割り班活動」を通じた日常的な集団活動や「中頓別探検隊」による体験活動などで子ども同士の関係づくりに日常的に取り組んできた。</p> <p>・ 子ども達は気持ちを伝える未熟さや相手の気持ちを想像する事の苦手さからトラブルも多く発生したが、教師が中に入り、子ども達をつなぐ丁寧な指導に心がけてきた。</p> <p>○ 帰りの会等で友だちを褒め合う活動を取り入れるなど意図的に他者の良い面を認め合う取組が行われた。</p> <p>○ 全校朝会での「挨拶」や「合唱」「言葉遣い」に対する取組を児童会でも</p>	<p>○ 「マイノート」を活用し、自分の夢や将来への希望を持たせる取組を年間通して行う。</p> <p>■ 現在の取組を継続しながらも検証を重ね、より充実させる。</p> <p>・ 運動会に向けた全校での集団活動</p> <p>・ 日常的な縦割り掃除の活動</p> <p>・ 朝、校長室と職員室への挨拶（低学年）</p>

中心となって進め  
学級への取組にも  
つなげてきた。

- (2) 児童の実態や育てたい力に即した、  
本校の道徳教育の充実を図る  
《本校の道徳教育の目標》  
\* かかわりあいの中で、よりよい生き  
方を求める児童の育成  
《重点目標》  
\* 自分の考えで行動し、ねばり強く最  
後までやりとげる  
\* 思いやりの心もち、みんなと仲良  
く協力し助け合う  
\* 自然の命の尊さを感じ、よりよく生  
きようとする  
\* 自分の役割を自覚し、進んでみんな  
のために働く
- ① 「心のノート」や読み物資料等を効果  
的に活用しながら、心に響く道徳の  
時間を展開する。
  - ② 道徳の授業を積極的に公開する。(参観  
日等)
  - ③ 学級学年の生活問題等を取り上げ、解  
決方法を考えさせるなど、実態に即  
した指導を行う。
  - ④ 全教育活動を通して、道徳的実践力を  
高める。

- 道徳の授業を通し  
て子ども同士の関  
わり方の指導を続  
けてきた。
- 実際の場面では児  
童の様子から成果  
と言えるほどの大  
きな変容は見られ  
なかった。
- 《重点目標》
- ・子ども達に粘り強  
く取り組む姿勢を  
育てるために教師  
自身が粘り強く指  
導し続ける姿が多  
く見られた。
  - ・子ども同士の喧嘩  
などが起きた時は  
発達上の課題と捉  
え、丁寧な指導に  
心がけてきた。
  - ・道徳の授業公開を  
行った。

- 長期的な見通しの中  
で道徳指導を続  
けていく。
- 新しい副読本を取  
り入れた指導計画  
の検討を行う。
- 参観日などでの道  
徳の授業公開を今  
後も実施する。

- (3) 心を耕し想像力を広げる読書活動の  
充実を図る
- ① 多くの本と出合わせる
  - ② 自分に会った本を見つける

- 読書ボランティア  
による読み聞かせ  
の活動が定期的  
に行われ、子ども  
達もその活動を楽し  
みにしてきた。
- 児童(図書委員会)  
による自主的な読  
み聞かせ活動が行  
われた。
- 朝読書の活動を継  
続的に行ってきた  
ので、子ども達は  
抵抗なく読書に取  
り組めるようにな  
った。

- 現在の取組を継続  
する。

		○日常的に読書をする機会を設けた。	
	(4)地域の自然や人材など多様な教育資源を活用し、豊かな体験活動を進める	○「学校・家庭・地域の連携による教育支援活動」により教育活動への人材派遣が行われた。 ・中頓別探検隊 ・昔の遊びの先生	■これからも教育支援を依頼する。
	(5)ボランティアなどの社会体験を積極的に行い、命を大切にする心や思いやりの心を育てる	○年間計画に沿って行われた。 ・クリーン作戦 ・こども園訪問 ・長寿園訪問	■年間計画に沿ってこれからも続けていく。
	(6)“子どもたちの元気で地域を励まし、明るくする”活動を進める	○神社祭での鼓笛パレード、御輿パレードなど地域行事に参加し、地域の人達の喜ぶ姿を目の当たりにすることで子ども達自身が活動の意義を感じられた。	■教育課程全体を検証しつつ、今後も参加する方向で進める。
健やか な身体 づくり	☆たくましい生活力のある子ども 【生活の自立】 ☆体力の向上に喜びをもち、立ち向かう子ども 【健康の自立】 (1)基本的な生活習慣を確立し、自分自身の生活を自己管理できる力を身につけさせる ①日常的な健康観察の継続により、自分の生活を見つめる観点を意識させる。 ②各学年の発達段階に応じた「生活のめやす」づくりと自己点検により、生活リズムの確立を図る。	○教師が率先して遊びに誘うことで、休み時間での体育館遊びや外遊びが増えた。 ●生活リズム調査を行ったが、記載内容が正確ではなく、調査が生活改善や意識づけに繋がっていない家庭もある。	■学級集団づくりの観点からも休み時間の遊びを重視する。 ■年間を通した無理のない継続的な体力向上の取組を検討する。
	(2)自分自身の体力や運動能力の実態に	○マラソン・駅伝大	

関心を持ち、校内外の体カづくり活動に意欲的に取り組む

- ①遊びの体験を豊かに展開し、基礎体カづくりを推進する。
- ②課題である「柔軟性」と「持久力」向上のため、体育の時間の指導内容を工夫する。
- ③駅伝・マラソンの取り組みを通して、運動に主体的に取り組む姿勢や持久力向上と達成感・充実感を味わわせる。
- ④体カテストを実施し、一人一人の実態を把握して指導に生かす。

会に向けた取組によって持久力が向上していると思われる。

- 大会が終わると走る子どもの姿が見られなくなり、取組が年間を通して継続しない。
- 体カテストの結果を各家庭に走らせているが、指導や取組の改善には生かしていない。

(3)食に関する指導を進め、望ましい食習慣や食の自己管理能力を身に付けさせる

- ・栄養教諭を中心とした学校における食育を充実させる。
- ・全体計画及び各学年の指導目標、年間指導計画に基づき、適切な指導を進める。
- ・給食の時間や各教科・各学年の活動等を通して、食事の重要性、自己管理能力、好ましい人間関係等の育成を図る。
- ・家庭・地域と連携・協力しながら、食育推進のための実践的な取り組みを行う。(PTA専門部と連携した親子料理教室など)
- ◆起床・・・6時半までに起床し、余裕を持って行動する
- ◆就寝・・・低は午後9時までに、中は9時半までに、高は10時までに寝る
- ◆家庭学習・・・学年×10分+10分  
※プランシートの活用
- ◆テレビ・ゲーム・・・家庭で約束を決める(2時間以内に)

○全体計画及び各学年の指導計画に基づき栄養教諭による「食に関する指導」を行った。また、栄養教諭がいろいろな学年の給食指導に入ることによって日常的な給食指導や栄養指導が行われてきた。

○PTA文化教養委員会の活動として昨年度に引き続き「親子クッキング教室」を実施。多くの親子が参加し一緒に知識と調理技能を学んだ。

○朝の元気調べで前夜の就寝時刻や体調を把握出来る様にしてきた。

●就寝時刻が遅く翌日の児童の体調が思わしくない家庭も見られる。

○学力向上に伴い、家庭学習の取組とテレビやゲーム利

■全体計画や学年の指導計画に基づき「食に関する指導」を充実させる。

■栄養教諭による授業を今後も実施する。

■学習を中心に家庭での生活リズムの確立を進める。

- ・家庭学習
- ・起床就寝時刻
- ・テレビ視聴やゲーム利用の時間制限



		<p>用について約束を決めるなどの取組を促した。</p> <p>●検証が不十分で成果は確認できていない。</p>	
	<p>(4)性教育、情報モラル教育や薬物乱用防止教育など、子どもの健全な心身を育てる教育を進める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・性教育の実施と授業公開(参観日)</li> <li>・喫煙防止教育</li> <li>・薬物乱用防止教育</li> <li>・情報モラル教育・メールやインターネットにかかわるマナーやルールを教える</li> </ul> <p>※家庭でのルールづくりの啓発</p>	<p>○高学年を中心に指導計画に基づく指導を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業参観での性教育指導</li> <li>・外部講師による禁煙指導や薬物乱用防止の授業</li> </ul> <p>●情報モラルに関わる指導は十分ではなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通信可能なゲーム機により書き込みによるトラブルが発生した。</li> </ul>	<p>■現状に沿った内容で改善を加えながら、年間計画に沿って授業を行う。</p>
<p>個の課題に応じた発達を支援する教育の推進</p>	<p>☆支援を必要とする児童に対して、生活や学習上の困難を改善または克服できるように、適切な指導・支援を行う</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①校内支援委員会を機能させ、ニーズに応じた対応を進める。</li> <li>②関係機関と連携した支援の取組を進める。</li> <li>③個別の指導計画を作成し、効果的な指導や支援を行う。</li> <li>④子どもや保護者のニーズに応えるため、必要な研修を計画的に進める。</li> <li>⑤保護者との連携</li> </ol>	<p>○校内支援委員会で平成 25 年度の校内体制の確認をした。</p> <p>●定期的な会議は行わず、必要に応じて関係者で打合せを行った。</p> <p>○各相談機関と連携を取り、パートナーティーチャー支援事業も定期的に行われ、具体的な指導のアドバイスを受けることができた。</p> <p>○担任と保護者が定期的に懇談を行い児童の家庭や学校での様子を確認し合った。また、次</p>	<p>■保護者との信頼関係をこれからも築きながら、その子にとってよりよい学習環境とはどうあるべきかを共有していく。</p> <p>■卒業後の学習について、児童の実態を小中学校の教職員間で共有し、理解を深めていく。</p>

		<p>年度以降の指導についても少しずつ話し合われるようになった。</p> <p>○各状況（懇談の内容）については担任からの報告によって情報の共有がなされた。</p>	
<p>信頼される学校づくりの推進</p>	<p>(1)保護者・地域社会と連携・協力して、期待に応える信頼される学校づくりを進める</p> <p>①家庭や地域社会と連携・協力して開かれた学校経営を推進する</p> <p>○保護者や地域住民の学校経営への積極的な参画を進める。</p> <p>○教職員の地域行事などへの積極的な参加・協力を進める。</p> <p>②「学校だより」の全戸配布や、「学級通信」「ほけんだより」の内容を充実し、情報の共有を図る。</p> <p>③子どもたちの健やかな成長を願って親と教師が共に学び合うなど、PTAとの連携を深める。</p>	<p>○PTA活動の改善に努め、保護者の積極的な参加を求めた。また、その都度反省を行い、保護者からの意見も積極的に取り入れながら次年度への改善点に務めた。</p> <p>○地域行事等へ学校として可能な範囲で参加を進めてきた。</p> <p>○学校だよりや学級だよりなどを通して学校での取組やその意図、子ども達の様子を伝えてきた。</p> <p>●PTAとして親同士が集まり子育てを学ぶ機会は少なかった。</p>	<p>■学級PTAを中心に保護者同士が気軽に子育てについて語り合えるような「学級茶話会」の開催を進める。</p>
	<p>(2)学校の安全管理の徹底に努める</p> <p>①教職員の危機管理意識の高揚を図るとともに、学校内外の定期的な安全点検を実施する。</p> <p>②防犯訓練や防災訓練を実施し、子どもたちの安全確保に努める。また、安全に係る活動を通して、自他の危険予測・危険回避の能力を身につける。</p> <p>③地域ぐるみの安全確保の取組の推進</p>	<p>○毎月始めに安全点検を行い、施設整備等危険箇所や破損箇所がないか確認した。</p> <p>○年間計画に沿って「火事」や「地震」が発生した時の避難訓練を行った。より実践的な訓練に</p>	<p>■定期的な安全点検を継続する。</p> <p>■反省を基に改善を加え、より実践的な防犯、防災訓練を行う。</p> <p>■教職員による実践的な訓練を行う。</p> <p>・実際の消火訓練</p> <p>・AED使用訓練</p>

<p>※「こどもの安全・安心の町」宣言(22年3月の第1回定例議会で決議)</p>	<p>なるよう、授業中や休み時間での対応、別行動している児童を想定した残留者確認の訓練を行った。</p> <p>○低学年を対象に不審者対応訓練を行った。</p>	
<p>(3)こども園・中学校との継続性のある指導に努める</p> <p>①こども園と小学校の連携</p> <p>②こども園と小学校の接続を進めるための具体策</p> <p>○職員同士の交流</p> <p>○子ども同士の交流</p> <p>③こども園と中学校との情報交流を深める</p> <p>④小学校と中学校の連携</p>	<p>○全教職員が保育参観を行った。</p> <p>●職員同士の交流はできなかった。</p> <p>○園児の1日体験入学で1年生と一緒に遊んだり、5年生のこども園訪問で読み聞かせをするなどの交流を行った。</p> <p>○小中連携委員会を中心に年2回の小中交流を行い、児童生徒の様子との交流、各校の学力向上の取組、共通した取組(授業規律)等を進めた。</p>	<p>■こども園職員と懇談する場を設ける。</p> <p>■小中連携委員会を中心に今後も連携を深める。</p> <p>・授業規律</p> <p>・学習内容</p>
<p>実践的指導力を高める教職員研修</p> <p>【研究主題】 学ぶことの楽しさを感じ、意欲的に取り組む子どもの育成 ～楽しく、わかる算数科の授業づくり～</p> <p>(1)教職員の資質能力の向上に努める</p> <p>○授業研究を中心とした校内研修の推進に努める。</p> <p>○外部の研修や研究会などに積極的に参加し、校内研修に積極的に生かす。</p> <p>○教職員一人一人の特性やライフステージなどに応じた研修活動に主体的に参加する。</p> <p>○研修計画や研修体制の改善に生かす評価の工夫を進める。</p>	<p>○研修部を中心に年間計画に沿って授業公開、検証、ブロック毎の指導案検討、指導主事訪問など、授業力向上を目指した研修を進めた。</p> <p>○授業研究では、公開した授業の検証と改善、次の授業に生かすための具体策を共有するなど、研究成果を積み重ねてきた。</p>	<p>■現在の研修を更に充実させ、全校で一致した授業づくりを進める。</p> <p>・授業・学習規律</p> <p>・授業展開</p> <p>・各学年で習得すべき基礎的基本的な学習内容</p>

	<p>○地域連携研修事業を活用し、秋田県由利本庄市への視察、外部講師による学習会など学力向上に向けた実践的研修を進めた。</p>	
<p>(2)教職員一人一人がその使命感と公務員としての自覚を持ち、服務規律の厳正な保持に努める</p> <p>○教職員の危機管理意識を高め、的確な危機管理体制を確立する。</p> <p>○服務規律の厳正な保持に努め、信頼関係を損なうことがないようにする。(交通違反・事故、個人情報紛失、体罰、わいせつ事故等)</p> <p>○仕事の環境づくりに努め、教職員の心身両面からの健康管理に配慮する。</p>	<p>○教職員の服務規律保持については定期的に指導を行ってきた。</p> <p>○学校における職員一人一人の職務上の意識は高い。</p> <p>●交通違反防止の面では指導が十分ではなかった。</p> <p>○職務に対する意識が高く、同僚への配慮もできるなど職員一人一人がよりよい職場環境づくりと教育活動の推進に努力している。</p> <p>●学級経営や児童への指導に一生懸命に取り組んでいるが、勤務時間を過ぎても仕事が終わらない状態が日常的になっている。</p>	<p>■職員会議等で定期的に交通違反や事故防止の指導を行う。</p> <p>■管理規則に則り、個人情報の紛失や漏洩がないよう確認と徹底を行う。</p> <p>■体罰やわいせつ事故防止のため教職員の更なる意識向上に努める。</p> <p>■「定時退勤日」を設け、実践する。</p>

題	取組概要	○成果 ●課題	今後の方向性
学校づくり 大事にし ていること	◆地域の「名人」(学校支援ボランティア、生活職人)から学ぶ活動 ◆地域に対する誇りや愛情を育む「中頓別探検隊」 ◆望ましい食習慣の形成を図る食育 ◆人間関係づくりを学ぶ「縦割り班活動」「地域分団活動」 ◆学校力を発揮する職員の協力・協働体制 ◆(子どもに対して)質の向上、継続、あきらめない指導(教師の姿勢) ◆元気のよい「返事」	○中頓別探検隊の取組の中で継続的に生活職人さんから地域の様々なことを体験的に学んできた。また、地域の人達への感謝と尊敬の念が深まった。 ○町の好意でポスター、うちわ、パンフレットなどの形のある物を作成され、自分たちの活動がより意義のあるものとして認められたと意識することができた。	■「中頓別探検隊」の取組は今後も継続したい。
		○縦割り班活動を通して日常的に異年齢の人達との関わりを学ぶことができた。下学年は上学年の言うことを聞き、上学年は下学年への指示や思いやりの心情を持って接する事の大切さを体験的に学ぶことができた。 ○分団活動は活発に行われ、子どもを見守る地域の保護者同士のつながりが強くなっている。 ●分団ごとに活動が異なり、分団差が生まれている。	■人数の減少に伴い班編制の改善を進めながら、取組を継続していく。 ■同学年(学級)の関わりと異学年(縦割り班)の関わりバランスを取っていく。 ■分団活動の改編を視野に入れながらPTAと検討を進める。

		<p>○あいさつ、返事は継続して取り組まれてきた。</p> <p>●高学年になるにつれ、声が出なくなっている。</p>	<p>■全校での取組を継続する。</p>
<p>伝統として継続している活動</p>	<p>◆和太鼓 ◆鼓笛 ◆みこしづくり(祭典に参加) ◆運動会の組体操・応援合戦 ◆学芸会(民舞・器楽合奏・全校合唱)</p>	<p>○学芸会での「和太鼓」、運動会や祭典パレードでの「鼓笛演奏」など、指導計画に位置付け、取り組んできた。継続した取組なので演奏レベルも向上している。</p> <p>○子ども達が自由に考えて、ブロック毎に御輿が作られた。</p> <p>●御輿作成のための十分な時間が保障できなくなった。</p> <p>○運動会の組体操は感動的な発表となった。応援合戦は、組群ごとの独自性が発揮され、リーダー性を高める機会となっている。</p> <p>●組体操ができるだけの十分な筋力が付いていないように感じる。</p> <p>○学芸会の発表内容を検討し、学年やブロックの横のつながりを大切にしながら取り組む内容に改善した。</p>	<p>■憧れられる演奏を目指し、今後も取り組んでいく。</p> <p>・和太鼓 ・鼓笛</p> <p>■今後の作成については検討を要する。</p> <p>■長期的な見通しを持って基礎的な身体づくりが必要。</p> <p>■児童の実態に即して発表や取組の形態、内容を改善していく。</p>

## 平成25年度中頓別中学校の教育

□校訓「至誠協和」

□学校教育目標

「創造する力 豊かな心 健康でたくましい身体」

(平成16年度より)

### ◇目指す学校像

- 生徒一人ひとりが成就感や達成感を感じ、安全で楽しい居場所のある学校
- 教職員一人ひとり良さや持ち味が活かされ、働きがいのある学校
- 保護者や地域・住民に広く開かれ、信頼される学校

### ◇目指す生徒像

- 自ら学び・考え、自らの課題を解決する意欲や行動力・表現力のある生徒 (知)
- 思いやりや感謝の気持ちを持って、  
互いに認め合い・励まし合い・高め合う生徒 (徳)
- 途中で屈しない精神力とたくましい身体で粘り強く努力する生徒 (体)

### ◇目指す教師像

- 生徒の確かな変容を促す実践的指導力を培うため、日々研修に努める教師
- 生徒の視点に立ち、生徒・保護者・地域住民・仲間から信頼される教師
- 社会の変化を的確に把握し、将来を見据えた教育に対応できる教師

### ◇職員構成

- 校長 1名      ○教頭 1名      ○教諭 8名      ○養護教諭 1名
- 事務職員 1名   ○公務補 1名
- 合計 14名

### ◇学級編成(4月現在)

学年	1年		2年		3年		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
人数	6	9	5	9	6	7	17	25
計	15		14		13		42	

1 学校経営の基本方針・経営の重点

【学校経営基本方針】

『生きる力を身につけるために、粘り強く努力する中中生の育成』

項目	取り組み概要	○成果 ●課題	今後の方向性
経営の重点	<p>【重点1】</p> <p>粘り強く努力し「確かな学力」を身につけることができるための教育課程の工夫</p> <p>○基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るための指導計画・授業づくりの工夫</p> <p>*基礎・基本をしっかりと押さえた指導計画の工夫や課題提示の工夫を進めながら、学ぶ意欲を高める。</p> <p>*生徒が「わかる・楽しい」と実感できる授業計画の工夫を進め、意欲的に学習に取り組む力を高める。</p> <p>*確かな学力を身につけるための課題把握がしっかりと押さえられ、解決に向けた道筋がよくわかる授業づくりを工夫しながら、粘り強く努力する力を高める。</p> <p>○学びを「確かな学力」と高めるための継続的な学習に取り組む意欲・習慣づくりの工夫</p> <p>*少人数指導やチャレンジタイムの効果的活用を通して、意欲的に学ぶ力を高める。</p> <p>*教育相談や個別指導など、個に応じた指導を組織的に展開し、自己の成長や課題点を自覚し、改善の努力が進められるようにする。</p> <p>*計画的・継続的学習習慣(授業での粘り強さ・家庭学習の継続等)を高めるための指導法を工夫したり家庭との連携強化しながら、一人ひとりの粘り強い学習習慣の形成を図る。</p>	<p>○学力向上に向けて、各教科で研修を深めながら、個に応じた支援の方法を考えながらつまずきの改善を少しずつ進めている</p> <p>○チャレンジタイムやプランシートの活用により、少しずつではあるが、学習に取り組む姿勢やつまずき解消に効果が見られた</p> <p>●実態として、生徒はまだまだ支援に頼り気味で自ら意欲的に学ぶという意識が不十分である</p>	<p>※つまずき克服を目標に、個に応じた指導のさらなる改善、発展を目指して、校内研修の充実を図る</p> <p>※チャレンジタイムやプランシート等のさらなる工夫を図り、生徒や家庭との対話を意識的にもりこむよう改善を図り、粘り強い取り組みができるような支援を構築していく</p> <p>※今後も教育相談を充実させ、学習習慣づくりの大切な取り組みとして家庭学習への意識付けを進める</p>



<p>項目</p>	<p>【重点2】 粘り強く努力し「地域の中で育つ中中生」を育む教育活動の推進</p> <p>○中中の伝統の継承発展と積極的な地域での役割発揮による、地域から期待される学校づくり</p> <p>*全校活動の「よさこい」をより高める努力を展開し、よりよいものを地域で発表する意欲を高め、その評価を活動の更なる糧としながら集団的成長のできる教育活動を推進する。</p> <p>*総合学習を中心とした、ふるさと教育の実践を進め、地域を知り、地域に愛着と誇りを持って生活し、地域の一員としての役割をはたすことができる力を育てる。</p> <p>○小中連携の強化による、地域の中で豊かに育つ中頓別の子どもの育成の強化</p> <p>*小中連携委員会の機能化を図りながら、中頓別の子供の良さや課題を互いに共有し、成長につなげるための指導の連携を進める。</p> <p>*いろいろな場面(小中交流会・生指導・各校行事の参観等)を通じて、実践的連携を強めながら、互いに力あわせをして子どもを育てていくという意欲を高める。</p> <p>○自己の将来に大きな夢と希望を抱き、目標達成の努力が粘り強くできる進路指導の充実</p> <p>*地域の教育力を活用し、社会の一員としての役割の自覚できる活動づくりを進める。</p> <p>(地域との交流・ふるさと学習・職場体験学習等)</p> <p>*自己の将来を見つめ、確かな見通しや夢と希望の持てる進路指導を展開する。また、3年間の系統性を意識した指導計画を工夫する。</p>	<p>○中中の伝統としてすすめられている「よさこい」は、地域からの要請や激励もあり、全校生徒がそれぞれの役割を發揮しながら全校集団を高める活動として位置づけられている</p> <p>○総合的な学習の「なかとん学」は地域の方々の積極的な協力により、地域を愛する活動として位置付けている。</p> <p>○小中連携委員会の活動が定着し、学習習慣や授業規律など、課題の明確化も進められ。具体的な連携が進んだ</p>	<p>※今後も生徒達の成長を促しつつ、地域の声に応えながら積極的な活動がすすめられるよう体制づくりと運営に努めていきたい</p> <p>※学校支援地域本部との連携を今以上に深めながら、総合的な学習のさらなる充実を目指して計画的な活動推進を図っていく</p> <p>※さらなる進路指導の充実を図りながら、自己の将来を考えさせる職場体験学習や上級学校訪問等のキャリア教育を推進する</p>
-----------	--	--	--

<p>【重点3】 粘り強く努力し「心豊かでたくましい中中生」を育てる、指導・教育の充実。</p> <p>○共感的生徒理解と心に響く生徒指導の展開による自己肯定感の育成</p> <p>*常に子どもに寄り添い思いや考えを共感的に受け止めながら、個々の良さを伝え、共に成長しあえる教師集団を目指す。</p> <p>*個々の生徒にあった指導を工夫しながら、心に響く生徒指導を展開する。</p> <p>*共感的な生徒理解や心に響く生徒指導の展開から、自己肯定意識を高め、更に自分の成長のための努力を進めることのできる中中生を育てていく。</p> <p>○仲間と共に育つ喜びを持ち、思いやる心を大切にできる意識を育てる指導の工夫</p> <p>*仲間のことを思いやり、仲間と共に育つ喜びを実感できるよう、学級経営を充実させる。</p> <p>*全校生徒が連携・協力し、一人ひとりの輝きを互いに高めあえるよう、生徒会活動や学校行事の充実を図る。</p> <p>*粘り強く努力し、自己の健康と集団で取り組む喜びが体得できるよう、部活指導を充実させる。</p>	<p>○節目毎の部会反省交流や生活アンケートの活用を進め、教育相談を効果的に実施し、生徒の思いに寄り添い、生活の向上を図る取り組みを進めた</p> <p>○あやまった行為やつまずいた行動についても支援を与えることで改善を促し仲間との関係づくりを進めた</p> <p>●組織的な問題対応という点では連携の不十分さが見られた</p> <p>○生徒会活動や部活動では、教職員のねらいをもとにした支援もあり、生徒達の積極的な活動を生み出すことが出来た</p> <p>●将来を見つめながら、そのために今を頑張るという意識では弱さが見られた</p>	<p>※個々の生徒への指導と共に、集団との関わりを大切にしながら、自他共に大事に出来る心を育めるように家庭や校外の支援も得ながら指導を強めていく</p> <p>※学年会議の定例化により、より気づきが共有化されやすい体制づくりを進めていく</p> <p>※今後も共感的理解と共通理解にたつた指導を進め、子どもたちの豊かな成長や進路につながる生き方指導の充実を進めていきたい</p>
---	--	---

	<p>【重点4】</p> <p>粘り強く努力する中中生を育てるための教職員の連携、地域や保護者との連携の強化</p> <p>○豊かな学校づくりを進めるための、教職員の積極的経営参加と連携・協力の強化</p> <p>*分掌や学年、部活動指導など、組織としての連携を強化し、集团的に指導に当たる。</p> <p>*各系の連携を全校の連携に広げる、運営会議の役割を活性化させる。</p> <p>*教職員一人ひとりの気づきを積極的に交流し、学校経営・学校運営に生かす職場づくりを進める。(語りあい、学びあい、高めあい)</p> <p>○粘り強い中中生を育てるための、地域・保護者との積極的な連携の推進</p> <p>*PTA活動の活発化を目指し、PTA役員会の活動を活発化させ、PTAとしての意識を高める。</p> <p>*学級を基盤とした保護者との連携を強化し、情報発信と粘り強い中中生を育てるための工夫と連携を進める。(力を合わせた家庭学習の習慣化づくり、親子の対話づくり等)</p> <p>*学校評価・関係者評価を、学校づくりにより役立てていく工夫を進める。</p> <p>*地域の色々な活動との関わりを深めながら、地域に認められる学校づくりを進める。</p>	<p>○学年部会の定例化が進み、計画づくりや方針の共有が進んだ</p> <p>●緊急的な対応や突発的な事例に関して連携の弱さがみられた</p> <p>○地域保護者からの積極的な支援や協力を得て、多くの行事や部活動で効果的な教育活動を進めることができた</p> <p>●PTA活動では、昨年同様、まだまだ教師中心に活動する部分が見られた。また、教師自らが地域に入り発信していけるような結びつきが求められている</p> <p>○宗谷の学校推進計画をもとに、新たな学校評価に着手することができた</p> <p>●評価項目では教師・保護者・生徒の連動性について文言に微妙なニュアンスの違いがうまれてしまった</p>	<p>※運営会議の工夫改善により、より連携が滑らかに円滑に進むよう取り組みを図る</p> <p>※教職員集団の教育的コミュニケーションを高めることで、生徒への指導や家庭や地域への発信をより豊かなものへとしていきたい</p> <p>※より学校の実態にあった学校評価項目の作成をすすめ、地域保護者の協力により、より豊かな学校関係者評価に取り組み、さらなる学校改善へとつなげていきたい</p>
--	---	---	---

2 領域・分野別の指導の重点

目	取り組み概要	○成果 ●課題	今後の方向性
	<p>■教育課程の適切な「編成(P)－実施(D)－評価(C)－改善(A)」に努める。</p> <p>○新学習指導要領の趣旨やねらいを踏まえた教育課程を推進し、教育内容の改善事項を意識した的確な実践に努める。</p> <p>○地域との関わりを重視した特色のある教育活動を推進する。</p> <p>○「食育」「キャリア教育」「情報モラル教育」など、今日的な教育課題に対応する実践を進める。</p> <p>■言語環境の整備と言語活動の充実を図る。</p> <p>○日課に位置づけた「朝読書」の継続と、読書活動のさらなる充実を図る。</p> <p>○話し合いや発表の場面を意図的に設定するなど、コミュニケーション能力の育成に努める。</p> <p>■週時程を適切に管理するとともに、諸活動の整理統合を進め、授業時数を確保する。</p>	<p>○計画的に教育課程が推進され、教務中心に適切に時数執行が行われた</p> <p>●教科によって進度に遅れが見られることもあった</p> <p>○朝読書が定着し、総合的な学習と連動した言語活動の推進により、表現活動では各種コンクールで上位入賞を果たすなど、一定の力を高めることができた</p>	<p>※全国学力学習状況調査の結果などをもとに、今後も子どもたちに確かな学力をつけるため、検証・分析等を通じ、PDCAサイクルに則った教育課程の編成、実施に努める</p>
<p>学習指導</p>	<p>①「確かな学力」を確実に身に付けさせる学習指導を推進する。</p> <p>○個に応じたきめ細やかな学習指導で、学習意欲の喚起を図り、繰り返し取り組む姿勢や困難を乗り越える意識を育み、基礎・基本の確実な定着を図る。</p> <p>○学習規律の定着と家庭学習の習慣化を目指し粘り強い取り組みを働きかける。</p> <p>②生徒が「わかる・楽しい」と実感できる授業実践を推進する。</p> <p>○習熟度別学習、TT指導、問題解決学習や学び合い学習、外部からの人材活用などを効果的に取り入れた実践に努める。</p> <p>○日常の実践はもとより、教育相談やプランシート、チャレンジタイムなどを活用し、つまずきの克服を目指した適切かつ組織的な学習支援を行う。</p> <p>③多様な評価により生徒の変容を的確に把握し、個に応じた指導に生かす。</p> <p>④「総合的な学習の時間」を活用し、地域に根ざした教育活動を推進する。</p>	<p>○校内研修としてすべての教師が授業公開を行い、各教科工夫を凝らし、基礎基本の定着に努めた</p> <p>○生徒アンケートからも「わかる・楽しい」という声が増え、よりよい授業づくりの取り組みがすすんでいる</p> <p>○基礎基本の定着を目指し、チャレンジタイムやプランシートに工夫を凝らし、TT指導も継続して取り入れながら進めた</p> <p>○地域の方々の温かい支援により、「なかとん学」がより豊かに進められている</p>	<p>※子どもたちに確かな学力を身に付けさせるため、今後も授業改善に努める</p> <p>※基礎・基本の定着のためチャレンジタイムの重点化やプランシートの改善、そのうえで家庭学習も重要な取り組みであるととらえ、家庭との連携を深めながら、粘り強く取り組む姿勢を育成していきたい</p>

	<p>○地域及び関係機関との連携を深め、ふるさと学習や福祉学習の集大成である「なかとん学」の学習活動を展開する。</p>		
<p>道徳指導</p>	<p>①「道徳の時間」を要とし、教育活動全体を通じた計画的な道徳指導を推進する。</p> <p>○道徳教育推進教諭を中心としつつも、全教師が共通の課題意識をもって取り組む。</p> <p>②豊かな体験を通して、また魅力的な教材開発と活用を通じて、道徳的価値の内面化と道徳的実践力を引き出す。</p> <p>○地域におけるボランティア活動等を具体化するとともに、体験活動を通して気づいたことを振り返らせたり、まとめさせたり、発表させるなどの言語活動の充実を図る。</p> <p>○自他を大切に思う心、規範意識などを育む実践に努める。</p>	<p>○全教職員が要としての理解を深め、道徳指導の推進に努力した</p> <p>○様々な場面を活用し、書いたり討論したりする機会を設定しながら、道徳観を育てる取り組みを進めた。</p> <p>●道徳的課題意識を持ちながら指導に当たるが、すぐに子どもたちに響きわたるものとなっていない面がある</p>	<p>※今後も学校教育全般や地域との連携を深め、道徳指導・実践を進めながら、子どもたちの道徳意識を高めていくよう努める</p> <p>※体験学習や社会的な活動を保障しつつ、人とのふれあいを大切にしながら、心に響く、心に残る道徳指導を進める</p>
<p>特別活動</p>	<p>①学級活動、生徒会活動、学校行事の内容を充実させ、互いに認め合う望ましい人間関係を形成するとともに、心のつながりを大切に生徒活動を展開する。</p> <p>○活動の結果だけでなくその過程における生徒の努力や意欲を積極的に認め、活動意欲を高めながら粘り強い取り組みを支援する。</p> <p>○全校活動の工夫充実や生徒会などの自治的活動の高まりを目指し、リーダーの育成に努め、協力して活動を進める自主的・自律的態度の育成に努める。</p> <p>②生徒が学校生活に積極的に取り組む意欲が持てるよう教育相談や学習相談など、さまざまなガイダンス機能を充実させる。</p> <p>③保護者・地域と連携しつつ、しなやかでたくましい身体及び互いに認め合い高め合う部活動運営を推進する。</p> <p>○部活動保護者会の組織化を図り、生徒の頑張りの激励につなげる。</p>	<p>○さまざまな行事や生徒会活動を通じて、全校集団の関わりを深め、豊かな人間関係づくりを進めた</p> <p>○体験的な活動や総合的な学習の時間を活用し、その成果や課題を発表することから、言語活動の充実を努めた</p> <p>○取り組みの節目ふしめでの評価や、年間の教育活動の節目ごとに評価を行い、成果や課題を確かめた</p>	<p>※全校集団づくりの重要性を教職員集団も理解し、全校でのよさこいや合唱等の取り組みを充実させながら、豊かな人間関係づくりを進めていく</p> <p>※体験活動を今後発展させながら、言語活動の充実を図る</p> <p>※部活動指導の重要性をおさえつつ、より充実させることで、豊かな人間性の構築に努める</p>

		○部活動の取り組みでは、活動を通して豊かな人間性の成長を目指しながら、保護者と連携して取り組んだ	
生徒指導	<p>①共感的な生徒理解を基盤とし、温かくも厳しく、信頼に基づく人間関係を確立する。</p> <p>○教育相談を適宜実施し、共感的・受容的な生徒理解に努める。</p> <p>②教師間で情報を共有化し、問題行動や不登校の兆しなどの早期発見と未然防止に努めるなど、積極的な生徒指導体制を確立する。</p> <p>○基本的生活習慣や基本的行動様式の定着に努める。</p> <p>○「生活状況把握アンケート」の実施や日常的な情報交流を通じて、生徒の状況の的確な把握に努める。</p> <p>○いじめ、非行、防犯等の問題や課題には、関係機関との連携を図りながら組織的に迅速かつ誠意ある適切な対応に努める。</p>	<p>○生徒との信頼関係を構築するために生徒に寄り添い、生徒の声をよく聞きながら指導にあたった</p> <p>○アンケートや教育相談により、生徒の思いをすいあげ学校が楽しいものになるように支援することができた</p> <p>●生徒からの情報の共有化と方針づくりでは弱さが見られた</p>	<p>※教職員集団はもとより、家庭とも連携しながら、よりよい生活習慣づくりができるよう指導を進める</p> <p>※ひとりひとりにとって居場所があり、活躍ができるような学校になるよう、生徒指導を進める</p> <p>※生指連や家庭との連携を深め地域とともに生活をみつめていく指導を展開したい</p>
進路指導	<p>①各学年段階に応じた重点化を図りながら、計画的な指導を推進する</p> <p>②キャリア教育等を通じて、望ましい勤労観・職業観を形成する</p> <p>○職場訪問などの体験活動や保護者や地域の職業人などの体験談などを取り入れながら、学ぶことや働くことの意義を理解させる。</p> <p>③日常的な進路に関する情報の提供と、自己の将来や未来を考えさせる手立てとして、さまざまな体験活動や多様な立場の方々とのふれあいの場を設定し、進路意識の醸成を図る。</p>	<p>○発達段階に応じた進路指導計画を作成し、キャリア教育など、各学年にあわせた実践を展開した</p> <p>●将来の生き方を考えさせながらの指導を進めるが、中学卒業後の進路との結びつきが不十分な面がある</p>	<p>※進路指導を充実し、自己の将来を見つめ、自ら中学生期の生活の仕方が考えられるよう指導を進める</p> <p>※地元高校への進学と学習の見通しをうまく結び付けていける進路指導を図る</p>

<p>体育・健康安全指導</p>	<p>①運動の喜び、楽しさを味わわせ、運動能力および体力の向上を図る。</p> <p>②家庭や地域の関係機関との連携を強め、基本的な生活習慣を定着させるとともに、健康および安全指導の充実を図る。</p> <p>○手洗い、うがい、歯磨き等を、生徒活動と連動させながら進める。</p> <p>○心の健康、性に関する指導、薬物乱用防止、喫煙防止などの指導の充実を図る。</p> <p>③清潔で安全な校内外の環境づくりを推進する。</p>	<p>○日常的な体育の授業や、部活動を通じて運動の楽しさを体得できるように進めている</p> <p>○給食指導・歯磨き指導・清掃活動等を通して、健康安全に関する教育を進めたり、性教育や薬物乱用防止教室など、校外からの支援を受けながら指導をすすめている</p> <p>○登下校時の安全指導も街頭指導なども含めて進めてきた</p>	<p>※地域や関係機関とさらに連携しながら、健康・安全に関する指導を進めていく</p> <p>※登下校の安全指導の充実や、事件・事故・災害なども含めた危機的な状況が起こった際の対応や指導についてさらなる充実を図る</p>
<p>学年・学級経営</p>	<p>①生徒一人ひとりの良さや可能性を伸ばす計画的・効果的な学年・学級経営を推進する。</p> <p>○リーダーの育成に努めるとともに、望ましい人間関係を築かせ、集団の中での自己存在感や帰属意識を実感させる。</p> <p>○生徒同士のつながりを意識した学年・学級活動の具体化を図る。</p> <p>②見やすい学級便り、適切な家庭訪問、まめな電話連絡そして学級PTAとの連携強化を通して保護者との信頼関係を積極的に築く。</p> <p>③学年部会内の連携を密にし、学年間及び教科担任との連携を強化する。</p>	<p>○学年部会の方針のもとに生徒一人一人の良さを発見し、伸ばすように学級経営を進めた</p> <p>●学級の課題を全体で考え改善するよう指導をすすめたが、個々の課題を全体でとらえながら改善に向かわせるまでには至らなかった</p> <p>○各学年が協力し、家庭との連携強化に努めた。また学級だよりなども定期的に発行し、保護者との連携に努めた</p>	<p>※一人一人に居場所や活躍の場面のある学校を目指すことを、教職員集団全員が意識し、さらなる連携を深めながら指導を進める</p> <p>※共感をもとにしつつ、情報を共有化しながら、思春期の子ども心の成長を促す指導を強めていく</p>

校内研修	<p>①ねらいが共通化され、日常の授業実践に活きる校内研修を推進する。</p> <p>②日常の授業研究はもとより、小中授業交流や町研大会など、積極的な授業公開をすすめ、開かれた校内研修体制を構築し、生徒のさらなる学力向上を目指した研修実践を深めていく。</p> <p>③各種研修会、研修講座への計画的、組織的、積極的参加に努める。</p>	<p>○今年度の研修計画をもとに、教科担任それぞれが実践を深め、学び合いながら、学習習慣づくりや生徒指導に努めた</p>	<p>※計画的な家庭学習の習慣を構築するため、家庭との連携を強化し進める</p>
	<p>①校舎保全を図りつつ、内外の環境整備を充実させ、明るくさわやかな環境づくりを推進する。</p> <p>②図書室およびコンピューター室の利用促進、視聴覚機器の点検・整備と情報教育の充実を図る。</p> <p>③地域コーディネーターや図書ボランティアなどの人的環境の積極的活用や日常的な人的環境の充実(教師の服装や言動など)を図り、各教室・職員室内の整理整頓に努める。</p>	<p>○校務補さんや、養護教諭・事務職員等が中心となり、安全点検日を設定し常に校舎内外の環境整備に努めた</p> <p>○町の図書ボランティアの協力があり図書室の環境整備が進んだ</p>	<p>※今後も子どもたちが過ごしやすい環境整備に努めていく</p> <p>※図書室の整備が進んでいるので、利用の機会がより多くなるように働きかける</p>
特別支援教室	<p>①全教職員の理解と協力により社会的自立に向けた特別支援教育を実施する。</p> <p>②子どもや保護者のニーズを踏まえ、個別支援計画を作成する。</p> <p>③社会性や好ましい人間関係を育む交流学習・共同学習を推進する。</p> <p>④保護者及び関係機関と密接に連携し、信頼に基づく協力体制を確立する。</p>	<p>○特別支援学級の設置はないが、こまり感のある子どもの指導を全教職員が連携しあいながら進めている</p> <p>○特支連と連携しながら、研修に努めている</p>	<p>※今後もこまり感のある子どもの指導を、全教職員が連携しながら、急な状況や場面にも応じることができるよう研修を進めていく</p>



中頓別中学校

学校経営 取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

【教務部の運営計画】

項目	取り組み概要	○成果 ●課題	今後の方向性
運営の基本方針	(1)平成25年度学校経営方針を受け、全体的な視点から各分掌・係との連携を図る。 (2)地域の特色や生徒の実態に即した教育計画の策定・推進に努め、本校教育目標の具現化に迫る。	○本校の教育目標の具現化を目指し、教育活動全般にわたり、各種提起や運営の調整を進めた	※他の分掌との連携を強化し、より効果的で実りある教育課程の推進を図っていく
運営の重点	(1)地域・生徒の実態を把握し、適切な教育課程を編成・実施する。 (2)確かな学力の形成に向け、生徒の実態をふまえた学習支援の実施を図る。	○チャレンジタイム・プランシートなど、学習支援の取り組みについて推進した	※さらなる学力向上にむけて、具体的な取り組みの改善を推し進める

【生徒指導部の運営計画】

項目	取り組み概要	○成果 ●課題	今後の方向性
運営の基本方針	「本校の教育目標」の具現化へ向け、目指す学校像、生徒像・教師像の実現を目指し、生徒の健やかな成長を支援できる体制や活動場面づくりを推進する。 (1)教師は、生徒との関わりを多く持ち、生徒に望む姿を自ら実践しその手本となるよう努める。 (2)学校生活の主体が生徒であることを押さえ、自主自立の態度・行動力を育て、自律の精神を養う。 (3)基本的な生活習慣や感謝の心や礼儀を身につけさせ、心豊かで規律ある学校生活を送る力を育てる。 (4)健康・安全・保健衛生についての理解を深め、体力の向上や自己（健康）管理ができる力を育てる。	○基本方針をもとに子どもたちの成長を願い、生徒との信頼関係を育み、さまざまな教育活動や生活場面で指導を進めることができた ●教職員間の連絡・調整・方針づくり等で連携不足の部分も見られた	※今年度、課題となった部分を次年度の改善へにつなげ、教師個人の力量向上はもとより、組織としての学校力が向上するように働きかけていく

<p>運営の重点</p>	<p>生徒『みんなが』より快適に生活できることを、『みんなで』学び合えるような活動場面や環境を作る。</p> <p>(1) 社会性を育む場面づくり（支援・指導） 基本的な生活習慣や礼儀・マナー・ルールなどについて学び自律性を育てる場面をつくる。</p> <p>(2) 集団性を高める場面づくり（活動） 互いに認め・助け合いながら、思いやり・感謝の心と共に自主・自治性を育てる場面をつくる。</p> <p>(3) 安心・安全・健康に活動できる環境づくり</p> <p>①「ココロ」（精神的）～様々な場面で受容的・共感的態度で安心できる環境（信頼関係）をつくる。</p> <p>②「カラダ」（肉体的）～健康情報を学んだりや基礎体力を向上できる環境をつくる。</p> <p>③「モノ」（物理的）～アンケートなどによる生徒の状況把握できる環境をつくる。</p> <p>④「コト」（奉仕的）～地域行事への積極的参加など生徒の頑張りを広報できる環境をつくる。</p> <p>⑤「ヒト」（連携的）～家庭・地域・その他関係機関との連携・情報交換の環境をつくる。</p>	<p>●日常的な情報交流や共通理解の場が不十分であり、全体で指導事項を周知しつつ、一致した指導を進める点では弱さが見られた</p> <p>○生徒とは共感的理解のもと信頼関係の構築がなされた</p> <p>○自治活動を高めるために、生徒会活動を活性化し、住みよい学校づくりに取り組めるよう指導を進めた</p> <p>○課題が生まれた場合には家庭との連携を大切にし、個や集団に応じた指導を進めることができた</p> <p>●家庭と家庭の結びつきという点では工夫が必要</p>	<p>※生徒の健やかな成長のために、組織としての教職員集団の力量向上を目指し、個々の教職員の力量向上とあわせて、職員室での生徒や教育についての語り合いや研修の場面を大事にしていく</p> <p>※ねらいを明確にした生徒会の自治能力を高める指導を推進し、学級や部活動でも生きる力を高める指導を展開する</p> <p>※課題だけではなく、よりよく生活するための家庭との更なる連携を重視する</p>
--------------	--	---	--

【事務部の運営計画】

項目	取り組み概要	○成果 ●課題	今後の方向性
運営の基本方針	(1)教育目標達成、学校課題解決に向けて、教育条件整備を行う。 (2)校内の各担当部署と密接な連携をとり、迅速かつ適正な業務遂行に努める。	○教職員のひとりとして適正な業務のもと、教育条件整備にあたった	※関係者との連携を重視し、継続した取り組みを行う
運営の重点	(1)教育目標の達成のために、全職員との連携や協力に基づいた学校事務運営に努める。 (2)学校財政の現状を把握し、各担当の要望を可能な限り実現していくことで、教育環境の充実を図る。 (3)生徒や地域との接点を大切にし、教育・学校事務関係の情報伝達・収集・活用に努める。 (4)小学校や町教委と連携をとり、課題解決や学校事務の更なる発展を目指す。	○都度つど予算執行状況等を全体に明らかにしながら、全体への周知や適正な執行に向けて努力した ○学納金未納家庭とも連携を密にしながら、納入完了を目指した	※今後も折にふれた情報提供を行い、全体で共有する ※今後も学納金未納家庭とは丁寧な連携に努めていく

(2) 生きがいとまちづくりを支える社会教育の推進

①社会教育の充実

施策項目	取り組み概要	平成24年度	平成25年度
		○成果●課題◇今後の方向性	○成果●課題◇今後の方向性
成人式運営事業	<p>成人を迎える若人が郷土愛や仲間意識を高め、成人となることの意義を考え、社会人としての責務や役割を十分認識し、更なる飛躍を期待する。</p> <p>【事業内容】</p> <p>&lt;平成24年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成人式 1月13日</li> <li>該当者11名、出席者5名</li> <li>本を1冊贈呈</li> <li>※「20歳の20冊」事業</li> <li>父母への感謝の言葉</li> <li>父母からのお祝いの言葉</li> <li>放課後子ども教室から絵手紙プレゼント</li> </ul> <p>&lt;平成25年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成人式 1月12日</li> <li>該当者14名、出席者7名</li> <li>本を1冊贈呈</li> <li>※「20歳の20冊」事業</li> <li>父母への感謝の言葉</li> <li>父母からのお祝いの言葉</li> <li>放課後子ども教室から絵手紙プレゼント</li> <li>タイムカプセルの思い出</li> </ul>	<p>○父母からの感謝の言葉、お祝いの言葉では直接言葉で伝えられなかった想いが綴られていた。</p> <p>平成24年度には放課後子ども教室での協力によりメッセージ入り絵手紙を贈呈でき、祝う気持ちの込められた式典となった。</p> <p>●これまでの実施日では、該当者の学校や仕事の都合で欠席される方が多い。</p> <p>◇実施日の見直しと、地域の関わりを検討する。</p>	<p>○父母から成人者へ、成人者から父母への感謝の気持ちを手紙で伝えることができた</p> <p>恩師から成人者へのお祝いの依頼やビデオや当時のアルバムなどを展示し、思い出深い式典となった。</p> <p>放課後子ども教室での昨年から継続し、メッセージ入り絵手紙を贈呈でき、祝う気持ちの込められた式典となった。</p> <p>式典会場を役場で開催した。</p> <p>式典終了後に成人者の残したタイムカプセルを開け、当時の思い出をふりかえることができた。</p> <p>◇該当者の学業や仕事の都合を調整し、より出席しやすい日程と故郷を見つめ直す機会となるよう検討する。</p>
青年講座運営事業	<p>地域の青年（個人・グループ）が、青年同士の交流を図り、地域活動の活性化を目的とするが、事業の実施には至っていない。</p>	<p>●具体的な取り組みができていない。</p> <p>◇実態把握を行い青年活動の組織化に向け、関係機関と連携して取り組み方法を検討する。</p>	<p>●具体的な取り組みができていない。</p> <p>◇各青年団体の連携組織化に向け、懇話会や連携事業の検討</p>

施策項目	取り組み概要	平成24年度 ○成果●課題◇今後の方向性	平成25年度 ○成果●課題◇今後の方向性
女性教育 運営事業	<p>女性として豊かな人生を過ごすため、自主的な学習を高めると共に、地域社会における住民相互の交流を深め、住みよい環境づくりを目指す。</p> <p>&lt;平成24年度&gt; 対象者：上駒女性学級 ・町外視察研修 6月27日 ・中1総合学習思い出マップ ・中小親子ふれあい広場 11月18日 ・異世代交流 12月15日 ・放課後子ども教室 12月26日 ・新年会 1月29日</p> <p>&lt;平成25年度&gt; 対象者：上駒女性学級 ・町外視察研修 9月6日 ・異世代交流 11月23日 ・子どもチャレンジ教室 3月26日 ・新年会 1月28日</p>	<p>○教育支援活動の一環として放課後子ども教室などで児童とおやつ作りや餅つきといった活動を広めている。</p> <p>●1学級の取り組みに止まっており幅広い年代の活動となる取り組みになっていない。新しい取り組みのあり方について引き続き検討する必要がある。</p> <p>◇女性教育の在り方について調査検討し、ニーズに合わせた取り組みを検討していく。</p>	<p>○教育支援活動の一環として放課後子ども教室や異世代交流事業、子どもチャレンジ教室での支援と交流。</p> <p>●学級生の高齢化もあり、毎年、同じ取り組みとなっている。継続した取り組みが必要</p> <p>◇社会参加や子どもたちとの交流、ボランティアなど、社会貢献事業への広がりを検討する。</p>
高齢者教室「寿大学」運営事業	<p>学習と思考を重ね、能力や健康増進に自信を深めるとともに、共同学習による交流を深め、趣味や娯楽などのサークル活動を通じて、自ら活動する。</p> <p>&lt;平成24年度&gt; ・入学式(4月13日) ・町外研修(6月28日、7月12日) ・修学旅行(8月22日～23日) 網走市、斜里町 ・教養講座(12月15日、2月15日) ・異世代交流(12月15日、2月20日) ・卒業式(3月18日) ・各種サークル活動</p> <p>&lt;平成25年度&gt; ・入学式(4月18日) ・町外研修(9/4、9/11) 興部方面 ・修学旅行(10/2～3) 東川町 ・異世代交流(11/23、2/27) ・卒業式(3月27日) ・各種サークル活動</p>	<p>○従来の活動に加えて、児童との異世代交流に参加し、昔のあそび、オセロなど行った。</p> <p>●学び、交流の場として多くの高齢者が参加できるための内容充実が必要である。</p> <p>◇活動内容を提案し、内容の充実を図るほか、成果の発表する場の確保、地域との関わりを考えた取り組みを進める。</p>	<p>○児童との異世代交流、昔遊び交流、子どもチャレンジ教室に参加し、異世代交流を深めることができた。</p> <p>●事業への取組が遅れ、年間計画のとおり取り組みとはならなかった。 寿大学生の在籍生や学年制などの整理 サークル活動の充実</p> <p>◇高齢者教育として、運営体制や講座の持ち方など、これまでの寿大学の運営方法の刷新し、学習内容の充実を図る。</p>

施策項目	取り組み概要	平成24年度 ○成果●課題◇今後の方向性	平成25年度 ○成果●課題◇今後の方向性
社会教育委員会運営事業	<p>社会教育委員は、社会教育に関し教育長を経て教育委員会に助言するための職務を行う。</p> <p>【事業内容】</p> <p>&lt;平成24年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育委員会議 第1回 5月10日</li> <li>第2回 10月11日</li> <li>第3回 3月28日</li> <li>・文化スポーツ表彰選考委員会 10月11日(8個人、1団体の表彰)</li> </ul> <p>&lt;平成25年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育委員会議 第1回 5月16日</li> <li>第2回 10月10日</li> <li>・文化スポーツ表彰選考委員会 10月10日(8個人の表彰)</li> </ul>	<p>○社会教育事業の節目ごとに会議を開催し、事業内容の審議を行ってきた。</p> <p>●会議の進め方を検討する必要がある。</p> <p>条例の見直しをする必要がある。</p> <p>◇委員からの助言をいただけるよう会議進行の再考するとともに、学習機会を提供していく。</p>	<p>○社会教育事業の節目ごとに会議を開催し、事業内容の審議を行ってきた。</p> <p>●会議の持ち方を検討し、委員の役割や想いを教育行政につなげ活かすことが必要。</p> <p>年度の総括の会議を開催することができなかった。</p> <p>◇委員の学習機会の拡充(道社連教育研究大会兼全国社会教育委員連合北海道ブロック大会への参加)</p>
各種研修派遣事業	<p>団体やサークルが自主的に活躍するため、各種研修会や会議に派遣し団体やサークルの指導者を養成し、継続的な活動を推進する。また、自主的な生涯学習活動やまちづくり活動を図れるよう個人指導者や団体やサークルの育成を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジュニアリーダーコース 7月30日～8月1日 1名</li> </ul>	<p>●各団体やサークルの指導者育成の研修に派遣できておらず、指導者発掘と養成に至っていない。</p> <p>◇団体・サークルの自主的な活動推進のため、各種研修会や会議に派遣し、指導者の発掘と養成を図っていく。</p>	<p>●各団体やサークルの指導者育成に対し積極的な取り組みがされていない。</p> <p>中学生のリーダー養成事業への派遣</p> <p>◇派遣事後の指導者、リーダーとしての活躍できる場の設定も必要である</p>
車両維持管理事業	<p>社会教育事業推進のため使用する車両の維持管理を行う。</p>	<p>○社会教育領域及び学校教育において有効に活用された。</p> <p>◇今後も有効活用に支障をきたさないように車両の適切な維持管理に努めていく。</p>	<p>○社会教育領域及び学校教育において有効に活用されてきた。</p> <p>◇文化・スポーツ振興のため、各団体、サークルでの有効活用に支障をきたさないよう、適切な維持管理に努める。</p>

施策項目	取り組み概要	平成24年度 ○成果●課題◇今後の方向性	平成25年度 ○成果●課題◇今後の方向性
管内生涯教育推進協議会運営負担事業	<p>管内の生涯学習推進関係者や社会教育関係者等がその実践や研究協議を開催し、管内の生涯学習情報の収集と生涯学習関係者の資質の向上を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>管内社会教育主事研修 5月22日～23日 1名</li> </ul> <p>【負担金】</p> <p>&lt;平成24年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>負担金 30,000円</li> </ul> <p>&lt;平成25年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>負担金 30,000円</li> </ul>	<p>●専門的な視点から管内の情報交換を行う機会が減少しているため、情報交換を行う場としてさらに連携を深める必要がある。</p> <p>◇管内の生涯学習状況の把握と連携、情報交換を通し、生涯学習関係者の相互の情報共有によって資質向上に努める。</p>	<p>●各種研修機会への積極的な参加ができなかった。</p> <p>◇管内の生涯学習状況の把握と連携、情報交換を通し、生涯学習関係者の相互の情報共有を図るため、積極的に参加派遣を図る。</p>
町民センター運営維持管理事業	<p>地域住民のコミュニティ活動の拠点として施設の維持管理運営を行い、地域活動や生涯学習・まちづくり活動、各種団体サークル等の活動支援を図る。</p> <p>別紙「利用状況」を参照</p>	<p>●施設の老朽化が進み、修繕の必要な個所が確認されている。また、冬期間の暖房費を始め電気料などのコストが高額となっている。</p> <p>◇今後も地域コミュニティの活動拠点として機能していく施設であり、管理運営のあり方を検討する。</p>	<p>●施設の老朽化が進み、修繕の必要な個所が確認されている。管理人によるこまめな見回りによる暖房料や電気料のコスト軽減を図ってきた。</p> <p>社会教育施設の環境整備にコストが増加している</p> <p>◇地域コミュニティの活動拠点として機能していく施設であり、利活用と管理運営の在り方について検討する。</p>
郷土資料館及び青少年柔剣道場運営事業	<p>本町開拓の歴史的経過と先人の事業を知り後世に伝えるため、郷土に関する資料の保存と展示をしている。</p> <p>健康で文化的生活を築くために柔剣道場及び図書室、研修室を活用し、青少年の健全育成を図る。</p> <p>○柔剣道場利用団体 剣道少年団、柔道少年団、カンフー教室</p> <p>○研修室利用団体 絵手紙サークル等</p> <p>別紙「利用状況」を参照</p>	<p>○施設の運営管理のほか、図書室の運営では図書ボランティアの協力で、購入図書の見直しや図書まつりなど活用促進のための活動を実施した。</p> <p>●郷土資料館の展示方法などを改善する必要がある。</p> <p>◇利用しやすい学びの場として充実を図っていく。 柔剣道場の利用促進を進める。</p>	<p>○施設の運営管理のほか、図書室の運営では図書ボランティアの協力で、購入図書の見直しや図書まつり、本の読み聞かせなど活用促進のための活動を実施した。</p> <p>●郷土資料館の展示方法などを改善するほか、積極的に町外へも広報宣伝することも検討する。(観光との連携)</p> <p>◇利用しやすい学びの場として、団体利用のほか、個人利用の促進を図る</p>

施策項目	取り組み概要	平成24年度 ○成果●課題◇今後の方向性	平成25年度 ○成果●課題◇今後の方向性
なかとんべつ子ども読書プラン事業	<p>子どもがたくさんの本と出会う機会を保障し、そのために必要な環境を計画的に整備することを目的に平成22年に「中頓別町子ども読書プラン」を策定し、絵本の読み聞かせなどの活動を推進している。</p> <p>【事業内容】</p> <p>&lt;平成24年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推進会議 4月23日</li> <li>・担当者会議 6月18日</li> <li>・としょまつりの開催(年4回)</li> <li>・ブックスタート事業での読み聞かせ 5月24日、8月23日、11月15日、2月21日(8名)</li> <li>・図書室での読み聞かせ</li> </ul> <p>&lt;平成25年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推進会議 4月22日</li> <li>・としょまつりの開催</li> <li>・ブックスタート事業での読み聞かせ 5月23日、8月23日、11月21日、2月21日</li> <li>・図書ボランティア研修 3/9 枝幸町 紙芝居</li> </ul>	<p>○図書ボランティアの協力により、小・中学校図書室の整理が行われるほか、従前の取り組みにも協力が得られた取り組みとなっている。</p> <p>●ブックスタート事業でのプレゼント本の在庫種類が少なかった。</p> <p>◇プレゼント本の提供方法を見直しと工夫を行う。 絵本を通して、幼児期からの親子のコミュニケーションの一つとして役立てていただけるよう、関係者及び町民が共通理解により取り組めるようにする。</p>	<p>○図書ボランティアの活動も積極的であり、図書まつりや読書会開催、文化祭では、様々な工夫を凝らし、本に親しみやすい環境づくりなど、自主的な取り組みとなっている。</p> <p>●一人でも多くの方が、図書室に足を運んでもらえる様な魅力ある図書室の環境整備に努める。</p> <p>◇子どもも含めた町民、大人の読書に親しむ機運の醸成が必要である。特に家庭での読書習慣づけ。(親も子も)</p>
多目的集会所施設維持管理事業	<p>小頓別地区住民のコミュニティ活動の場として活用され、施設の維持管理を地域自治会に委託している。</p> <p>&lt;平成23年度&gt; 委託料 120,000円</p> <p>&lt;平成24年度&gt; 委託料 120,000円 別紙「利用状況」を参照</p>	<p>●地域の衰退と高齢化が進み、利用頻度も少なくなっている。</p> <p>◇当面の間は地域コミュニティ活動の拠点として存続し施設の維持管理を行っていくが、今後の施設のあり方も含め検討していく。</p>	<p>○地域コミュニティ活動としての使用頻度は少なくなっている。</p> <p>地域おこし協力隊の活動拠点として活用されてきた。</p> <p>◇活用頻度は少ないが、地域コミュニティ活動の拠点としての施設として今後の施設の利活用やあり方について検討が必要である。</p>



施策項目	取り組み概要	平成24年度	平成25年度
		○成果●課題◇今後の方向性	○成果●課題◇今後の方向性
創作活動 施設運営 管理事業	中頓別町らしい個性豊かな芸術文化の発展のため、地域や職場、団体サークルの創作活動の拠点として積極的な活用を図る 別紙「利用状況」を参照	○団体サークルによる創作活動の拠点として活用された。  ●定期的な利用団体があるものの全体を通して利用団体が減少している  ◇各団体及び町民のニーズ把握をするなど今後の活用に向けた利用促進の検討をしていく。個別利用の促進も視野にニーズ把握を行う	○文化団体サークルのほか、スポーツ団体や交流会や親睦会などでの利用のほか、放課後こども教室の活動の場としても利用された。  ◇文化活動以外での有効的な利活用（個人での活用）など、利用促進を図る。放課後こども教室での体験活動の場として活用を検討。（木工体験）
英会話教室 運営事業	A L T（英語指導助手）による英会話教室を開催し、英会話力の向上及び異文化交流を深める。 毎週 火曜日 13:30～15:00 金曜日 10:30～12:00 英会話教室登録者数 5名	○参加者は少ないが、外国の文化に関心をもつことより異文化交流につながっている。  ●興味関心が持てるような内容の工夫や広報等を活用し、町民の参加を促す必要がある。  ◇異文化交流や英会話とその他の事業と関連付けるなどアプローチを工夫し、異文化や英会話への関心を高める取り組みを検討する。	○参加者は少なく、同じメンバーでの教室運営となっている。  ●参加者が固定化し、新規加入者が入りにくい状況でもあり、興味関心が持てるような内容の工夫や広報等を活用し、町民の更なる参加を促す。  ◇A L T（英語指導助手）と英会話教室の参加者やその他多くの町民との交流を深め、異文化交流ができる機会に向けての取り組みが必要である。

②社会体育の充実

施策項目	取り組み概要	平成24年度 ○成果●課題◇今後の方向性	平成25年度 ○成果●課題◇今後の方向性
社会体育 推進事業	<p>各スポーツ団体等の活動を支援し、スポーツ振興と活性化、健康づくりを図ることを目指す。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ巡回車(26人乗り)の維持管理</li> <li>・スポーツ安全保険レクリエーション保険の手続き等</li> </ul>	<p>○スキー利用増の一端として各家庭で使用しなくなったスキー用品のリサイクルを実施し、多数の用品を確保できた。</p> <p>●子供用品の提供が少なかった。</p> <p>貸し出し用の用具が老朽しているので、更新計画をまとめる必要がある。</p> <p>◇スポーツを通じた取組みを行なう</p>	<p>○スキー利用増の一端として各家庭で使用しなくなったスキー用品のリサイクルを実施したが、提供いただいた用具が古く、利用者のニーズに合わなかった。</p> <p>●貸し出し用の用具が老朽しているため、計画的な更新が必要である。</p>
スポーツ 推進委員 会運営事業	<p>スポーツの推進のため、住民に対しスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行う。</p> <p>【事業内容】</p> <p>スポーツ推進委員会の開催</p> <p>&lt;平成24年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回 4月26日</li> <li>第2回 6月8日</li> <li>第3回 8月6日</li> <li>第4回 2月4日</li> <li>第5回 3月15日</li> </ul> <p>&lt;平成25年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回 5月7日</li> <li>第2回 6月11日</li> <li>第3回 10月10日</li> <li>第4回 12月17日</li> <li>第5回 3月19日</li> </ul>	<p>○定期的なスポーツ推進委員会議での意見交換により、工夫した事業を展開することができた。</p> <p>●スポーツ推進に向け、事業展開の反省を踏まえ、実践に向けて活動を活性化させる。</p> <p>◇スポーツ実技の指導や助言をおして、町民の健康づくりや体力づくりの推進役として活動を継続する。</p>	<p>○定期的なスポーツ推進委員会議での意見交換により、町民のスポーツ活動の推進を図ることができた。</p> <p>管内スポーツ推進委員研修会を中頓別町で開催し学習を深めるとともに親睦を深めた</p> <p>●町民のスポーツの活性化に向けたスポーツの推進を図る取り組みが必要である。</p> <p>◇町民の健康体力づくり、スポーツの活性化に向け、積極的にスポーツの推進役として、町民のスポーツ活動の活性化を図る。</p>

施策項目	取り組み概要	平成24年度	平成25年度
		○成果●課題◇今後の方向性	○成果●課題◇今後の方向性
町民各種スポーツ大会等運営事業	<p>各種スポーツ大会等を通して、本町のスポーツの推進を図り、町民の健康増進と体力向上を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <p>&lt;平成24年度&gt;</p> <p>(主催)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町長杯パークゴルフ大会 5月12日 一般男子31名 一般女子13名 計44名</li> <li>・町民ソフトボール大会 7月8日7チーム90名</li> </ul> <p>(後援)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みラジオ体操会 7月26日～8月4日 延べ約800名</li> <li>・町民ミニバレー大会 3月27、29日7チーム32名</li> </ul> <p>&lt;平成25年度&gt;</p> <p>(主催)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町民ソフトボール大会 7月7日6チーム72名</li> <li>・町長杯パークゴルフ大会 5月11日 一般男子33名、一般女子10名 計43名</li> </ul> <p>(後援)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町民ミニバレー大会 未実施</li> <li>・夏休みラジオ体操会 7月26日～8月4日</li> <li>・町民駅伝大会・小学マラソン 駅伝 25チーム 122名 マラソン 22名</li> </ul>	<p>○各種スポーツ大会等の開催をとおして、町民の健康・体力づくり、仲間づくりに成果があった。</p> <p>●生涯スポーツの視点から、日常的な体力向上や健康づくりにつながるような新しいスポーツ種目を取り入れるなどスポーツ推進が望まれる。</p> <p>種目によって参加者の固定化が見られ幅広い参加にならなかった。</p> <p>◇だれもが参加できるような大会運営となるよう関係団体と協議し、一人でも多い参加となる工夫をする。</p> <p>また、健康づくりの視点から保健福祉領域との連携を検討する。</p>	<p>○各種スポーツ大会等の開催をとおして、町民の健康・体力づくり、仲間づくりを図ることができた。</p> <p>●参加者の固定化が見られ幅広い参加になるよう、スポーツの潜在人口を掘り起こす取り組みが必要である。</p> <p>◇大会運営主体となるスポーツ団体サークルとの連携を強化し、誰もが参加しやすく、取り組めるスポーツ推進を図る必要がある。</p>

施策項目	取り組み概要	平成24年度	平成25年度
		○成果●課題◇今後の方向性	○成果●課題◇今後の方向性
冬季スポーツ教室等運営事業	<p>冬季スポーツを通して、運動不足の解消、健康増進と体力向上を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <p>&lt;平成24年度&gt; (主催)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジュニアアルペン教室 1月19日、20日、27日 2月9日、17日、19日 初心者コース5名、検定を目指すコース2名 計7名</li> <li>・少年少女スキー教室 1月9～11日 56名</li> <li>・歩くスキー教室 9名 2月6日、12日、19日、26日、3月5日</li> <li>・キッズスキー教室 2月16日、17日 就学前5名</li> <li>・スノーボード教室 3名 2月16日、17日</li> <li>・町民スノーフェスティバル 3月3日 悪天候のため3月10日に延期するも悪天候とインフルエンザ流行のため中止 (後援)</li> <li>・ジュニアアルペンスキー大会 1月14日 18名</li> </ul> <p>&lt;平成25年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般スキー教室 1月18日、19日 2月1日、11日、15日、16日 初心者コース1名、技術向上を目指すコース4名、検定を目指すコース5名 計名</li> <li>・ジュニアアルペン教室 1月8～10日 49名</li> <li>・歩くスキー教室 2月18日(悪天候で中止)、2月25日、3月4日、11日、18日 12名</li> <li>・町民スノーフェスティバル 2月16日</li> <li>・キッズスキー教室 1月9日、10日 就学前8名</li> <li>・スノーボード教室 6名 1月18日、19日</li> <li>・N45° なかとんべつ寿アルペン競技大会 2月2日 24名</li> </ul>	<p>○幼児向けのスキー教室とスノーボード教室の取り組みは、2年目となり、初心者が参加しやすい実践ができた。</p> <p>●キッズスキーやスノーボード教室の取り組みが定着するように指導者の確保や参加者の広がりを持てるようにさらに工夫する必要がある。</p> <p>◇幼児期から高齢者までがスキーや雪に親しみ、スキー技術の向上や健康体力づくりにつながる事業になるよう関係者相互の協力と連携により、工夫した事業の取り組みを行う。</p>	<p>○例年開催してきたジュニアアルペン競技大会と寿ジュニアアルペン大会を統合リニューアルし、「N45° なかとんべつ寿アルペン競技大会」として開催した。</p> <p>昨年度、悪天候により開催できなかった「スノーフェスティバル」をスキー競技に限らず、レクリエーションや遊びを取り入れて開催することができた。</p> <p>●冬季スポーツの取り組みが継続できるよう指導者の確保は必須である。</p> <p>◇冬季スポーツを推進する関係団体の支援協力と参加者の技術の向上や健康体力づくりの意識の高揚を図る。</p> <p>冬季スポーツの種目拡大に向けて、指導者養成や事業の取り組みの工夫改善が必要である。</p>

施策項目	取り組み概要	平成24年度 ○成果●課題◇今後の方向性	平成25年度 ○成果●課題◇今後の方向性
スポーツ少年団本部運営補助事業	<p>町内のスポーツ少年団の円滑な運営を図るとともに団員のスポーツ技術の向上と青少年の健全育成、各団体相互の親睦を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <p>&lt;平成24年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団員45名(野球5名、剣道10名、柔道8名、卓球22名)</li> <li>・結団式(5月12日)45名、解団式(3月20日)52名</li> <li>・体力テスト会の開催</li> </ul> <p>&lt;平成25年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団員47名(野球6名、剣道8名、柔道9名、卓球15名、フットサル16名)</li> <li>・結団式(5月19日)43名、解団式(3月24日)30名</li> <li>・体力テスト会の開催</li> <li>・団員交流会</li> <li>・スポーツ少年団認定養成講習会への派遣 2名</li> </ul>	<p>○スポーツを通じて、団員の精神、技術、体力の向上と成長への支援に繋がった。</p> <p>新たな少年団活動となるよう関係者と打ち合わせをし、フットサル少年団が活動することになった。</p> <p>●児童数の減少によって、町外との連携によって団体を存続させるなど、活動の継続が難しい団体があり、さらに支援協力を図る必要がある。</p> <p>◇各少年団の連携を深くし、健やかな成長に欠かせないスポーツの取り組みが継続して行う。</p> <p>新たな指導者の発掘や育成、保護者との協力関係を引き続き密にしていく。</p>	<p>○スポーツ少年団活動を通して、スポーツの楽しみや健康体力の向上、心身の健全育成を図ることができた。</p> <p>また、秋の体力テスト会の後、団体間の交流会を開催し、交流を深めることができた。</p> <p>●団員の減少を防ぐため、団体の支援と協力体制を強化することが大切である。(保護者の理解)</p> <p>◇新たな指導者の発掘や育成、保護者との連携を引き続き密にしていく。</p> <p>冬季の子どもたちの活動の場の設定を関係団体と連携し立ち上げる。(冬季スポーツ少年団(仮称))</p>
学校開放事業	<p>学校体育館を開放し、町民のスポーツ活動を支援する。</p> <p>主な利用団体</p> <p>サッカー協会、バスケットボール協会、スポーツしない会、卓球スポーツ少年団</p> <p>別紙「利用状況」を参照</p>	<p>○多種目のスポーツを取り組む団体活動を通して、利用が高まり、活動が活性化してきている。</p> <p>●個人や団体の利用者が利用しやすい環境になるよう、柔軟な施設利用に繋がる工夫が求められている。</p> <p>◇学校の理解と協力を得ながら、学校体育館の利用を継続させていただき、スポーツをとおして、町民の健康・体力づくりに寄与していく。</p>	<p>○町民がスポーツを取り組む場所の提供として、学校体育館の解放を推進し、団体サークルの効率的な利用がされている。</p> <p>●個人や団体の利用者が利用しやすい環境になるよう、柔軟な施設利用のシステムを構築することが必要である。</p> <p>◇町民のスポーツ活動の促進のため継続した学校体育館の積極的な利活用を図る。</p>

施策項目	取り組み概要	平成24年度	平成25年度
		○成果●課題◇今後の方向性	○成果●課題◇今後の方向性
各種スポーツ団体支援事業	<p>各団体、サークル等が主催する大会において、教育委員会が後援し、スポーツ振興に寄与する。</p> <p>【事業内容】</p> <p>&lt;平成24年度&gt;</p> <p>・第5回寿アルペンカップ競技大会 2月3日 37名</p> <p>&lt;平成25年度&gt;</p> <p>・第5回中頓別町長杯争奪宗谷陸地町村ゲートボール大会 6月22日 12チーム</p> <p>・宗谷ゲートボール連合中頓別大会 8月25日 12チーム</p>	<p>○各スポーツ団体やサークルが主催する大会の後援だけでなく、大会運営に人的支援を行なうことができた。</p> <p>◇全体のスポーツ推進につながることから、教育委員会が町体育連盟やスポーツ推進委員など、関係機関を含めた連絡調整を図り、引き続き支援をしていく。各団体の大会充実に向けて、連携を図り効果的な運営につなげていく。</p>	<p>○各スポーツ団体やサークルが主催する大会の後援だけでなく、大会運営に人的支援を行ない、各団体との連携を図り効果的な運営を図ることができた。</p> <p>◇教育委員会が町体育連盟やスポーツ推進委員など、関係機関を含めた連絡調整を図り、団体サークルが開催する大会の支援協力をしていくことが必要である。</p>
社会体育施設運営事業	<p>町民体育館は、町内で活躍しているスポーツ団体やサークル、愛好団体のスポーツ活動の拠点として提供している。また、学校の部活動としても活用され、多くの団体やサークルに利用されている。</p> <p>別紙「利用状況」を参照</p>	<p>○スポーツ団体、サークル、愛好会などスポーツ活動を通して、町民の健康・体力づくりに寄与している。</p> <p>●施設の老朽化に伴い冬季間の利用における暖房が課題である。</p> <p>◇町民のスポーツを通じた健康体力づくりに欠かせない施設であり、今後の整備計画が急がれる。</p>	<p>○スポーツ団体、サークル、愛好会などスポーツ活動を通して、町民の健康・体力づくり、町のスポーツの活性化に寄与している。</p> <p>●使用団体が固定化しており、個人や団体の利用者が利用しやすい環境になるよう、柔軟な施設利用のシステムを構築することが必要である。</p> <p>◇前年と同様</p>

施策項目	取り組み概要	平成24年度 ○成果●課題◇今後の方向性	平成25年度 ○成果●課題◇今後の方向性
山村プール運営事業	<p>学校授業や子どもから大人までの水泳技能や水中運動による健康体力づくり、子どもたちの活動の場となっている。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山村プール内外の環境整備</li> <li>・施設の維持管理</li> <li>・水質管理と利用者への安全確保</li> <li>・夜間開放</li> </ul> <p>別紙「利用状況」を参照</p>	<p>○新しい事業の取り組みとして、親子水泳教室を開催し、初心者が参加しやすい事業展開ができた。学校授業や一般町民の利用が図られ、健康体力づくりにつながった。</p> <p>●施設が老朽化してきており、温水シャワー（ボイラーの改修）・機器・備品の改修が急務である。</p> <p>◇施設の改修や機器の維持管理など整備計画を樹立することが必要である。</p>	<p>○親子水泳教室を昨年から継続し開催、キッズ水泳教室などの開催を通して、水泳の楽しさと努力する態度が養われた。</p> <p>ボイラーシャワーの改修やコースロープの設置、屋根ビニールシートの交換などの施設修繕により、利用環境の改善が図られた。</p> <p>●施設が老朽化してきており改修や機器の交換などの整備が必要である。</p>
寿野外レクリエーション施設事業	<p>町の社会教育施設の管理を平成18年度から指定管理として中頓別振興公社に管理委託している。利用者の意見や意向、ニーズを把握しながら、有益で地域住民の憩いの場として、円滑・効率的な運営管理を図っている。</p> <p>【指定管理施設】</p> <p>&lt;平成24年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中頓別町寿スキー場 リフト輸送人員 12月 5,648人、1月 2,772人、2月 13,793人、3月 2,287人 計 24,500人</li> <li>・ふれあいスポーツ広場</li> <li>・寿パークゴルフ場 町内 342人、町外 532人 シーズン券 75件</li> </ul> <p>&lt;平成25年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中頓別町寿スキー場 リフト輸送人員 12月 5,894人、1月 23,956人、2月 20,687人、3月 4,097人 計 44,412人</li> <li>・ふれあいスポーツ広場</li> <li>・寿パークゴルフ場 町内 342人、町外 532人 シーズン券 76件</li> </ul>	<p>○民間の手法を実施することでコストの低減が図られている。</p> <p>●冬季スポーツ推進の拠点となる寿スキー場の町内外の利用者拡大に向けて、事業の取り組みや展開の工夫が必要である。</p> <p>◇施設整備計画の樹立が急務である。</p> <p>利用拡大に向けた取り組みとあわせ、将来的な見通しを立てて方針を明確にしている。</p>	<p>○振興公社による指定管理、冬季スポーツによる体力の向上、健康増進のため、歩くスキーコースを常時整備し愛好者の利用向上が図られた。</p> <p>●寿スキー場の町内外の有効活用を図るため、事業の取り組みやサービスの向上や利用者の拡大を図ることが必要である。</p> <p>◇前年と同様に広域施設としての施設の将来的な見通しを立てて方針を明確にしていることが必要である。</p>

③地域文化の振興と文化財の保護

施策項目	取り組み概要	平成24年度 ○成果●課題◇今後の方向性	平成25年度 ○成果●課題◇今後の方向性
町民文化 推進事業	<p>地域の個人・団体サークルや、町内各学校における日頃の文化活動や学習成果の発表を通じ、それぞれの活動を知ることや、お互いの交流を深める。また、地域的に優れた芸術文化に接する機会が少ないため、優れた芸術作品に接する鑑賞機会を設ける。</p> <p>中頓別町の文化及びスポーツの振興発展に寄与し、特に実績の顕著な方の表彰に関する必要な事項を定め、中頓別町の文化及びスポーツの普及振興に資することを目的とする。</p> <p>【事業内容】</p> <p>&lt;平成24年度&gt;</p> <p>○町民文化祭 11月2日～4日</p> <p>○芸術文化公演 11月4日 劇団さっぽろ「五感で楽しむ短編演劇集」</p> <p>○文化スポーツ表彰 11月3日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化奨励賞特別表彰 小林奈々子氏</li> <li>・文化優秀賞 森川雅也氏</li> <li>・文化優良賞 中学校文化部</li> <li>・スポーツ奨励賞特別表彰 佐々木至郎氏</li> <li>・スポーツ優秀賞 中原章子氏</li> <li>・スポーツ優良賞 森川亮太氏、山田海氏、菅原佳紀氏</li> </ul> <p>&lt;平成25年度&gt;</p> <p>○文化週間 10/13～11/3</p> <p>○文化祭 11/1～3</p> <p>○町民芸術鑑賞会 腹笑会、ひよっこ ロケット姉妹コンサート</p> <p>○文化スポーツ表彰</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化奨励賞特別賞 山崎しずゑ氏</li> <li>・スポーツ奨励賞特別表彰 (故) 田中勇夫氏</li> <li>・スポーツ優秀賞 赤川知子氏</li> <li>・スポーツ優良賞 山田海氏、菅原佳紀氏、 野田悠莉氏、吉田皓晴氏</li> </ul>	<p>○町民文化祭実行委員会としての2年目の取り組みとなり、芸術鑑賞事業では、子どもから高齢者まで楽しめる人形劇やマジックショー、大人向けの演劇公演など内容を工夫。また、従来の展示のみだけでなく、図書ボランティアによる人形劇など内容を工夫し、だれもが文化に親しみをもてるような活動への理解を深めている。</p> <p>●参加者の固定化につながらないよう、新しいサークルへの参加呼びかけや文化祭での催しの内容を見直すなど、だれもが、参加しやすい取り組みになるようさらに工夫が必要である。</p> <p>◇伝統文化の継承につながるよう文化祭の取り組みを通して、団体やサークル化を図るきっかけとなるような事業や、教室を開催するなど、取り組み方法の工夫が必要である。</p>	<p>○芸術鑑賞事業では、子どもから高齢者まで楽しめる人形劇や腹話術の講演、大人向けの音楽コンサートの実施。</p> <p>劇団ひよっこによる人形作りの指導と子どもたちの人形劇への参加など、図書ボランティアとの連携を深め、文化に親しみを持たれる取り組みを行った。</p> <p>また、町内にあるピアノ教室の練習成果の発表（ミニコンサート）を実施し好評であった。</p> <p>●文化団体会員の高齢化により、年々サークル会員の減少や活動そのものも衰退している。新たな会員の発掘や新しい取り組み内容が必要である。</p> <p>◇新しい芸術にふれる機会や文化祭の取り組みを通して、団体やサークル活動の活性化につながる取組みの工夫がさらに必要である。</p>



施策項目	取り組み概要	平成24年度 ○成果●課題◇今後の方向性	平成25年度 ○成果●課題◇今後の方向性
巡回小劇場公演運営事業(児童生徒芸術鑑賞事業)	<p>日頃、舞台芸術を鑑賞する機会が少ない地域の児童・生徒を対象に学校体育館等の身近な会場で舞台芸術を鑑賞する場を提供し、次代を担う児童・生徒の豊かな感性や個性を育むとともに、芸術文化を理解し、大切にすることを養うため、北海道巡回小劇場と共催して事業を実施する。</p> <p>【事業内容】</p> <p>&lt;平成24年度&gt; ・8月30日 ミュージカル「セロ弾きのゴーシュ」</p> <p>&lt;平成25年度&gt; ・9月18日 イキイキワクワク音楽会 パフファミリーコンサート</p>	<p>○巡回小劇場の公演をとおして、芸術文化への興味関心を高め、学芸会や学校祭への取り組みに意識を高める機会となった。</p> <p>●町民の方々の興味関心のあがる演目となるよう、事業実施に向けた取り組み方法の工夫が必要。</p> <p>◇小中学生を中心としながらも、引き続き多くの町民の方々の参加に向けて、周知等の工夫をする。</p>	<p>○普段、優れた芸術文化に接する機会が少ないため、コンサートを通して芸術文化に親しみ、関心を高めることができた。</p> <p>●子どもたちばかりではなく、幅広く地域住民の方にも鑑賞できる取り組みは必要である。</p> <p>◇優れた芸術作品を鑑賞し、学芸会や学校祭に自ら取り組む姿勢や意識を高める取り組みに向けていくことが大切である。</p>
各種文化団体支援事業	<p>各団体、サークル等が主催する大会において、教育委員会が支援し、文化スポーツ振興に寄与する。</p> <p>【事業内容】</p> <p>&lt;平成24年度&gt; ・道民芸術祭「絵画展」の開催 12月11～16日 絵手紙サークル 45作品、 枝幸町から6作品</p>	<p>●伝統文化の継承につながるよう事業の展開に工夫が必要である。</p> <p>◇各文化団体やサークル団体の活動活性化を図るため、文化活動の継承とサークル化が図られるような取り組みを検討する。</p>	<p>●昨年と同様に「絵画展」を予定していたが、開催することができなかった。文化団体会員の高齢化により、伝統文化の衰退化が懸念される。</p> <p>◇伝統文化の継承につながるよう新規会員の発掘への取り組みが必要である。</p>
文化財保護委員会運営事業	<p>本町の区域内に所在する文化財(国又は道の指定するものを含む)の、保全及び活用のため必要な措置を講じ、文化財の保全保護と活用に資する。</p> <p>【事業内容】 文化財保護委員会</p> <p>&lt;平成24年度&gt; ・第1回 7月18日 4名 ・第2回 2月27日 4名</p> <p>&lt;平成25年度&gt; ・第1回 10月17日 5名 ・第2回 未実施</p>	<p>○本町の文化財的資源の保全や活用を協議検討することにより、文化財的資源の保全保護及び活用の推進につながった。</p> <p>●国の登録有形文化財「旧丹波屋旅館」の将来的な保全が課題となっている。</p> <p>●鍾乳洞については新たな洞窟の保存に向けた取扱いが課題となっている。</p> <p>◇国の登録有形文化財「旧丹波屋旅館」については、国に登録申請した関係から、所有者の理解と全町的な合意形成を図る。 鍾乳洞の新洞については、ジオパーク構想との連携調整を図りながら、方向性を見出す。</p>	<p>○本町の文化財的資源の保存や活用について、検討と協議を行い、教育委員会に考え方を提言した。</p> <p>●文化財的資源については、盗掘の恐れがないか、また自然環境の変化によって、植物に変化がないか、継続して調査を行っていくことが必要である。</p> <p>◇町内にある文化的資源の調査活動(神社など)</p>

平成24年度学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業実績

【学校支援地域本部事業】

1. 学校活動への支援活動

①中頓別小学校

事業	開催日	場所	内容	人数
総合学習 「中頓別探検隊」	5月16日 17日	鍾乳洞	・構造、歴史に学ぶ ・生物(昆虫・野鳥)に学ぶ ・自然(木・花)に学ぶ	59
	7月13日	小学校	「総合学習追体験」名人にインタビューして もっと物知りになろう	59
	9月18日	小学校	出前授業支援:町をアピールするための方法 をプロから学ぶ	59
	11月27日	小学校	地域の方のアドバイスを受けてアピール物 をより良くするための支援	30
1・2年生 生活科	10月5日	小学校	「なかよくなろう生物」 生物にふれ合う学習支援	24
1年生 異世代交流	2月20日	小学校	「昔遊び」 伝承遊びを教えてください ・剣玉 ・お手玉 ・竹とんぼ ・あやとり ・コマ	12
3年生 社会科	10月3日	セイコーマート	「買い物調べ」 セイコーマート中頓別店の店内見学	13
	10月9日	JA中頓別	「買い物調べ」 JA中頓別の店内見学	13
3年生 社会見学	1月18日	石橋牧場	「酪農の仕事調べ」 石橋牧場の見学支援	13
4年生 社会見学	5月11日	枝幸警察署中 頓別駐在所	「安全なくらしとまちづくり」 中頓別駐在所見学支援	16
	6月25日	南宗谷消防組 合中頓別支署	「安全なくらしとまちづくり」 中頓別消防支署見学	16
	9月10日	中頓別浄水場・ 中頓別町下水道 管理センター	「健康なくらしとまちづくり」 上・下水道施設見学支援	16
	9月14日	一般廃棄物埋 立処理施設	「安全なくらしとまちづくり」 施設見学支援	16
毛筆体験	12月4日 5日	小学校	毛筆講師派遣支援	59
スキー授業	1月17日～ 計12回	寿スキー場	スキー指導支援	66
カルタクラブ	5月16日	小学校	百人一首の指導	6
	7月11日	小学校	百人一首の指導	6
	9月12日	小学校	百人一首の指導	6
親子ふれあ い広場	11月18日	小学校	「親子ふれあい広場」 作品制作補助者要請の支援 ・木工「森の妖精」「クリスマスリース」 ・押し花のしおり・ブックスタンド ・指編み・バスーンアート	99

学校環境整備活動	6月 1日	小学校	「畑おこし」 トラクター・耕耘機を使って畑おこしを支援	
----------	-------	-----	--------------------------------	--

## ②中頓別中学校

事業	開催日	場所	内容	人数
1年生 総合学習	5月10日	郷土資料館	福祉教育	14
	7月 4日	藤井会館	福祉教育「思い出マップ」 地域の高齢者等から昔の話を伺い思い出のマップを作成	14
	10月23日	役場	「福祉講話」 福祉学習の一環で町の福祉政策を町長及び担当課長から説明	14
2年生 総合学習	7月18日	保健センター	福祉教育 体験学習として車いす体験、半身不随体験の支援	13
	8月28日	天北厚生園	福祉教育 障害者支援施設で利用者との交流と農園作業等の体験支援	13
2年生 職場体験	11月1日 2日	町内企業	職場体験 町内の企業で職場体験の支援	13
柔道授業	10月24日 25日 29日 30日 31日 11月 1日 2日 5日 8日 9日	青少年柔剣道場	「柔道授業」 柔道授業を安全に実施するため柔道経験の豊富な指導者へ依頼する支援	27

## ③学校図書・読書の支援

中学校	ディスプレイ作成、図書整理
小学校	読聞かせ、学級文庫入替、ディスプレイ作成、新刊図書登録
こども館	絵本の読み聞かせ

### 2. 中学校地域ルームの開設

中学校の空き教室を利用して、毎週木曜日(8時～16時)に地域ルームを開設し、生徒の悩み・問題の相談や交流を図った。

### 3. 小学校との情報交換

毎週火曜日(15時30分～16時30分)に支援活動の打合せ及び情報交換を行った。

### 4. ボランティア活動便り「たすけ愛」の発行

6月～3月まで10号発行

### 5. 講演会の開催

#### ①子育て講演会

開催日	平成24年9月11日(火)
開催場所	町民センター レクリエーション室
テーマ	「子どもの未来に 今、伝えたいこと」
講師	家庭教育カウンセラー 内田玲子 氏
参加者	52名
目的	中頓別町の子どもの健やかな成長を願い、豊かな子育てのあり方を学び、学校・家庭・地域が連携して子ども達の健全育成に努める資質をより向上させ、豊かなまちづくりを進めることを目的とする。

### 【なかとんべつ放課後子ども教室事業】

登録者数 35名 計55回開催

#### ①学習・運動活動 33回

開催日	会場	内容	人数
5月11日	町民センター・町民体育館	学習・運動	19
5月18日	町民センター・町民体育館	学習・運動	23
5月25日	町民センター・町民体育館	学習・運動(キックベース)	21
5月29日	町民センター・こども館	学習・ナラキ先生のABC	12
6月1日	町民センター・町民体育館	学習・運動(縄跳び)	18
6月8日	町民センター・町民体育館	学習・運動(グランドゴルフ)	18
6月15日	町民センター・町民体育館	学習・運動(将棋・卓球)	21
6月22日	町民センター・町民体育館	学習・運動	22
6月26日	町民センター・こども館	学習・ナラキ先生のABC	11
7月6日	町民センター・町民体育館	学習・運動(ミニバレー)	3
7月13日	町民センター・町民体育館	学習・運動	23
7月20日	町民センター	学習・白玉団子作り	24
8月24日	町民センター・町民体育館	学習・運動	16
8月31日	町民センター	学習・サラダ・いも団子作り	26
9月7日	町民センター・プール	学習・運動	26
9月21日	鍾乳洞	学習(森林教室) 鍾乳洞散策道周辺の森林を会場に、宗谷総合振興局森林室専門普及指導員による森林教室を開催	22
9月25日	町民センター・こども館	学習・ナラキ先生のABC	13
9月28日	町民センター・町民体育館	学習・運動	27
10月5日	町民センター	学習	20
10月19日	町民センター	学習	26
10月26日	町民体育館	運動	30
11月2日	ゆめクラブ	学習	27
11月9日	町民センター	学習	26
11月16日	町民体育館	運動	25

11月30日	町民センター	学習	22
1月18日	町民センター	学習	15
1月25日	町民体育館	運動(バドミントン、ミニバレー)	21
2月1日	町民センター	学習	17
2月8日	町民センター	学習	19
2月15日	町民体育館	運動(バドミントン、ミニバレー)	22
2月22日	町民体育館	運動	19
3月1日	町民センター	学習	28
3月15日	町民センター	活動の振り返り	25

②体験活動 5回

開催日	会場	内容	人数
6月29日	日炤寺	見学・体験 お寺を見学し、読経を体験。	16
8月28日	旭台ふれあい農園	野菜収穫体験 トマトとレタスの収穫体験とサラダ作り	12
9月14日	天北厚生園圃場	野菜収穫体験 エダマメの収穫体験	26
10月12日	旭台ふれあい農園	野菜収穫体験 ジャガイモの収穫体験といもだんご作り	25
12月14日	町民センター・町民体育館	絵手紙サークルの方々に協力していただき、 新成人に向けてメッセージ入りの絵手紙とし おりを作成	23

③夏休み・冬休み等の活動 17回

開催日	会場	内容	人数
7月26日	町民センター・プール	学習・運動	21
7月27日	町民センター・プール	学習・運動	17
8月1日	食彩工房もうもう・そうや自然学校	調理体験 創作活動施設「もうもう」にてピザ・アイスクリームの調理体験と、東日本大震災子ども支援プロジェクトで来町した児童との交流を実施	26
8月7日 10日 14日	山村水泳プール	親子水泳教室 水泳指導経験者及び町スポーツ推進委員を講師に、水泳が苦手な児童と技術向上を目指す児童に水泳指導を行った。	11
12月15日	町民センター	異世代交流事業 遊びやおやつ作り体験を通して高齢者と交流を図った。オセロ大会・昔遊び・おやつ作り	5
12月25日 26日 27日	町民センター・町民体育館	学習・運動・調理体験 北海道教育大学旭川校から学生2名を迎え、学習のサポートとレクリエーション活動を実施。上駒女性学級の協力を得て、餅つき体験を行った。	8
1月9日 10日 11日	寿スキー場	スキー練習 寿スキー場で小学生児童のスキー教室を開催	58

1月9日 10日 11日	柔剣道場	百人一首練習 柔剣道場で百人一首の練習を実施	30
1月12日	柔剣道場	百人一首大会	26

## 【家庭教育支援事業】

### 1. 子育てコラムの発行

目 的	家庭での教育のあり方、学校、家庭の役割について考える機会を地域住民に提供する。6月から3月まで計10号発行し、町内全世帯に配布
著 者	家庭教育カウンセラー 内田玲子 氏

### 2. 教育関係職員研修会の開催

開 催 日	平成25年2月26日(火)
場 所	小学校
講 師	コアアクティブコーチ 松尾奈緒 氏
参 加 者	26名
目 的	教育関係職員を対象に子ども等とのコミュニケーション術を学ぶ

### 3. 子育て研修会の開催

開 催 日	平成25年2月27日(水)
場 所	こども館
講 師	コアアクティブコーチ 松尾奈緒 氏
参 加 者	9名
目 的	就学前の幼児を持つ保護者が子育てのヒントを見つけ、これからの子育てに向けて自信を深めていくことを目的に、コミュニケーション術を学び、お互いの気持ちを大切にしながら前向きに子育てに取り組んでいくために家庭教育のきっかけ作りとする。

### 4. その他

#### ①キッズチャレンジスキー教室

開 催 日	平成25年2月13日(木)・14日(金)
場 所	寿スキー場
講 師	教育委員会職員
参 加 者	11名
目 的	子ども館年長児を対象に、スキー場を利用した冬季戸外活動を実施し、スキーの体験やボブスレー、雪遊びなどを行う中で雪に親しむ心を養い、戸外活動の促進定着を目指す。特に、スキーについては小学校入学後のスムーズなスキー授業の取り組みにつなげていく。

#### ②キッズスキー教室

開 催 日	平成25年2月16日(土)・17日(日)
場 所	寿スキー場
講 師	教育委員会職員
参 加 者	5名
目 的	幼児向けのスキー教室を通して、冬季スポーツに親しむ子を育てることを目的とする

#### ③スキーリサイクル事業

開 催 日	平成24年11月16日(金)から
場 所	町民センター・青少年柔剣道場・教育委員会事務局

目的 就学前の幼児から高校生、その保護者を主な対象に、不要なスキー用具を提供していただき希望者へマッチングすることで、家庭のスキーの取組を支援するスキーリサイクル事業。

平成25年度学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業実績

【学校支援地域本部事業】

1. 学校活動への支援活動

①中頓別小学校

事業	開催日	場所	内容	参加人数	教育支援員
総合学習「中頓別探検隊」	5月29日(水) 30日(木)	ふるさとの森	中頓別探検隊 ふれあいの森の自然	55	2
	9月10日(火)	ふるさとの森 甚平窯 ふれあい農園 下頓別植樹林	中頓別探検隊 テーマ ①自然(木・花・きのこ) ②炭作り、③森と環境 ④自然と食べ物	55	6
	9月24日(火)	甚平窯	中頓別探検隊追体験 炭作り	12	6
	11月8日(金)	小学校	中頓別探検隊追体験 出前授業	55	5
1・2年生 生活科	6月18日(火)	安川商店 米津レンカ堂	お店探検	12	2
	7月9日(火)	中頓別町 図書室	図書館探検	12	1
	7月17日(水)	郵便局	郵便局探検	12	3
	10月7日(月)	ふるさとの森	自然探検	12	1
3年生 社会科	9月19日(木)	中頓別農業協同 組合	買い物調べ	11	2
	10月2日(水)	安川商店	買い物調べ	11	1
	11月13日(水)	石橋牧場	仕事調べ「牧場見学」	13	2
3年生 社会見学	9月19日(木)	中頓別農業協同 組合スーパー	買物調べ	11	2
4年生 社会見学	5月21日(火)	枝幸警察署中頓 別警察官駐在所	社会見学 「安全なくらしとまちづくり」の 学習で警察の見学支援	13	2



	6月26日(水)	南宗谷消防組合 中頓別支署	社会見学 「安全なくらしとまちづくり」の 学習で消防の見学支援	13	3
	9月6日(金)	一般廃棄物埋立 処理施設	社会見学 「健康なくらしとまちづくり」の 学習で一般廃棄物埋立処理 施設の見学	13	2
	9月17日(火)	中頓別浄水道 中頓別町下水管 理センター	社会見学 「健康なくらしとまちづくり」の 学習で中頓別浄水場・中頓別 町下水管理センターの見学	13	2
4年生 図工	10月 8日(火)	町道10丁目線 工事現場	建設機械の写生会	13	1
毛筆大会	12月2日(月) ～3日(火)	小学校	宗谷管内書初め展に向けて の練習	55	1
スキー授業	1月23日～2月 17日 計8回	寿スキー場	スキー授業の指導	47	15
カルタクラブ	5月22日(水)	中頓別小学校	百人一首の指導	6	4
	7月10日(水)			6	
	9月11日(水)			6	
	10月30日(水)			6	
学校環境整 備活動	5月27日(月)	中頓別小学校	畑おこし		1
1年生 授業支援	11月	小学校	15日(金)～国語、算数 18日(月)～国語、道徳 19日(火)～学活、算数 21日(木)～体育、国語 26日(火)～国語、算数	10時間	6
	12月	小学校	6日(金)～国語 10日(火)～算数、国語 16日(月)～国語、道徳	6時間	3
	3月	小学校	10日(月)～国語、道徳 18日(火)～国語、道徳	4時間	2
1年生 スキー授業 支援	12月13日(金) 17日(火)	小学校	スキー上達を目指して	11	2
1年生 生活科	2月27日(木)	小学校	昔遊び(竹とんぼ、けん玉、 駒、あやとり、お手玉)	11	6

②中頓別中学校

	開催日	場所	内容	参加人数	教育支援員
1年生 総合学習「思い出マップづくり」	5月16日(木)	郷土資料館	福祉教育 中頓別町のでんぷん工場について学ぶ	15	1
	6月13日(木)	町民センター 宮下会館	福祉教育 思い出マップ	15	6
	8月30日(月)	中頓別中学校	思い出マップ発表会	15	4
	9月12日(木)	養護老人ホーム 長寿園	総合的な学習の時間 「福祉講話」	15	3
2年生 福祉教育	6月19日(水)	保健センター	福祉教育「体験学習」 障害者体験、車イス体験	14	2
親子ふれあい広場	10月26日(日)	中学校	メッセージボード、エコクラブ ト、餃子作り	77	2
2年生 職場体験	10月29日(火) ～30日(水)	町内各企業	各企業で職場体験	15	
柔道大会出場への指導支援	8月2日(金) ～4日(日)	厚沢部町 総合体育館	北海道中学校柔道大会 大会に出場する生徒の指導支援	1	1
柔道授業	10月16日(水) ～31日(木)	柔剣道場	中学校武道授業 1・2年生柔道授業全10日間(延べ20時間)の指導支援	延べ 300人	10

③学校図書・読書の支援

中学校	ディスプレイ作成、図書整理
小学校	読聞かせ、学級文庫入替、ディスプレイ作成、新刊図書登録
こども館	絵本の読み聞かせ

2. 中学校地域ルームの開設

中学校の空き教室を利用して、毎週木曜日(8時～16時)に地域ルームを開設し、生徒の悩み・問題の相談や交流を図った。

3. 小学校との情報交換

毎週火曜日(15時30分～16時30分)に支援活動の打合せ及び情報交換を行った。

4. ボランティア活動便り「たすけ愛」の発行

5月～3月まで12号発行

5. 交流事業(講演会含む)の開催

①学校支援教育研修会開催

開催日	場所	内容	参加人数
8月9日(金)	町民センター	「環境学習」 講師…松尾奈緒さん、早川靖志さん	25
11月8日(金)	町民センター	「野生動物学習」 講師…富士元寿彦	20

②福島県交流事業の支援

開催日	場所	内容	参加人数
8月8日(木)	ふれあい農園 保健センター プール	「野菜収穫・試食会」、水泳	18

③子育て講演会

開催日	場所	内容	参加人数
11月20日 (水)	町民センター	子育て講演会「自分に自信の持てるこどもに」 講師…加藤良平	38

④異世代ふれあい交流

開催日	場所	内容	参加人数
11月23日(土)	町民センター	昔遊び(けん玉、紙飛行機、コマ) オセロ対戦 イモ団子づくり 昼食交流(カレーライス)	36

【なかとんべつ放課後子ども教室事業】

登録人数 計24名 実施回数計 平日43回、休日9回 述べ697人参加

①学習・運動

回	開催日	場所	内容	参加者数
1	5月10日(金)	町民センター・体育館	学習、運動(ミニバレー等)	17
2	5月17日(金)	町民センター・体育館	学習、運動(ミニバレー等)	21
3	5月24日(金)	町民センター・体育館	学習、運動(1輪車・フラフープ等)	20
4	5月31日(金)	町民センター・体育館	学習、運動(縄跳び・風船バレー)	16
5	6月25日(火)	町民センター・こども館	学習、運動(ナラキ先生のABC)	12
6	8月23日(金)	町民センター、体育館	学習、運動(バレー・バドミントン等)	15
7	8月27日(火)	町民センター・体育館	学習、運動(バレー・縄跳び等)	9
8	8月30日(金)	町民センター、プール	学習、水泳	19
9	10月11日(金)	町民センター	学習、運動	15
10	10月18日(金)	町民センター	学習、運動	16
11	11月1日(金)	町民体育館	運動(バドミントン等)	16
12	11月15日(金)	町民センター	学習	14
13	11月22日(金)	町民センター	学習、運動(バドミントン・縄跳び)	16
14	12月13日(金)	町民体育館	運動(バドミントン等)	15
15	1月24日(金)	町民センター	学習	15
16	1月31日(金)	町民体育館	運動(バドミントン・バレー等)	16
17	2月7日(金)	町民センター	学習	10
18	2月14日(金)	町民体育館	運動(バドミントン・バレー等)	14
19	2月28日(金)	町民センター	学習	12
20	3月7日(金)	町民体育館	運動(バドミントン・バレー等)	16

述べ304人

②農業体験

回	開催日	場所	内容	参加者数
1	5月28日(火)	旭台ふれあい農園	じゃがいも定植	12
2	6月7日(金)	ふれあいスポーツ広場、 旭台ふれあい農園	桜の植樹 枝豆・レタス・大豆	16
3	6月14日(金)	農業体験施設オガル 町民センター	種まき	18
4	6月21日(金)	旭台ふれあい農園	花・とうもろこし・ポップコーン・カボチャ 植え	14
5	7月9日(火)	旭台ふれあい農園	じゃがいも土寄せ・草取り、収穫…レタス・ イチゴ	8
6	7月12日(金)	旭台ふれあい農園	レタス収穫、サラダ試食	17

7	9月3日(火)	旭台ふれあい農園	収穫体験	9
8	9月6日(金)	農業体験施設オガル	収穫体験・料理(いも)	14
9	9月13日(金)	農業体験施設オガル	収穫体験・料理(とうもろこし)	14
10	9月20日(金)	旭台ふれあい農園 町民センター	収穫体験(枝豆・かぼちゃ) 料理(枝豆)	15
11	10月4日(金)	旭台ふれあい農園	収穫(ポップコーン・大豆)	15
12	12月6日(金)	創作活動施設	大豆のさやはずし	15

述 167 人

### ③体験活動

回	開催日	場所	内容	参加者数
1	6月28日(金)	日炤寺	勉強・お寺体験	15
2	7月19日(金)	図書室	図書室まつり	19
3	9月24日(火)	町民センター	絵手紙	8
4	9月27日(金)	町民センター	絵手紙	16
5	10月25日(月)	町民センター	カボチャの工作	13
6	11月8日(金)	町民センター	野生動物映写会	14
7	11月23日(土)	町民センター	異世代旭台ふれあい交流	13
8	11月29日(金)	町民センター	消しゴムはんこ作り	16
9	12月20日(金)	町民センター	絵手紙	14
10	2月21日(金)	町民センター	フライドポテトづくり	17
11	3月14日(金)	町民センター	映写会	16

述 146 人

### ④夏休み、冬休み等休業日の活動

回	開催日	場所	内容	参加者数
1	8月7日(水)	町民センター、鍾乳洞	学校支援活動研修会「森の写真絵本作り」	6
1	8月8日(木)	旭台ふれあい農園 保健センター プール	福島県交流「野菜収穫・昼食会」	6
1	8月9日(金)	町民センター	学校支援活動研修会「環境学習」	6
1	10月6日(日)	鍾乳洞	森林教室	6
1	11月23日(土)	町民センター	異世代旭台ふれあい交流	13
3	1月17日(金) ～19日(日)	町民センター、寿スキー場	放課後教室「子どもチャレンジ教室 冬」	28
1	3月26日(水)	町民センター	放課後教室「子どもチャレンジ教室 春」	13

述 80 人

## 【家庭教育支援事業】

### 1. 子育て研修会の開催

開催日	平成25年7月22日(月)
場所	町民センター
講師	NPO 育自の魔法 山口ひとみさん
参加者	8名
目的	育児に頑張る母親が、自分自身を大事にする気持ちを芽生えさせることで、それが子どもや家族を大切にできることにつながるための自分を育てるための講座を開催した。

### 2. その他

#### ①水泳体験教室

開催日	平成25年8月23日(金)
場所	山村水泳プール
講師	教育支援員 5名
参加者	8名
目的	こども館年長児の親子を対象とした夏期戸外活動を通して、水と親しむ活動と体力づくりを目的とした体験教室を開催した。

#### ②キッズチャレンジスキー教室

開催日	平成26年1月9日(木)10日(金)
場所	寿スキー場
講師	教育委員会職員、こども館職員
参加者	8名
目的	こども館年長児を対象に、スキー場を利用した冬季戸外活動を実施し、スキーの体験やボブスレー、雪遊びなどを行う中で雪に親しむ心を養い、戸外活動の促進定着を目指す。特に、スキーについては小学校入学後のスムーズなスキー授業の取り組みにつなげていく。

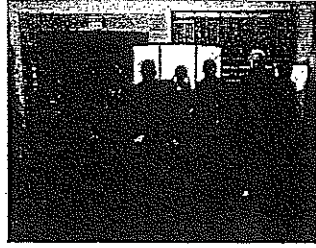
#### ③スキーリサイクル事業

開催日	平成25年12月10日(火)から
場所	町民センター・青少年柔剣道場・教育委員会事務局
目的	就学前の幼児から高校生、その保護者を主な対象に、不要なスキー用具を提供していただき希望者へマッチングすることで、家庭のスキーの取組を支援するスキーリサイクル事業。

# 平成25年度 学校支援地域協議会事業成果報告

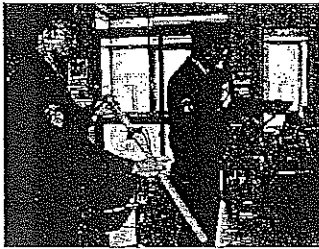
## 1、中1総合学習 福祉教育 郷土資料館

日時 5月16日  
場所 郷土資料館  
内容 社会見学  
教育支援員1名



## 2、小4社会見学 枝幸警察署中頓別駐在所

日時 5月21日  
場所 枝幸警察署中頓別駐在所  
内容 社会見学



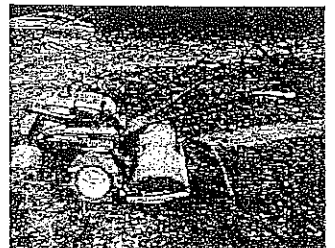
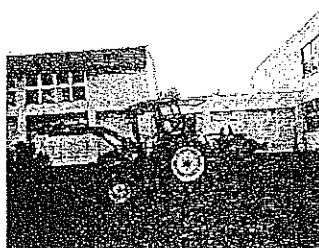
## 3、中小 百人一首クラブの指導

日時 5月22日・7月10日・9月11日・10月30日  
場所 中頓別小学校  
内容 百人一首の指導  
教育支援員1名



## 4、中小 畑おこし

日時 5月27日  
場所 中頓別小学校  
内容 畑おこし  
教育支援員1名



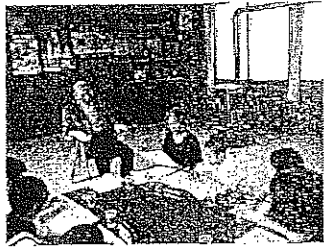
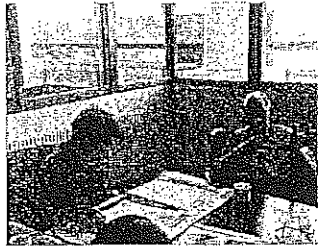
## 5、中小総合学習「中頓別探検隊」ふるさとの森

日時 5月29日・31日  
場所 中頓別町ふるさとの森  
内容 ふるさとの森の自然  
教育支援員2名



6、中1 総合的な学習「思い出マップ」

日時 6月13日  
 場所 1町内・あかね…町民センター  
 内容 思い出マップ 取材  
 教育支援員8名



7、小2 お店探検

日時 6月18日  
 場所 米津レンカ堂  
 安川商店  
 内容 お店探検



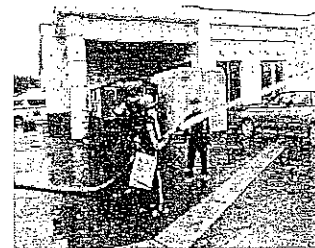
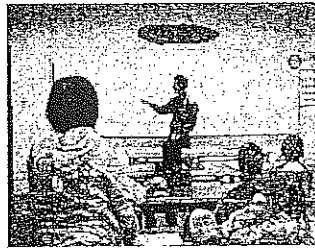
8、中2福祉教育「体験学習」社会福祉協議会

日時 6月19日  
 場所 保健センター  
 内容 福祉教育「障害者体験」



9、小4社会見学 南宗谷消防組合中頓別支署

日時 6月26日  
 場所 南宗谷消防組合中頓別支署  
 内容 社会見学



10、小2図書館探検

日時 7月9日  
 場所 中頓別町郷土資料館内図書室  
 内容 社会見学



11、郵便局探検

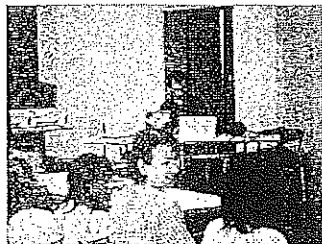
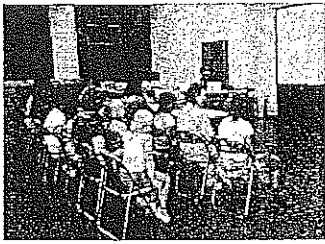
日時 7月17日  
 場所 中頓別町郵便局  
 内容 社会見学





12、森の写真絵本作り

日時 8月7日  
 場所 町民センター・鍾乳洞  
 内容 絵本作り



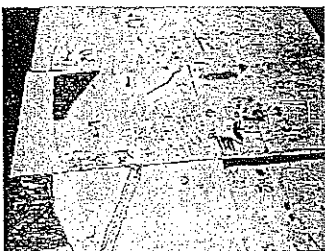
13、東日本プロジェクトへの参加

日時 8月8日  
 場所 ふれあい農園  
 保健センター  
 プール  
 内容 野菜の収穫・試食会



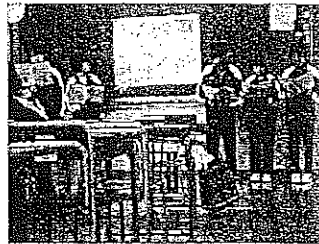
14、環境学習

日時 8月9日  
 場所 町民センター  
 内容 環境学習会



15、中1総合的な学習「思い出マップ」発表会

日時 8月30日  
 場所 中頓別中学校  
 内容 学習発表会  
 教育支援員4名



16、小4社会見学 一般廃棄物埋立処理施設

日時 9月6日  
 場所 一般廃棄物埋立処理施設  
 内容 社会見学



17、中頓別探検隊追体験

日時 9月10日  
 場所 ふるさとの森  
 藤井 甚平窯  
 ふれあい農園  
 下頓別 植樹林  
 内容 自然(木・花・きのこ)  
 炭作り  
 自然と食べ物  
 森と環境

教育支援員11名



18、中頓別探検隊追体験

日時 9月11日  
場所 藤井 甚平窯  
内容 炭作り  
教育支援員5名



19、中1総合的な学習「福祉講話」長寿園

日時 9月12日  
場所 長寿園  
内容 見学・講話



19、小4社会見学 上下水道施設

日時 9月17日  
場所 中頓別浄水場  
中頓別町下水道管理センター  
内容 社会見学



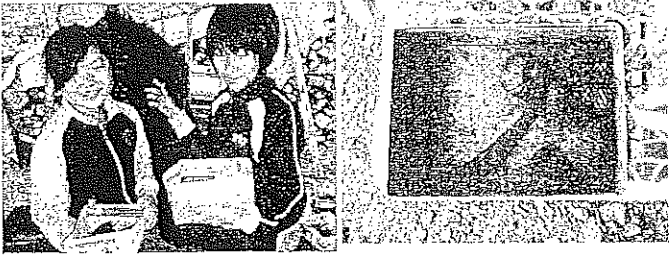
20、小3社会見学 中頓別農協スーパー

日時 9月19日  
場所 中頓別農協スーパー  
内容 買い物調べ



21、中頓別探検隊追体験

日時 9月24日  
場所 藤井 甚平窯  
内容 炭作り  
教育支援員6名



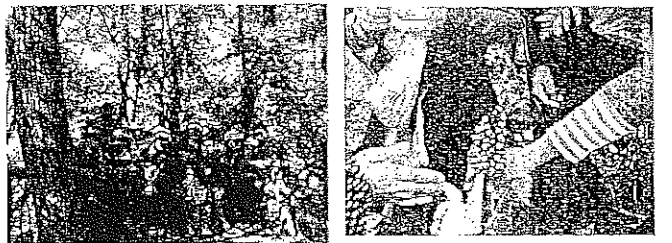
22、小3 買物調べ 安川商店

日時 10月2日  
場所 安川商店  
内容 見学



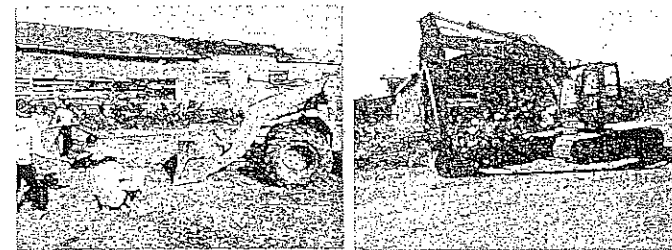
23、小2生活科 ふるさとの森散策

日時 10月7日  
場所 中頓別町ふるさとの森  
内容 自然探索  
教育支援員1名



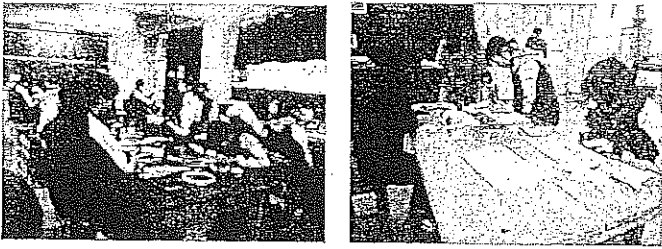
24、小4図工写生会

日時 10月8日  
場所 町道10丁目線  
内容 建設機械の写生



25、中中親子ふれあい広場

日時 10月26日  
場所 中頓別中学校  
内容 餃子作り  
エコクラフト  
表札(メッセージボード)



26、中2職場体験

日時 10月29日・30日  
場所 町内各事業所  
内容 職場体験



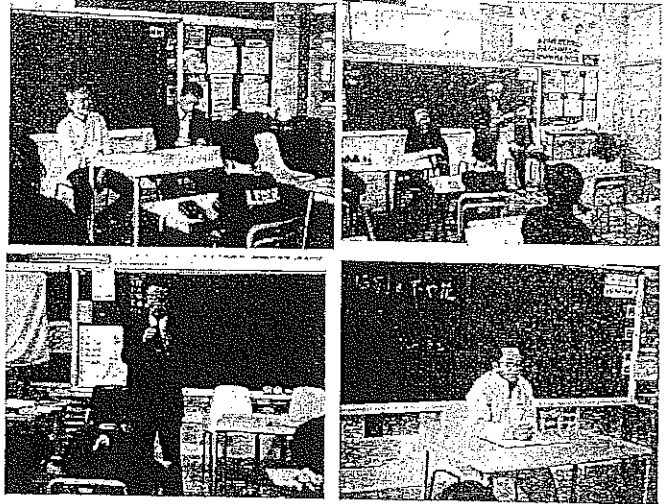
27、放課後こども教室「映像鑑賞会」

日時 11月8日  
場所 町民センター  
内容 雪うさぎはこうして生きている



28、中頓別探検隊「出前授業」

日時 11月8日  
場所 小学校  
内容 自然(木と花)  
炭作り  
森と環境  
自然と食べ物  
教育支援員7名



29、小3社会見学「石橋牧場」

日時 11月13日  
場所 石橋牧場  
内容 社会見学  
教育支援員2名



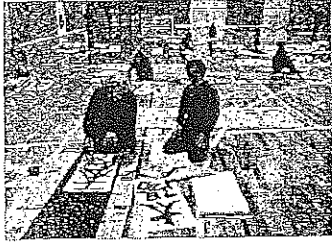
30、異世代交流

日時 11月23日  
場所 町民センター  
内容 異世代ふれあい交流  
教育支援員4名



31、書道練習会

日時 12月2日・3日  
 場所 小学校  
 内容 書道指導  
 教育支援員1名



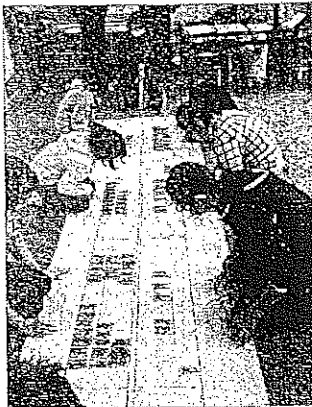
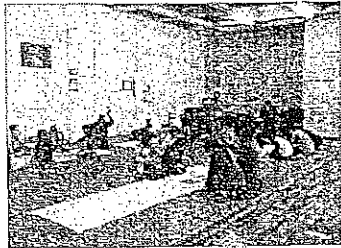
32、小1スキー補助

日時 12月13日・17日  
 場所 小学校  
 内容 スキー補助



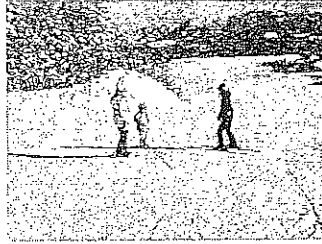
33、百人一首練習・大会

日時 12月26日・1月9日・10日・12日  
 場所 柔剣道場  
 内容 百人一首  
 教育支援員4名



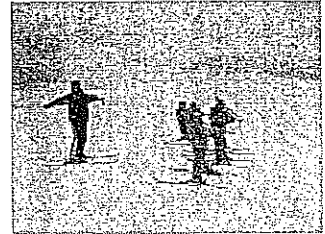
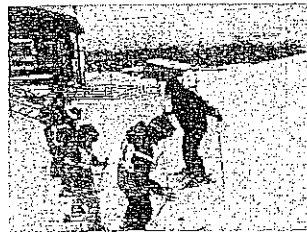
34、子どもチャレンジ教室 冬

日時 1月17日・18日・19日  
 場所 町民センター  
 内容 学習・運動・調理体験  
 教育支援員2名



35、小学校スキー授業

日時 1月23日～8回  
 場所 寿スキー場  
 内容 スキー指導  
 教育支援員5名



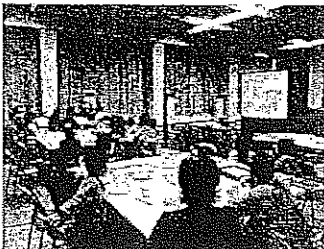
35、小1生活科 昔遊び

日時 2月27日  
場所 小学校体育館  
内容 昔遊びの指導  
教育支援員6名



36、こどもチャレンジ教室2014 春

日時 3月26日  
場所 町民センター  
内容 1年間の振り返り  
教育支援員1名



平成25年度 認定こども園と中頓別小学校との連携方針実施状況の総括

1 子どもの発達や学びの連続性を確保する観点から、小学校教育への円滑な接続に向けた教育及び保育の内容の工夫を図り、連携を通じた質の向上を図ること

※ 家庭との連携を通して、小学校生活へ向けての基本的な生活習慣を確立するようにしていく

実施方針の項目		平成24年度実施状況	平成25年度総括
(1)こども園の保育内容や保育の日課の確認をする	こども園	・保育参観の際、資料を配布し確認を行った。	・保育参観や食育参観を通して確認を行った。
	小学校	・2月の保育参観の資料で確認した。	・入学児童の引継ぎの際に保育内容や日課の内容も確認した。
(2)中頓別小学校の「スタートカリキュラム」を作成するにあたり『中頓別認定こども園』と『中頓別小学校』が連携する	こども園	・「スタートカリキュラム」作成にあたり、こども園との連携は行われていない。	・「スタートカリキュラム」について、具体的な連携は行われてはいない。
	小学校	・平成24年度の1年生が入学から5月までの指導内容を「スタートカリキュラム」として、平成25年度のカリキュラムに位置づけた。25年度の中で実践的検証を行っていく。	・「スタートカリキュラム」として5月までの期間を昨年度の指導内容に基づいて指導した。特に変更の必要はなく、円滑に進めることができた。
(3)中頓別小学校の「入学のしおり」の内容を共通理解する	こども園	・小学校より事前に「入学のしおり」をいただき、職員会議で全員内容確認を行った。	・「入学のしおり」をもとに、職員全員で内容確認を行った。
	小学校	・例年の内容と大きく変わった部分はなかったため、事前の確認はしていない。	・例年通りの形で作成した。

2 小学校教育との連携・接続においては、地域の小学校等との交流活動や合同の研修の実施等を通じ、認定こども園の子どもと小学校等との交流活動や合同の研修等を通じ、認定こども園の子どもと小学校等の児童及び認定こども園と小学校等の職員同士の交流を積極的に進めること

実施方針の項目		平成24年度実施状況	平成25年度総括
(1)職員同士の交流及び研修			
①小学校職員がこども園の保育を見学する ※10月前半(就学児知能検査前)に小学校側が子どもの様子を知る ※冬休み中に、こども園の生活全般(食事等を含む)を見学し、子どもの様子を知る	こども園	・小学校職員がこども達の活動の様子や食事の状況を見学するために、こども園を訪れた。	・小学校職員がこども達の活動状況を見学するため、こども園に来ていただいた。
	小学校	・12月25～26日にこども園を訪問し、ほぼ全員の先生方が保育参観を行った。初めて参観する先生もおり、いろいろ参考になった。	・1学期末にこども園を訪問し、保育参観を行った。ほとんどの教員が2回目であり、昨年度との比較もできて園児の様子をより深く知ることができた。

②こども園職員が、1年生に進学後の子どもたちの様子を参観する ※4月参観日を基本とする	こども園	・第1回授業参観で、こども園職員が小学校を訪問し、子ども達の様子を見学した。	・4月の日曜参観の際、こども園職員全員が小学校を訪問し、子ども達の様子を見学させていただいた。
	小学校	・新年度4月の日曜参観にこども園の先生方に来て頂いた。1年生ばかりでなく、他学年も参観してもらった。	・4月の日曜参観にこども園の保育士に授業を参観していただいた。
③互いに行事の参観をする	こども園	・運動会や学芸会など小学校を訪問し、こども達の成長した姿を見学した。	・運動会や学芸会などに、こども園職員全員が訪問し、こども達の成長した様子を見学させていただいた。
	小学校	・運動会や学芸会、生活発表会を互いに見合うことができたが、見に行くことができたのは管理職や一部の職員だけだった。	・管理職が運動会を参観させてもらった。小学校の運動会や学芸会にこども園の職員の方が来て下さった。
④レク(町教職員互助会レク等)を通して、職員の交流を図る	こども園	・スポーツ交流会や懇談会、研修会を通して、職員間の交流を積極的に進めることができた。	・研修会やスポーツ交流会などを通して、職員間の積極的な連携を図ることができた。
	小学校	・町教職員互助会レクを通して交流を深めることができた。レクの後の交流会では大変盛り上がった。また、職員写真を相互に交換することで、顔と名前を覚えることができた。	・教職員互助会のレクレーションを通して職員間の交流を深めることができた。職員写真を交流し、職員同士の顔と名前が一致するようになった。
(2) 子ども同士の交流			
①小学校の「1日入学」(引率：こども園担任等) ※2月上旬	こども園	・「1日入学」に参加し、こども達の様子を見学した。	
	小学校	・2月1日にこども園の園児を小学校に招いて「1日入学」を行った。小学生は年上であることを意識し、普段以上に頑張って関わっていた。	
②5年生による「読み聞かせボランティア」 ※2月下旬	こども園	・「読み聞かせボランティア」の実施により、年長児との交流が図れた。	・5年生による「読み聞かせボランティア」の実施により、年長児との交流が図れた。

	小学校	2月20日に5年生がこども園を訪問し、読み聞かせを行った。入学後のお世話活動を行う上で、必要な関わりをもつことができた。	・昨年度の反省から、時期を早め、10月4日に5年生による園児への「読み聞かせ」を行った。年下の子どもへの配慮など、5年生にとっても学ぶことの多い活動となった。
③生活科の学習において、年長児を小学校に招待し、遊びを通して交流を図る ※12月 ※上記の他、こども園側の事業に小学生の参加を呼びかける(自由参加)	こども園	・授業を通して、こども園を訪れ年長児と交流を行った。 その他、自由参加ではあるボランティア体験や放課後訪問を通して交流を図った。	
	小学校	・10月2日に生活科の学習で2年生がこども園を訪れ、クイズ集会を行った。事前に小学校でのリハーサルをするなど2年生なりに頑張っている様子が見えた。	

3 すべての子どもについて指導要録の抄本・写し等の子ども達の育ちを支えるための資料の送付により連携する等、教育委員会、小学校等との積極的な情報の共有と理解を深めること

実施方針の項目		平成24年度実施状況	平成25年度総括
(1)指導要録による、子どもの様子の伝達 ※3月実施	こども園	・小学校と日程調整を行ない指導要録の提出と子どもの様子の伝達を行った。	
	小学校	・3月28日に新入学児童についてこども園から引継ぎを新担任と管理職で受けた。要録等ではわからない園児1人1人の状況を聞くことができた。	
(2)時と場に応じて、子どもの健康状態等について、教育委員会に情報提供し、教育委員会が関係機関(小学校のみならず中学校等へも)に発信し、情報を共有できるようにする  例)インフルエンザ等が発生した場合、教育委員会へ連絡し、情報提供を受けた教育委員会が小学校や中学校等へ情報提供する	こども園	・教育委員会より、インフルエンザなど感染症に関する情報を発信してもらうことで、全職員情報が共有でき、感染を広げないための予防につながった。	・健康で安全な生活を送るため、感染症に対する情報提供など、各関係機関で共有することなどの確認ができた。 ・学童保育指導員との懇談会を実施することで、児童の状況など共通理解することができた。
	小学校	・必要な情報は委員会を通じて提供した。インフルエンザ罹患者の対応については異なる部分もあるので、それぞれの状況を理解し、教職員にも説明するなど情報を共有できるように心がけた。 ・学童保育等の状況について指導員と懇談の場を持ち、児童の課題について共有することができた。	・こども園に通う幼児の感染に関わり、その対応について小学校でも共有した。 ・昨年度の反省から9月9日に学童保育の参観を行い、翌10日指導員と懇談を持ち、子ども達の状況を共有した。



(3)上記2(1)①の見学後に職員同士で子どもの様子について交流を図る(情報交換)	こども園	・生徒指導連絡協議会の中でその間の児童生徒、園児の様子など交流を図った。	・生徒指導連絡協議会の中で、園児・児童・生徒の状況や課題など交流を図ることができた。
	小学校	・参観後に職員同士が、子どもの状況について個別に交流することはあったが、組織的な取り組みにはならなかった。	・学期末に行われる生徒指導連絡協議会で子ども達の様子について交流することができた。 ・特別な支援を要する子どもの実態交流も早い時期にできると良かった。
(4)上記2(1)②においては、参観後、近い日にちを選んで交流を図る(情報交換)	こども園	・児童クラブ担当者と小学校との情報交流は図られたが、参観日後の職員同志の交流は実施されていない。	・反省など踏まえ、参観後に情報交換を行うことができた。
	小学校	・情報交換の場は設定できなかった。	・昨年度の反省から、参観後に懇談を持つことができた。

※平成25年度の取組経過

年 月 日	実 施 状 況
25年 4月21日(日)	<input type="checkbox"/> こども園職員が小学校を訪問し、授業参観を見学する。
5月18日(土)	<input type="checkbox"/> 小学校職員が来園し、こども園保育参観を見学する。
6月 9日(日)	<input type="checkbox"/> こども園職員が小学校を訪問し、運動会を見学する。
6月22日(土)	<input type="checkbox"/> 小学校職員が来園し、こども園運動会を見学する。
7月26日(金)	<input type="checkbox"/> 小学校職員が来園し、給食状況を視察する。
7月26日(金)	<input type="checkbox"/> 小学校職員・教育委員会職員・こども園職員が一同に集まり、レクレーション大会を実施し、親睦を深める。
10月 4日(金)	<input type="checkbox"/> 小学校5年生が来園し、次年度就学児童(5歳児)に読み聞かせを行い、交流を図る。
10月20日(日)	<input type="checkbox"/> こども園職員が小学校を訪問し、学芸会を見学する。
11月13日(日)	<input type="checkbox"/> 小学校職員が来園し、こども園食育参観を見学する。
26年 1月18日(土)	<input type="checkbox"/> 小学校職員が来園し、こども園保育参観を見学する。
2月 4日(火)	<input type="checkbox"/> こども園職員が小学校を訪問し、一日入学を見学する。

8. 平成25年度中頓別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価に係る  
ご意見・アドバイス

○点検・評価に係るご意見・アドバイスを頂いた方の名簿

所属等	役職等	氏名	備考
社会教育委員会	委員長	水澤 清二	
	委員	福島 靖弘	スポーツ推進委員会・体育連盟
	委員	石黒 大和	
スポーツ推進委員会	委員長	桜田 教昭	
	副委員長	桜田 正考	スポーツ少年団・体育連盟
	委員	丸山 博光	スポーツ少年団・体育連盟
文化団体関係	事務局長	荒木 謙蔵	文化協会・特別支援教育連携協議会
教育支援員		犬飼 教子	図書ボランティアサークル
教育支援員		田辺 毅	森‘ばるす・ふれあいの森
児童民生委員		高橋恵美子	

○実施スケジュール

平成26年7月3日(木) 点検・評価報告書(素案)の配布及び意見・アドバイスの依頼

平成26年7月18日(金) 点検・評価に係る意見、アドバイスの集約

※意見内容について再確認依頼

平成26年7月25日(金) 点検・評価に係る意見内容の確認と修正のとりまとめ

平成26年7月28日(月) 定例教育委員会議で決定

## 1. 施策項目(事務事業)別

### (1) 健やかでこころ豊かな子どもを育てる環境づくり

#### ① 子育て支援と幼児教育の充実

- 子育てが一家庭にとどまらず、地域全体で支えていく時代であるとともに、こども館の役割が子どもと若い親をも育てていく状況にあるのではないのでしょうか。
- こども館と保健福祉課との連携は、特に注意すべきです。こどもの変化は親（保護者）の変化です。
- P40、子ども会育成会連絡協議会の項目に関して、管内カルタ大会への参加検討とあるが、積極的に町外にでる事は非常に大切であると感じるので、実現させてほしい。

#### ② 学校教育の充実

- 体力と学力の向上はいつの時代も問われますが、バランスのとれた人の育成を望みます。
- 環境教育についても力を入れてほしい。豊かな自然、恵まれた自然環境にあるだけに、環境の変化や災害時のことも対応できるような人としてのベースは子供時代にあると思われま
- 登下校中の児童や生徒達の交通マナーが良く、道を譲ったあとなどの運転者に向けたあいさつはいつも清々しい気持ちにさせてくれます。これは町民性に裏付けされた、学校や家庭での教育の成果であると感じつつ、大切にしたいことの一つだと思います。

#### ◇ 中頓別小学校

- 教職員全体で、日常的なトラブル、問題行動を共有し（教師一人に任せない）ながら指導にあたる体制づくりがなされていることは、保護者にとっても信頼を得るものです。
- 縦割り班活動の定着、学校、家庭、地域による連携はとても大きいものがあります。
- マラソン、駅伝大会への参加の取り組みは、昨年同様とした方がよい。P67に組体操ができる筋力がついていないとあるが、そのことを考えてもレベルダウンさせるべきではない。
- 自分自身、フットサル少年団のコーチとして小学生に関わっていますが、団体生活におけるマナー（あいさつや礼儀）の部分が多少足りないと思います。そこを、父母や学校関係者、課外活動の指導者などで連携をとっていけると良いと思います。
- 学校教育目標の知・徳・体とありますが、知・徳については充実していると思いますが、体の方で、小学校である程度の基礎体力が以前からみたら無くなってきています。例えば、校内マラソンやマット運動等、昔行ってきたことを危険だからと廃止してきましたが、その結果、中学校や高校へ進んでも結果出せず充実に欠けていると思います。

#### ◇中頓別中学校

- 子どもの学力、体力の面で急激に発達する過程での指導は、教師として大きな課題です。特に人間関係コミュニケーションは集団づくりの中で重要な意味をもちます。
- よさこい、合唱等の取り組みを通じ、地域にとっても力になっています。今後も教師の指導力に期待されます。
- 南宗谷防犯球技大会などに関わって思う事は、グラウンド（野球場）の活用方法を検討した方が良いと思います。具体的には、関係団体（野球、サッカー）などと協力してスポーツ大会を開催するなど、せっかくの芝生のグラウンドなのに有効活用出来ていないのはもったいないと思います。
- 小学生のうちは地域とのふれあいを目標にした取組みが展開されていて接点も多いのですが、中学生になるとそれが急に薄れている印象を受けます。クラブ活動や学習量などで違いが生じているのだと思いますが、生徒たちを地域づくりに参加させる（アイデアをもらう）場面がもう少し必要な気がします。（町長や教育長との懇談あるいは議会視察など・・・etc）

#### (2)生きがいとまちづくりを支える社会教育の推進

##### ①社会教育の充実

- 成人式の取り組みについて、通常の方法は時代とともに様変わりしてきていますが、該当する成人の人にアンケートなどはとっているのでしょうか。町の方で式典を用意しても、出席者が少なくなってきた現状で、本当に何を望み、どんな成人式がいいのか試行錯誤はつづくと思われませんが検討してください。
- P 8 3、サークル指導者養成をしっかりと取り組んでほしい。（生活職人の再整理が必要ではないか）P 8 6、夜間（7：00～）のクラスを希望する人がいるかも知れないので、新ALTと検討してはどうか。
- 社会教育は「まちづくり」につながる重要な分野だと理解していますが、本町ではこの辺りに脆弱さを感じます。本来であれば社会教育が他の住民組織を牽引するくらいの役割があってもいいと感じますし、「そうや自然学校」との関係もしっかり整理されていない印象を受けます。もちろんこの課題は教育委員会のみで取り組むことではなく、適切な分掌を目標にした再考を促してゆくべきと望みます。

##### ②社会体育の充実

- P 9 0、少年団の指導者発掘は急務と感じます。（生活職人の再整理が必要ではないか）P 9 1、町民体育館は個人で使用しにくい。休日、放課後、子ども達が使えるようにしてほしい。
- 今後も、スポーツ関連の大会を助成や補助などを有効活用して、既存の大会だけではなく、新しい大会などを増加してスポーツの発展や充実につなげていければ良いと思います。

- 社会教育推進事業についての評価では、スキー利用にしか評価されていないので、その他のスポーツについての評価もすべきではないか
- 寿野外レクリエーション施設事業の取り組み概要の数字が、資料6ページと異なっている。
- 生涯スポーツと謳うのであれば、大会のタイトルを大きく考えてしまいがちになる。参加者が限定されるスポーツではなく、誰もが「遊びに行こう、体を動かそう」という気持ちになるスポーツ事業が必要かと思います。高齢化社会になると、余計に考えていかなければいけないと思います。

### ③地域文化の振興と文化財の保護

- 郷土資料館について、多くの町民が設立時に見て、その後ご無沙汰という状況であるので、ねむっている資料館にスポットを当ててほしいと思います。(展示方法の工夫のこともありますが・・・)
- 町民文化祭には、小学校の発表をお願いできないでしょうか。(夏まつり、冬まつりには太鼓が参加していることを考えると、学芸会直後の文化祭は練習の負担も少なく可能が考えられるが。)
- 高山植物など貴重な(群生)個体のリストづくりや保護政策のあり方などを専門家の協力の下、進めていくことが望ましいと感じます。

## 2. 教育委員会活動全般

- 教育委員の方は、学校訪問ということで(学校全体の状況把握)などの機会がありますが、事務局である職員の方の、学校現場、教師との交流はあるのでしょうか。教育を推進していく上でも、学習の環境を整えていく上でも職員の方の目線も大切ではないでしょうか。
- 体育連盟、スポーツ推進委員、少年団など教育委員会の方々と活動する機会が多いのですが、これからも連携して、スポーツを通じていろいろな人に活動を広めていけたらと思います。
- 7. 施策項目ごとの取り組み概要、成果や課題・今後の方向性の表は、平成25年度だけで良いのではないかと。(小学校、中学校のやり方の方が見やすいと思う。)
- P28～P34 単位がない。
- 前年度、宗谷教育局義務教育指導監の指導にもあったように、町の教育目標が制定されて60年以上経っていることを踏まえ、今の状況に沿ったものに見直しをしてゆく必要を感じます。

【資料】

宗谷教育局等による教育委員会及び学校訪問(指導)関係の状況

項目	日程	指導者(訪問者)	訪問先等	指導内容等
教育委員会訪問	25.06.12	教育支援課長 義務教育指導班 主査 社会教育指導班 主査	教育委員会事務局	○中頓別町教育基本方針(めざす姿)に係る提言書及び平成24年度中頓別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書について説明 ○管内教育推進の基本方針【骨子】をはじめ、様々な教育活動についての説明 ○意見交換等
学校教育指導 (学校経営訪問) 一次訪問	25.07.10	義務教育指導監	教育委員会	○本町の教育全般に係る意見交換 ○各学校経営内容全般
			中頓別小学校	○学校及び経営の概要 ○各学年の授業参観及び校内環境 ○今年度の課題と充実の方策 ○指導監からの助言
			中頓別中学校	○各学年の授業参観 ○学校経営の概要 ○教育活動の特徴と生徒の様子 ○指導監からの教示
学校教育指導 (学校経営訪問) 二次訪問	25.12.12	義務教育指導監	中頓別小学校	○学力向上に向けた取組み ○学校評価の改善に関して ○小中連携に関する取組みについて ○指導監からの助言
			中頓別中学校	○資質向上とミドルリーダーの育成 ○特色ある教育の創造と実践 ○他校種との連携による学校づくり ○指導監からの教示
学校教育指導 学校訪問 A	25.06.11	義務教育指導班 指導主事	中頓別中学校	○公開授業 ○学力向上プランについて ○指導助言
	25.07.03	義務教育指導班 指導主事	中頓別小学校	○確かな学力の向上につながる学習指導 ○豊かな心をはぐくむ道徳教育について ○よりよい生き方に気付かせるキャリア教育について

項目	日程	指導者(訪問者)	訪問先等	指導内容等
学校教育 指導 学校訪問 B	25.07.02	義務教育指導班 指導主事	中頓別小学校	○特設授業《5年算数》 ○校内研修・学校研究の説明 ○各学年授業参観・公開授業 ○実践課題の指導・助言
	25.11.12	義務教育指導班 指導主事	中頓別中学校	○特設授業《3年算数》 ○研究公開授業について説明 ○学力向上の取り組みについて協議 ○実践課題の指導・助言
学校教育 指導 学校訪問 C	26.02.06	義務教育指導班 指導主事	中頓別小学校 中頓別中学校	○全国学力・学習状況調査の調査結果 の分析と対策 ○学校改善プランについての助言 ○校内研究のまとめに向けて助言
学校教育 指導	26.03.19	義務教育指導班 指導主査	認定こども園	○幼児教育の充実に向けた指導助言 ○個別の教育支援計画の作成について
宗谷管内 教育推進 会議	26..02.21	義務教育指導監 義務教育指導班 指導主査 社会教育指導班 主査	教育委員会 小中学校教職 員	○教育委員会 認定こども園と中頓別小学校の連携 方針実施状況及び教育支援活動につ いて報告 学校家庭地域の連携による教育支援 活動について報告 ○中頓別小学校 「学力向上に向けた取組」について 報告 ○中頓別中学校 「学力向上に向けた取組」について 報告 ○宗谷教育局 平成 26 年度宗谷管内教育推進の重 点について説明
指導方法 工夫改善 実施状況 確認調査	25.08.21	宗谷教育局 教職員係長外 2 名	中頓別中学校 中頓別小学校	○指導方法工夫改善実施状況の実績、 実施状況の確認 ○少人数指導内容等の確認調査

平成25年度 社会教育関係施設 利用状況

■町民センター

年度	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数
大ホール	43	4,291	27	3,040	28	3,328	33	2,560	34	3,650
第1研修室	62	601	21	168	88	572	103	156	88	613
和室1・2	108	2,865	101	3,093	103	2,549	102	914	112	2,268
第2・3研修室	13	244	8	188	6	120	17	155	3	60
レク室	38	988	43	1,020	45	1,010	83	927	49	1,318
視聴覚室	16	120	1	30	0	0	9	50	4	108
調理室	6	35	5	59	2	21	30	274	24	405
茶室	34	256	37	222	32	242	43	215	37	439
青少年研修室	0	0	1	5	0	0	1	5	8	70
応接室	17	94	106	353	37	260			4	20
計	337	9,494	350	8,178	341	8,102	421	5,256	363	8,951
使用料(円)	342,601				261,483		164,301		480,887	

■郷土資料館

区分		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
開館日数		298	300	308	308	307	
有料	大人	個人	132	95	101	78	87
		団体	71	39	30	0	40
	小人	個人	5	6	2	2	5
		団体	0	0	0	0	0
	計	208	140	133	80	132	
使用料合計		23,240	15,660	15,240	9,480	14,740	
無料	大人	61	53	27	95	19	
	小人	183	105	129	67	88	
	計	244	158	156	162	107	
合計		452	298	289	242	239	

■青少年柔剣道場

《 柔剣道場 》

区分		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
柔道少年団	回数	64	58	50	57	84
	人数	839	605	452	570	740
剣道少年団	回数	80	78	101	116	126
	人数	436	712	1,043	857	1,176
その他	回数	43	39	40	45	53
	人数	424	298	381	634	571
合計	回数	187	175	191	218	263
	人数	1,699	1,615	1,876	2,061	2,487
使用料(円)		2,938		70,309	65,506	44,630

《 研修室 》

区分		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
無料	回数	26	39	33	47	47
	人数	231	312	341	390	348
有料	回数	1	3	0	4	0
	人数	22	40	0	32	0
計	回数	27	42	33	51	47
	人数	253	352	341	422	348

《 図書室 》

区分		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
開館日数		298	300	308	308	307
利用者数	一般	1,985	2,043	2,143	1,756	1,174
	中高生	225	245	254	182	156
	小学生	1,994	1,788	2,179	1,506	1,293
	計	4,204	4,076	4,576	3,752	2,623
貸出冊数	一般	4,149	4,758	6,767	5,454	4,168
	中高生	146	109	236	142	140
	小学生	2,093	2,365	3,729	2,800	3,477
	道移図書	417	386	500	31	398
	計	6,805	7,618	11,232	8,427	8,183
うち児童書		2,912	3,646	5,650	4,029	4,214



■小頓別多目的集会施設利用状況

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
無料	利用日数	24	16	12	158
	利用人数	201	165	141	255
有料	利用日数	5	4	2	2
	利用人数	111	200	100	300
	使用料		109,860	95,640	49,370
合計	利用日数	29	20	14	160
	利用人数	312	365	241	555

■創作活動施設使用状況

利用別	団体名	平成22年度			平成23年度			平成24年度			平成25年度			備考
		人数	回数	延べ人数	人数	回数	延べ人数	人数	回数	延べ人数	人数	回数	延べ人数	
無料	白百合会	3	21	63	3	3	9							月2回、木曜日
	やまなみ吟社(俳句会)	7	50	350	7	9	63	7	12	84	7	11	77	毎月第3水曜日
	陶芸サークル	10	79	790	10	150	382	10	28	280	6	42	252	4月～11月第2、第4、火曜、水曜
	ミックスグループ	5	9	45										5月～12月
	文化協会	21	1	21				25	1	25	36	2	36	5月・7月
	旭台自治会祭典打ち合わせ	5	1	5										
	自衛隊協力会 音楽隊宿泊	30	2	60										
	森とも学習会	10	1	10										
	町民文化祭寄席	70	1	70										
	子ども安全パトロール隊懇談会							20	1	20				
	小計	161	165	1,414	20	162	454	62	42	409	49	55	365	
有料	パークゴルフ協会総会	40	1	40	55	1	55	20	1	20	35	1		4月5日
	個人										17	1		4月17日
	個人	5	1	5							20	1		(佐藤英紀)7月23日
	子ども安全パトロール隊	20	1	20	10	1	10				15	1		7月31日
	個人										22	1		教育支援活動運営委員会11月8日
	個人	5	1	5										
	パークゴルフ協会忘年会	45	1	45	55	1	55				35	1		12月6日
	ゲートボール協会新年会	18	1	18	30	1	30	15	1	15	20	1		1月26日
	体育指導員反省会	10	1	10										
	まぜごはんグループ活動	5	2	10										
	子ども安全パトロール期末懇談会	20	1	20	10	1	10							
	小計	168	10	173	160	5	160	35	2	35	164	7	0	
	使用料計						5,108			416			3,705	
	合計	329	175	1,587	180	167	614	97	44	444	213	62	365	

■学校開放

《中頼別小学校体育館》

区 分		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
野球少年団 水・金11/4～3/2	回数			27		16
	人数			162		96
バスケットボール協会 火	回数	28	7	36	44	32
	人数	434	87	288	584	352
サッカー協会 日・水 ※H25少年団のみ週1回	回数	4	85	27	28	64
	人数	40	562	240	224	512
スポーツをしない会 土	回数			2	49	32
	人数			14	827	288
卓球スポーツ少年団 土	回数	15	7	14	15	32
	人数	87	93	216	239	256
長寿園	回数			2	2	1
	人数			36	26	13
その他	回数	2	1	2	5	
	人数	30	14	22	61	
中頼別中学校	回数			28	35	
	人数			462	630	
中頼別バレーボールクラブ	回数					
	人数					
合 計	回数	49	100	138	178	177
	人数	591	756	1,440	2,591	1,517
使用料(円)		19,993		46,966	49,050	42,600

■社会体育施設

《町民体育館団体利用状況》

区 分		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
ゲートボール協会 (月・火・水・木・金・日)	回数	176	152	143	127	80
	人数	2,314	1,881	1,436	1,157	800
卓球愛好会 月・火・木	回数	116	109	114	102	96
	人数	569	453	395	320	384
バレーボール協会 (月・木)	回数	66	75	68	64	64
	人数	825	1,131	838	801	896
育児婦人運動部 火・金	回数	10	13	22	26	64
	人数	62	76	142	154	576
ミニバレー愛好会 水	回数	33	22	26	12	32
	人数	285	188	195	84	256
ミニバレーを楽しむ会 金	回数	37	30	34	25	32
	人数	124	261	271	212	480
パークゴルフ協会	回数	23	11			
	人数	147	47			
バドミントン愛好会 火	回数	37	41	45	42	32
	人数	124	140	213	261	224
その他	回数	0	1		1	1
	人数	0	4		50	180
中頼別中学校	回数	0	0	26	37	11
	人数	0	0	546	364	252
合 計	回数	498	454	478	436	412
	人数	4,450	4,181	4,036	3,403	4,048
使用料(円)		285,160		279,621	276,418	235,070

■山村水泳プール

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
開館日数		63	63	63	63	65	
時間帯別	午前	大人	11	82		61	
		小人	292	373		305	
	午後	大人	153	208	212	231	213
		小人	799	955	1,301	1,408	1,017
	夜間	大人			20	32	34
		小人			72	34	38
料金別	有料	午前	11	51		18	
		午後	105	117	176	195	146
		夜間			0	1	16
	無料	団体	442	510	575	518	645
		小人	697	940	854	991	843
人数計		1,255	1,618	1,605	1,705	1,668	
使用料(円)		11,600	16,800	17,600	19,600	18,000	

■ 寿野外レクリエーション施設  
《 寿スキー場 リフト券販売状況 》

区分	対象	単価	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度			平成25年度			
			枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	区分	枚数	金額	区分	枚数	金額	
町内	シーズン券	大人	13,650	15	204,750	17	232,050	24	327,600	大人	37	481,000	大人	39	507,000
		高校	12,600	0	0	0	0	1	12,600	高校生以下	72	504,000	高校生以下	74	518,000
		中学	9,450	0	0	1	9,450	1	9,450	60歳以上	10	70,000	60歳以上	7	49,000
		小学	7,350	25	183,750	34	249,900	19	139,650						
	回数券(11回券)	大人	1,360	157	213,520	194	263,840	163	221,680	大人	397	516,100	大人	389	505,700
		子供	940	138	129,720	211	198,340	197	185,180	高校生以下	496	396,800	高校生以下	476	380,800
	1日券	大人	2,100	6	12,600	30	63,000	6	12,600	大人	49	95,550	大人	70	136,500
		子供	1,360	6	8,160	20	27,200	28	38,080	高校生以下	80	96,000	高校生以下	84	100,800
										60歳以上	1	1,200	60歳以上	4	4,800
	1回券	大人	130	124	16,120	46	5,980	155	20,150	大人	317	41,210	大人	218	28,340
		子供	90	74	6,660	49	4,410	76	6,840	高校生以下	196	15,680	高校生以下	193	15,440
	団体	大人	1,050	0	0	0	0	128	64,000						
		子ども	680	0	0	0	0	439	175,600						
	その他			0	214,400	0	231,900	0	0	パトロール員	7	56,000	パトロール員	8	64,000
										大人減免	11	14,300	大人減免	26	33,800
										高校生以下減免	11	8,800	高校生以下減免	24	19,200
										学校授業大人	238	185,640	学校授業大人	231	180,180
										学校授業小人	1,333	639,840	学校授業小人	1,300	624,000
	計				989,680		1,286,070		1,213,430		3,135,720			3,187,560	
	町外	シーズン券	大人	17,750	21	372,750	20	355,000	20	355,000	/				
高校			16,380	0	0	0	0	1	16,380						
中学			11,340	9	102,060	8	90,720	5	56,700						
小学			8,820	39	343,980	32	282,240	32	282,240						
回数券(11回券)		大人	1,770	332	588,210	284	502,680	283	500,910						
		子供	1,130	252	284,760	276	311,880	321	362,730						
1日券		大人	2,730	31	84,480	32	87,360	14	38,220						
		子供	1,630	75	122,380	85	138,550	62	101,060						
1回券		大人	170	264	44,880	203	34,510	313	53,210						
		子供	110	169	18,590	140	15,400	242	26,620						
団体		大人	1,360	0	0	0	0	962	280,640						
		子ども	810	0	0	0	0	215	404,610						
その他				0	536,320	0	715,000	0	0						
計				2,498,410		2,533,340		2,478,320							
合計				3,488,090		3,819,410		3,691,750		3,135,720					
営業日数/リフト輸送人員			84日	44,439人	81日	45,503人	80日	44,412人	78日	42,500人	80日	42,976人			

《 パークゴルフ場 》

区分	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額
シーズン券町内	95	378,000	78	312,000	76	304,000	69	276,000	73	292,000
シーズン券町外	0	0	0	0	0	0	4	24,000	0	0
小計	95	378,000	78	312,000	76	304,000	73	300,000	73	292,000
1日券町内	488	97,600	420	84,000	342	68,400	368	73,600	222	43,900
1日券町外	653	195,900	714	214,200	532	159,600	313	93,900	400	115,500
小計	1,141	293,500	1,134	298,200	874	228,000	681	167,500	622	159,400
合計	1,236	671,500	1,212	610,200	950	532,000	754	467,500	695	451,400

《 テニスコート 》

区分	使用料	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
		人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額
町内	200	18	0	12	2,400	19	3,800	18	3,600	18	3,600
町外	300	0	0	3	900	19	5,700	17	5,100	4	1,200
計		0	0	15	3,300	38	9,500	35	8,700	22	4,800

# 教育関係団体活動状況

## ・体育団体関係

	団体名	会長/代表者	団体連絡者	活動場所	活動時間	活動日	会員数
体育連盟	1 サッカー協会	工藤正勝	桜田正考	中頓別ふれあいスポーツ広場 中頓別小学校体育館	19:00~21:00	毎週日・月曜日	10
	2 バスケット協会	古谷裕一	福島靖弘	中頓別小学校体育館	19:00~21:00	毎週火曜日	31
	3 バレーボール協会	寺島寛	恵良田元子	中頓別町体育館	19:00~21:00	毎週月・木曜日	11
			高口智子	中頓別町体育館	19:00~21:00	毎週月・木曜日	16
	4 スキー協会	奥村新一	長谷川克弘	中頓別町寿スキー場	随時	シーズン中	16
	5 走友会	西一彦	五十嵐龍彦		随時	随時	17
	6 パークゴルフ協会	石神忠信	石神忠信	寿公園パークゴルフ場	5:00~12:00 13:00~19:00	随時	76
	7 ゲートボール協会	大場弘	野邑雅子	中頓別町メモリアルパーク 町民体育館	8:30~11:30	随時	15
	8 野球連盟		上道勝幸	中頓別ふれあいスポーツ広場	18:00~20:00	シーズン中	25
	9 剣道連盟		中原章子	中頓別町青少年柔剣道場	18:00~20:00	毎週火・木曜日	7
10 柔道協会	後藤敏直	丸山博光	中頓別町青少年柔剣道場	18:00~20:00	毎週火・木曜日	10	
スポーツ少年団	1 中頓別町剣道スポーツ少年団		中原章子	中頓別町青少年柔剣道場	18:00~20:00	毎週火・木曜日	10
	2 中頓別町柔道スポーツ少年団	丸山博光	古谷裕一	中頓別町青少年柔剣道場	18:00~20:00	毎週火・木曜日	8
	3 中頓別町野球スポーツ少年団		山内功	中頓別小学校グラウンド	15:00~17:30	毎週水・金曜日	7
	4 中頓別町卓球スポーツ少年団		山田美緒子	中頓別小学校体育館	10:00~12:00	毎月1~2回土曜日	22
	5 中頓別町フットサルスポーツ少年団		桜田正考	中頓別小学校体育館	17:30~19:00	毎週水曜日	15
	1 卓球愛好会		武田静子	中頓別町体育館	13:00~15:00	毎週月・火・木曜日	5
	2 ミニバレーを楽しむ会		吉田智一	中頓別町体育館	19:00~21:00	毎週金曜日	11
	3 バドミントン愛好会		秋庭裕子	中頓別町体育館	19:00~21:00	毎週火曜日	6
	4 ミニバレーボール愛好会		小原利春	中頓別町体育館	19:00~21:00	毎週水曜日	15
	5 育児婦人運動部		犬飼教子	中頓別町体育館	9:30~12:00	毎週火・金曜日	9
	6 スポーツしない会?	長谷川克弘	福島靖弘	中頓別町小学校体育館	19:00~21:00	毎週土曜日	20
	7 カンフー教室	藤田健一	藤井富子	中頓別町青少年柔剣道場	19:00~21:00	毎週水曜日	13

## 教育関係団体活動状況

### ・文化団体関係

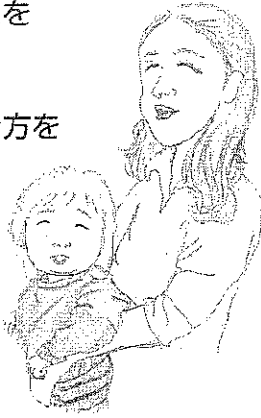
	団 体 名	会長/代表者	団体連絡者	活 動 場 所	活 動 時 間	活 動 日	会員数	
文化協会	1	やまなみ吟社 (俳句)	武田 哲雄	武田 哲雄	創作活動施設ゆめくらぶ	19:00~21:00	毎月第3水曜日	8
	2	日本詩吟学院岳風会中頓別支部 (詩吟)	小林 嘉治	小林 嘉治	中頓別町民センター(第1研修室)	13:00~15:00	月1回	10
	3	茶道サークル		石井 佳美	中頓別町民センター (茶室)	13:00~15:30	毎週火曜日	18
	4	東海林社中 (華道)	浅野 美智子	東海林 藤子	東海林宅	13:30~20:30	休会	17
	5	陶芸サークル		磯木 由紀江	創作活動施設ゆめくらぶ	13:00~15:00 19:00~21:00	第2・第4火・水曜日	12
	6	絵手紙クラブ	武田 静子	高橋 妙子	青少年会館 (和室)	水19:00~21:00 木13:00~15:00	第2・第4水・木曜日	14
	7	白百合会		小原とみい	創作活動施設ゆめくらぶ	13:30~15:00	休会	4
	8	あかねカラオケサークル	荒木 謙蔵	荒木 謙蔵	あかね会館	19:00~22:00	金曜日(月2回)	5
	9	知足会 (茶道)	作 見 和	村上 初枝	田邑宅			23
	10	しあわせカラオケ会		天野 宣子		19:00~21:00	月1回	11
	11	彩北絵画クラブ (絵画)	東海林 繁幸	東海林 繁幸				5
	12	寿大学カラオケサークル	朝田 茂次	朝田 茂次	中頓別町民センター(和室)	12:30~15:30	毎週水・土曜日(週2回)	23

### ・その他教育関連団体関係

	団 体 名	会長/代表者	団体連絡者	活 動 場 所	主な活動内容	会員数	
その他	1	図書室ボランティアサークル「このゆびと〜まれ♪」	犬飼 教子	大森美佐江	中頓別町郷土資料館図書室	絵本の読み聞かせ等のボランティア活動	9
	2	スピン会	石黒 由里子	石黒 由里子	中頓別町地域づくり活動支援センター	羊毛による編み物	8
	3	ひよっこくらぶ	佐藤 恵	佐藤 恵	中頓別町介護福祉センター	子育てに関する悩み等の育児サークル	13

## 家族のふれあい、語り合いを大切にしていますか

- 安らぎのある楽しい家庭をつくりましょう
- 家庭の会話で、思いやりと豊かな心を
- 「ありがとう」「ごめんなさい」を言える子に
- 子どもの話には共感と励まし、少しのアドバイスを
- しつけは根気よく、日常生活の中で
- 親の苦勞や夢・生き方を語る機会をつくりましょう



## はつらつとしたリズム

### ある生活を大切にしていますか

- 早寝、早起き、朝ごはん、家庭学習など、しっかりした生活習慣づくりを
- テレビ・ゲームは家族の約束を決めて、節度ある使い方を
- 家事を分担させ、働くことの大切さや責任感、達成感を



# 子育て提言

かわいいからこそ甘やかさない

良いこと

悪いことを、キッパリ教えていますか

- いじめや暴力には毅然とした態度で
- 人間として、してはいけないことを教えましょう
- 叱るときは真剣に、ピシッとさわやかに
- 生命の尊さ、人権の大切さ
- 感謝と思いやりの心を教えましょう



## 子育てのために、大人同士の力合わせを大切にしていますか

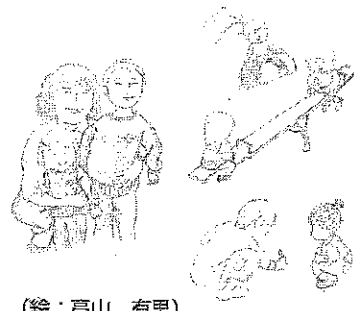
- 近所づきあい・ボランティア・地域行事で大人のつながりを
- 安心・安全な町づくりをみんなで
- 社会のマナーをしっかりと示せる大人に
- 保・小・中の連携で、子どもたちに「生きる力」を
- 学校・家庭・地域の力合わせを大切に



## ケータイ・ネット

### の使い方に、常に目を配っていますか

- 学校では「ケータイ・ネット」の危険な面を、きちんと教えましょう
- 家庭では、親子の話し合いで、使い方の約束・ルールを決めましょう
- PTAでは、家庭の取り組み方を学び合いましょう



(絵：高山 有里)

「子育て提言」は、健やかな子どもを育てるために、できることから家庭・地域・学校が手を取りあって取り組みを進めて行きますようにという呼びかけです。この提言を基に、子育てについての語り合いや取り組みが、家庭、学校、PTA、自治会など、町の隅々に広がり、大人同士の力合わせができるようになることを期待します。

平成二十二年三月

中頓別町あいさつ子育て推進協議会  
会長 矢部 備

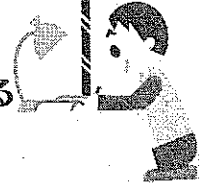




町ぐるみで子どもたちの成長を支えていきましょう！

# 中頓別町 家庭学習の手引き (保存版)

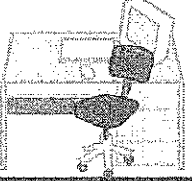


- 1 決まった時間にこつこつとやる
- 2 集中する(テレビやおやつなど、「ながら勉強」をしない)
- 3 机の上を整えて、えんぴつなどの用具をきちんとして始める
- 4 分からないときは、教科書を見たり、調べたりする
- 5 家の人に見てもらおう(小学生)



学 年	時間のめど	場 所	内 容
小1	20分	◆家の中で落ち着いた場所	◆宿題 ・プリント ・ドリル ・音読 など 
小2	30分	◆いつも同じ場所	
小3	40分	◆大人の目が届く場所	
小4	50分	◆家の中で落ち着いた場所	◆宿題 (小3までと同じ) ◆家庭学習 (3年生後半から) ・その日の復習 ・計算 ・漢字 ・調べ物 ・予習 など 
小5	60分		
小6	70分		

- 小6から中1へ学年が上がると、学校生活そのものが変わります。
- 4～5月は、中学校の生活に慣れることが大切です。家庭学習の時間などが小6よりも減るかもしれませんが、この時期は温かく見守りましょう。
- 生活に慣れてきたら、学習時間の取り方などを工夫して、時間を徐々に増やしていきましょう。

中1	80分	◆家の中で落ち着いた場所	◆宿題 ・ワーク ・プリント など ◆家庭学習 ・宿題以外の復習・予習 ・テスト対策 など
中2	80分	◆いつも同じ場所 (机) 	
中3	100分		◆宿題 ◆家庭学習 (中2までと同じ) ◆進路に向けた復習

\*\*\*\* 見やすい場所に貼って、家でもしっかりと学習する習慣を付けましょ \*\*\*\*

平成23年 中頓別町・小中連携委員会 作成

子どものすこやかな成長を願って

# 春休みの 週ごし方 父母・町民と 協力

## 外出時刻

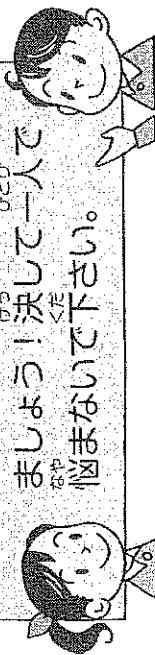
- ◆小学生…午後4時まで  
(4月からは5時まで)
- ◆中学生…午後6時まで
- ◆高校生…午後10時まで  
(浜頓別高校の場合)

## 飲食店の出入り

- ◆小学生…保護者同伴で
- ◆中学生…保護者の許可を得て  
(午後6時まで)
- ◆高校生…飲酒する店には出入りしない

## \* 子どもたちへ \*

どんなささいなことでもかまいません！  
悩みや相談事があれば、すぐに保護者や先生、友人に話しましょう！  
決して一人で悩まないで下さい。



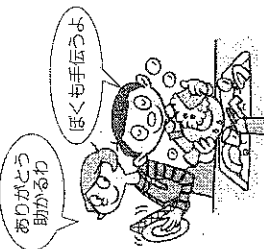
## 事故防止の声かけを！

(車・飲酒・喫煙・万引きなど)

- ◆歩くときは歩道を、歩道のないところは道路の右端を一緒に。
- ◆ちよつとした気のゆるみから万引きに！  
買え与えた以外のものがないか、持ち物や部屋の点検も。
- ◆見知らぬ人についていけないよう、注意を！
- ◆外出の時の行き先、帰宅時刻の確認を。
- ◆飲酒・喫煙に対しきびしい指導を！
- ◆屋根からの落雪、川の融雪に注意を！
- ◆不審者を見つけたら、すぐ警察に電話を！

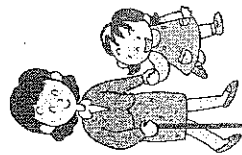
## 親子のふれあいを！

- ◆早寝・早起き・生活のリズムを大切にしましょう。
- ◆親子の話し合い活動を深めましょう。
- ◆自分の子のみでなく、よその子も注意しましょう。
- ◆子どもにも仕事を分担させ、責任をもって取り組ませましょう。
- ◆地域の行事には親子で進んで参加しましょう。
- ◆インターネット・携帯メールなど、約束を決めて使いましょう。



## ほめてください

「あいさつ」や「よい行い」をみかけたら、その場でほめてあげて下さい。



児童・生徒の行動や良い行いについて、お気軽にご連絡下さい！

中頓別町教育委員会 6-1111 (役場)

うちの子に限ってという安易な考えは捨てみんなで子どもたちを守りましょう。